

年報 2024 の発行にあたって

2024 年度は一年を通じて新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ 5 類となり、旅行など人の動きが活発だった年になりました。

当館にも多くの方が来ていただき、人気の企画展を開催した 2023 年度よりは少なくなったものの、20 万人を超える方に観覧していただきました。また、3 月には 1996 年の開館以来の累計観覧者数が 500 万人に達しました。

このような中、県民・来館者の方が、私たちをとりまく自然の成り立ちや仕組み、自然界の構造について、展示や観察会等の教育普及活動、調査・研究を通じて理解していただくために様々な事業を行いました。

企画展は 3 回開催し、第 69 回企画展「紳士淑女のための鉱物展」(2024 年 3 月 16 日～5 月 12 日)では、「鉱物の出会いの場」を創ることを目的として、日本の伝統色、美しい言葉、宮沢賢治作品などを通して鉱物標本の彩りのある世界を紹介しました。

第 70 回企画展「北極と南極」(2024 年 7 月 20 日～9 月 8 日、9 月 14 日～12 月 8 日)では、地球上でもっとも寒い場所である北極と南極の成り立ちや、極寒の地に暮らす生きものを通して、遠く離れていても極地と世界は地球の循環によってつながっていることを紹介しました。

第 71 回企画展「ツツジとその仲間たち」(2025 年 3 月 15 日～5 月 18 日)では、ビジュアルな画像と標本や最新の植物学の知見を駆使して、美しくとも不思議なツツジ科植物と、その生き方を紹介しました。

特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」(2025 年 1 月 18 日～2 月 9 日)では、県内の自然環境の調査や保全に携わる方々による新発見や活動内容を紹介しました。

このほか、群馬県と栃木県で発見され当館職員が研究した結果、新属新種と判明したヨウスコウカワイルカ科化石(エオリポテス ジャポニクス)を特別展示したほか、常設展示しているクジラ化石(インカクジラ フォーダイセイ)が新種と判明したため、解説文を更新し新しい視点で見られるようにしました。

調査研究分野では、2023 年度に始めた、みなかみ町南部及び周辺地域の学術調査を継続して行いました。また、職員が学術論文発表を行ったほか、20 編の論文等からなる群馬県立自然史博物館研究報告第 29 号を発行しました。

教育普及事業では、毎週土曜日に開催する「サイエンス・サタデー」をはじめ、閉館後に暗くなった館内を回る「ミュージアムナイトツアー」、ファミリー自然観察会、バックヤードツアー、移動博物館などのほか、次世代の育成として、小中学生を対象とした「ミュージアムスクール」や高校生を対象とした「高校生学芸員」を引き続き実施しました。さらに、学校団体向けに展示解説員による解説の実施、並びに館内授業や出前授業を実施しました。

アメリカにあるインディアナポリス子ども博物館との連携では、当館でのワークショップの実施及びオンラインでのワークショップを実施しました。

当館の活動には博物館友の会・博物館ボランティアの皆様をはじめ、県内外の研究者、自治体関係者、関係する企業・団体など多くの皆様に多大なる御協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

このたび 2024 年度の事業の概要を年報としてまとめました。皆様の御高覧を賜りますとともに、引き続き御指導、御協力をお願い申し上げ、御挨拶といたします。

2025 年 8 月

群馬県立自然史博物館長 藤巻 薫

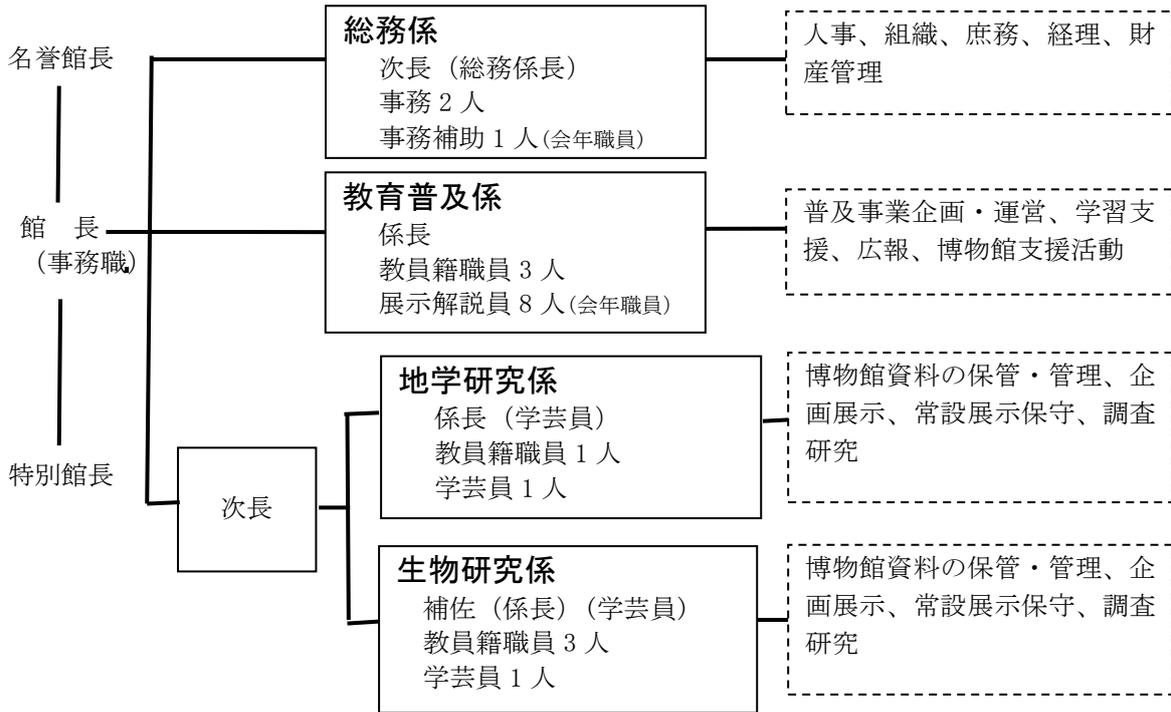
I 管理

1 沿革

昭和 32 年 3 月 12 日	群馬県立自然史博物館の沿革は次のとおり。
昭和 54 年 10 月 17 日	「群馬県立博物館」として開館（群馬県富岡市一ノ宮 1353）
昭和 57 年 7 月 16 日	「群馬県立博物館」を廃止、「群馬県立歴史博物館」開館
昭和 63 年 12 月 1 日	「旧県立博物館」を改修し、「群馬県立自然科学資料館」として開館 「自然科学資料館整備拡充調査構想委員会」を設置（学識経験者 10 名、行政職 6 名）
平成元年 4 月 1 日	群馬県教育委員会社会教育課学習文化室に専任職員 1 名配置
平成 4 年 2 月 3 日	建築プロポーザルにて内井昭蔵建築設計事務所に建設基本設計を委託
平成 4 年 3 月 31 日	建築基本設計終了
平成 5 年 1 月 28 日	(株)丹青社と展示実施設計委託契約を締結 (財)日本科学技術振興財団と展示実施設計の監修業務の委託契約を締結
平成 5 年 4 月 1 日	県教委文化振興課に建設準備室を設置
平成 5 年 7 月 31 日	建設実施設計終了
平成 5 年 8 月 31 日	展示実施設計終了
平成 6 年 6 月 30 日	建築工事等着工
平成 7 年 4 月 1 日	長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が参与に就任
平成 8 年 3 月 15 日	建築工事等竣工
平成 8 年 3 月 27 日	「群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例」を公布
平成 8 年 3 月 31 日	「群馬県立自然科学資料館」を廃止し、資料は自然史博物館に引き継ぐ 併せて群馬県立歴史博物館所蔵の自然資料のほとんどを移管
平成 8 年 4 月 1 日	「群馬県立自然史博物館」発足（事務局：前橋市大友町庁舎 3 階） 職員 18 名（副館長、次長、総務課 3 名、教育普及課 3 名、学芸課 7 名） 非常勤嘱託 5 名 長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が初代館長に就任
平成 8 年 5 月 16 日	附帯ホール（愛称「かぶら文化ホール」）の管理運営にあたる財団法人かぶら文化ホールが設立許可
平成 8 年 5 月 27 日	事務局を前橋市大友町庁舎から富岡市上黒岩「自然史博物館」に移転
平成 8 年 5 月 31 日	財団法人かぶら文化ホールにホールの管理運営等を委託
平成 8 年 9 月 14 日	展示工事竣工（(株)丹青社）
平成 8 年 10 月 21 日	開館記念式典
平成 8 年 10 月 22 日	「群馬県立自然史博物館」開館（一般公開） 開館記念展（第 1 回）「アルゼンチンの大恐竜展」開催
平成 14 年 1 月	開館 5 周年記念企画「ミュージアム・ポスター展」開催（1 月 4 日～2 月 17 日） 開館 5 周年記念講演会「ヒトと森と一森がヒトをはぐくむ」開催（26 日）
平成 14 年 6 月 9 日	観覧者 100 万人達成
平成 18 年 4 月 1 日	附帯ホールに指定管理者制度が導入され、富岡市が指定管理者になる
平成 18 年 7 月 15 日	開館 10 周年記念展「コアラ大陸オーストラリア ～ふしぎな動物たちの世界～」開催
平成 19 年 1 月 4 日	開館 10 周年記念企画「自然史博物館のあゆみ展」開催
平成 20 年 8 月 8 日	観覧者 200 万人達成
平成 22 年 2 月	正面玄関プロムナード路面改修
平成 22 年 3 月	尾瀬シアター、トリケラトプス復元映像、機器及び映像更新
平成 23 年 7 月	開館 15 周年記念展「よみがえる！謎の巨大恐竜スピノサウルス」開催（7 月 16 日～11 月 20 日）
平成 23 年 9 月 17 日	観覧者 250 万人達成
平成 24 年 10 月 16 日	平成 23 年度博物館活動の評価（内部評価）結果公表
平成 25 年 11 月 8 日	平成 24 年度博物館活動の評価（内部評価）に対する外部委員意見公表
平成 26 年 4 月 1 日	自然史博物館 E S C O サービス開始
平成 26 年 8 月 17 日	観覧者 300 万人達成
平成 28 年 7 月 16 日	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 <i>T. rex</i> 」開催
平成 28 年 9 月 30 日	開館 20 周年記念式典開催
平成 29 年 1 月 14 日	開館 20 周年記念「自然史博物館 20 年のあゆみ」開催
平成 29 年 4 月 16 日	観覧者 350 万人達成

令和 元年 7 月 28 日 観覧者 400 万人達成
 令和 2 年 3 月 1 日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（6 月 1 日まで）
 令和 2 年 4 月 1 日 長谷川善和名誉館長が活動の拠点を長野県飯田市へ移転
 真鍋真氏（博士(理学)・国立科学博物館）が特別館長に就任
 令和 3 年 7 月 17 日 開館 25 周年記念展「鳥がトリであるために」開催
 令和 3 年 11 月 21 日 開館 25 周年記念 長谷川名誉館長、真鍋特別館長による特別対談実施
 令和 6 年 1 月 25 日 インディアナポリス子ども博物館との連携協定を締結
 令和 7 年 3 月 16 日 観覧者 500 万人達成

2 組織



3 事業体系

管理運営			人事、組織	総務係	
			予算、経理		
			施設管理		
			庶務		
事業	展示	常設展示保守、改修		地学・生物研究係	
		企画展示			
	教育普及事業	一般対象	展示解説		教育普及係
			ビデオ上映会		
			スポット解説（学校団体向け）		
			紙芝居		
			ファミリー自然観察会		
			天体観望会（昼・夜）		
			自然史講座		
			企画展講演会		
			企画展ワークショップ		
			移動博物館		

			ホリデーサイエンス	
			サイエンス・サタデー	
	教育普及事業	一般対象	ミュージアムナイトツアー	教育普及係
			バックヤードツアー	
		成人対象	大人の自然史倶楽部	
		高校生対象	高校生学芸員	
		小中学生対象	ミュージアムスクール	
事業	学校教育支援		館内授業・出前授業	教育普及係
			職場体験	
			教育用資料貸出	
			博物館実習 大学生インターン	地学・生物 研究係
	調査研究		みなかみ町南部及び周辺地域学術調査	地学・生物 研究係
			分野別調査研究	
			外部研究機関との連携調査研究	
			研究報告出版	
		情報システム		全体
	資料収集・保存・管理		採集	地学・生物 研究係
			製作委託・購入	
			寄贈・寄託・移管	
			貸出・借用管理	
			文献・図書管理	
	博物館支援活動・広報		ボランティア	教育普及係
			友の会	
		視察受入		
		広報 相談指導		
自治体等との連携		調査	全体	
		相談指導		

4 管理運営業務

(1) 観覧者数の状況

令和6年度の観覧者数は205,361人（前年度比70.5%）だった。前年度、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観を通して古生物学について学べる企画展を開催し、開館以来最多人数291,128人を記録したこともあり、前年度と比べると大きく観覧者数は下回った。しかし、特異的な前年度を除くと、H30（220,039人）、H28（212,022人）、H29（209,136人）、H9（207,688人）に続いて5番目に多い観覧者数であった。

また、令和7年3月16日（日）、開館以来の観覧者数が500万人に達成し、「観覧者500万人達成セレモニー」を開催した。

企画展ごとの状況をみると、令和6年3月16日から5月12日まで第69回企画展「紳士淑女のための鉱物展」を開催し、「鉱物との出会いの場」を創ることを目的として、日本の伝統色、美しい言葉、宮沢賢治作品などを通して鉱物標本の彩りのある世界を紹介した。

令和6年7月から12月に開催した第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」は、7月20日から9月8日までをseason I、9月14日から12月8日まで

を season II として開催した。海のない群馬県において、海・陸・川は水の循環によってつながっており、ヒトによる資源利用や生物の生息状況変化は、海洋生態系に大きな影響を与えていることを企画展および付帯事業を通じて教育普及することを目的とした。企画展および付帯事業を体感することで、利用者一人一人の日々の暮らしが海洋生態系と海洋循環に大きな影響を与えていること、地球規模の環境変動が発生していることを自覚し、「自分ごととして考え」地球上に生息する生物の生息可能な環境を維持・保全するための意識向上、行動を誘発することを目標とした。地球「温暖化」から地球「沸騰化」した時代に、本事業を当館において5か月近く展開することで、人々の「海洋循環」「海・陸・川の地球の循環」の意識を向上させ、環境保全にむけた意識変容、行動変容をもたらすことを目指した。

令和7年1月18日から2月9日まで特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」を開催した。県内の自然保護や保全に携わる団体、学校等が行っている調査研究や成果をポスター、パネル等で紹介した。

今後も魅力的な企画展示を引き続き行うとともに、工夫を凝らした教育普及事業や解説員によるわかりやすい展示解説など、平素の活動にも一層力点を置く。

なお、開館以来の累計の観覧者数は、5,016,299 人となり、1日平均の観覧者数は 611 人である。また、年度別の観覧者数の推移は、次のとおりである。

観覧者の推移

年度	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15
開館日数	132	301	304	303	301	303	301	298
観覧者数	120,712	207,688	165,071	150,211	156,633	159,416	166,989	171,697
1日平均	914	690	543	496	520	526	555	576

年度	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23
開館日数	292	292	293	292	291	290	288	291
観覧者数	160,456	153,613	166,629	161,626	146,170	162,760	148,697	177,698
一日平均	550	526	569	554	502	561	516	611

年度	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1
開館日数	290	288	289	290	289	287	290	263
観覧者数	182,038	166,533	167,549	188,680	212,022	209,136	220,039	204,654
一日平均	628	578	580	651	734	728	759	778

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	累計
開館日数	234	261	285	285	287	8,210
観覧者数	84,797	129,301	178,995	291,128	205,361	5,016,299
一日平均	362	495	628	1,022	715	611

* 観覧者数は実観覧者数であり、教育普及事業等の参加人員は含まない。

(2) 歳入歳出決算の状況

歳入

単位（千円）

区 分	金 額	内 容
博物館入館料	72,507	観覧料
施設使用料	480	ミュージアムショップ
財産収入	406	自動販売機設置
雑 入	7,873	図録販売、科研費間接経費等
計	81,266	

歳出

事 業 名	金 額	内 容
館 運 営	260,737	館の維持管理、事業運営等
博 物 展 示	57,429	常設展示メンテナンス、企画展
教 育 普 及 活 動	3,205	観察会等教育普及事業
調 査 研 究	9,584	フィールド調査、学会参加
計	330,955	

(3) 博物館評価の実施

令和4年度に引き続き令和5年度の博物館活動の自己評価を行い、令和7年3月27日から博物館ホームページで公開した。その後、3名の博物館専門委員を委嘱し、自己評価に対する意見聴取を行った。意見聴取の結果についても令和7年3月27日から博物館ホームページで公開した。

群馬県立自然史博物館専門委員（令和6年度）

- ・株式会社丹青研究所文化空間情報部部长 石川 貴敏
- ・埼玉県立自然の博物館元館長 中村 修美
- ・上毛新聞社論説委員長 小田川 浩道

令和5年度の自己評価結果及びそれに対する専門委員の意見は次のとおり。

令和5年度 自然史博物館活動の評価結果

令和6年12月22日
群馬県立自然史博物館

1 はじめに

本評価は、平成23年度に策定した「活動目標の評価指標表（評価指標）」を用いた内部評価であり今回で13回目となるものである。本評価結果を踏まえ、今後の博物館活動の改善と充実につなげていきたい。

2 評価方法等について

(1) 評価指標

評価指標は、令和4年度に実施した評価結果を踏まえ、令和5年度目標値として設定を行っている。

(2) 評価作業

評価作業は職員10名による内部評価WGが中心となって進め、素案作成後、職員全員で決定するという方法によった。

(3) 結果の公表

評価結果については、全職員にフィードバックし、個々の業務改善につなげるほか、HPにて公表し、県有施設としての説明責任を果たすために役立てたい。

※ 博物館活動の評価に至る経緯、自然史博物館の使命と事業方針等は、平成23年度の評価結果を参照してください。

3 外部評価

平成24年度の評価から導入し、博物館活動に造詣の深い3名の外部有識者を専門委員に委嘱し、博物館活動に対する意見を毎年いただいている。昨年度の評価は、令和5年12月20日に評価委員会を開催して意見交換を行った後、翌年1月22日に意見の公表を行った。

口頭及び文書で多岐にわたる有益な意見をいただき、特に収蔵スペース不足への対応、広報、オンラインの活用については館内で検討を継続し、一つずつ取組を進めているところである。

4 自己評価結果

(1) 資料の収集・保存と活用（「未来に伝える博物館」）

資料の収集では、収集し登録した資料の合計点数は、目標値6,000点を1,774点下回る4,226点（前年度比967点減）であった。追加される資料数は年度ごとに大きく変わるが、令和5年度は、学芸職員の入れ替わりや、みなかみ町南部及び周辺地域を学術調査の調査地とした初年度にあたり、情報収集や事前調査とともに、現地調査を行ったため、職員が収集し登録した資料数が目標値を大きく下回ったと考えられる。

新規寄贈は1,312点であった。過年度に寄贈いただいた鉱物・岩石等標本の登録作業が進んだため（鉱物・岩石等標本1,024点）、昨年度より寄贈標本点数はかなり増加しているが、他分野の寄贈等の点数は、例年並みである。収蔵庫のひっ迫状況に鑑み、令和2年度に緊急時対応として暫定的な寄贈受入基準の見直しを行い、それに基づいて運用をしている。

資料保存について、一部の資料を除き、資料は温湿度管理、日常の点検、定期的な燻蒸等により管理されている。ESCO事業導入後、収蔵庫の温湿度は新たな空調機器により管理されている。さらに、令和3年度に常設展示室の加湿器の修繕を行うなどして、湿度の調整を行っている。今後も微調整を加えながら適切な運用を継続したい。収集資料のデータベースは、第4次システムに引き続き、第5次システムも館外のサーバー（クラウド）での保存が行われている。今後も微調整を加えながら適切な運用を継続したい。

収蔵スペースの不足は以前から深刻な問題となっており、第一収蔵庫・第二収蔵庫ともに慢性的かつ深刻な課題は解消できていない。また、図書室書籍の収蔵スペースに関しても同様の状況である。温湿度が管理された収蔵庫での資料保存を優先するために収蔵・配架を行ったので、分類群ごとの整頓、資料を安全に出し入れできる配架、資料を運搬する動線など、配慮しきれないところがある。各種調査活動に伴い毎年増える証拠標本は、永年に渡り受け継がれる資料であることを考えると収蔵庫に保管していかなくてはならない。そのため、収蔵スペースに対して資料がオーバーフローしている非常事態となっている。資料活用時の作業のたびに通路の標本を移動させる必要があるため、資料を破損させる危険性が伴い、通常より労力と繊細な作業が求められている。

収蔵スペース確保のための取組として、定期的に収蔵庫の棚や床の配架率調査を行っている。100%近い棚に加え、通路にも仮置きされた状態である。

次に、標本の再配架を行いスペースの確保に取り組んだ。しかし、再配架では十分なスペースが確保できていない。さらに、標本数をコントロールするため、収蔵基準を設けている。また、前述のとおり資料の受け入れについては、受入基準の見直しを行い、制限を設けている。しかし、収蔵資料は今後も増え続けるため、収蔵庫の必要性を働きかけていきたい。

資料の活用について、企画展などでの資料公開、他館への資料貸出、学校関係などへの教

育普及面での資料貸出、レファレンス対応や研究者などによる特別観覧などの事例があり、今年度も収蔵資料は活用された。特に学校関係への貸出では、新学習指導要領が全面実施され学習内容の変化により、中学校は草食動物と肉食動物の頭骨標本の需要が増え、小学校は化石のレプリカ作成セットの需要が増えている。また、企画展が各地で開催されるなど、貸出件数は前年度の実績値より増加している。

(2) 調査研究 (「魅力を引き出す博物館」)

調査研究の推進では、令和5年度は、令和4年度まで行われたみなかみ地域総合学術調査の調査範囲の一部に、隣接地域を加えて、新たにみなかみ町南部及び周辺地域学術調査として、令和5年度より3ヶ年(報告書は令和8年度発行)として実施した。本年度は、その初年度で、情報収集や、文献・標本等による事前調査とともに、現地調査は20回実施した。この回数は当初の想定通りの回数である。

各職員が独自に行っている調査研究は15分野32研究、外部研究施設等と連携している調査研究は42研究で、前年度並みで推移した。職員の論文発表は28本、学会等発表数は、22タイトルで、いずれも新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻ったと考えられる。また、学会等の開催形式も昨年のリモート主体から、対面形式やハイブリッド形式のものに戻ってきた。一般向け雑誌等への発表は16件で、前年度比5件増となったが、ラジオ・テレビでの発表が増えたことが理由として考えられる。

外部連携・招聘による講演会講座等数は13件で、新型コロナウイルス感染症蔓延期(令和3年度実績:5件)から回復しつつあるが、一方で、事業としての見直しや団体の高齢化・過疎化等で継続困難になったものもあり、感染症蔓延時以前の半分程度にとどまっている。特に市民講座的な講演会、高齢者向けの講座は影響が大きいと考えられる。市民参加型調査や市民連携の調査は4件で、前年度比2件減となっているが、長期的に見ると安定して実施している。

令和5年度の調査研究活動を総括すると、前年度からの学会発表や外部研究機関との連携・共同研究の回復傾向はより顕著となり、新型コロナウイルス感染症影響前の水準に達したと言える。一方で、講演会・講習会の件数の回復はこれらより緩やかである。特にいまだ新型コロナウイルスが存在する中の高齢者向けの講演会などはリモート開催が困難であり、また、過去の依頼主の中には複数年にわたる自粛生活の中で講演会の企画・運営ができなくなった例もあると考えられる。

今後、依頼を受けての講演会の講師派遣とともに、館主導のアウトリーチ活動や、講演・講習のメニュー開発も求められると考えられる。自然史調査は、本年度より新たな事業が行われるが、調査域の一部に前年度まで行ってきた地域を含み、また隣接地域を対象地域として加えた。このため、新規事業への移行はスムーズに行われたと考えられる。本調査事業については、引き続きみなかみ町や日本自然保護協会との連携とともに、群馬県立北毛青少年自然の家や、群馬県21世紀の森林公園との連携も考えられる。

(3) 展 示 (「知を広め、高める博物館」)

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、活動制限がほぼ無くなったため、社会全体で人の動きも活発になった。当館の活動もコロナ禍前の活動で改善すべき点は改善しつつ、講演会やワークショップ等の参加人数など、以前と同じようにできるようになった。観覧者数は人の動きが活発になったことに加え、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観を通して古生物学について学べる企画展「ポケモン化石博物館」(観覧者数191,653人、当館企画展最多)を開催したことから当初の目標値である25万人を上回る291,128人となり、開館以来最多となった。また、年度をまたいで開催された企画展「毒展」も、コロナ禍における活動制限の中にも関わらず春期企画展として過去最多の観覧者数を記録している。

展示標本では、2022年12月3日からふじのくに地球環境史ミュージアムに貸出中であったヤベオオツノジカが2023年5月10日に返却されたため、直ちに展示に戻し、代替標本のニッポンサイを収蔵庫に戻した。さらに企画展開催中はコラボレーション企画としてトリケ

ラトプスの頭骨模型 3 点やプテラノドンの幼体模型を追加展示し、解説パネル 7 点も設置した。追加・更新資料としては、コスモケラトプスの頭骨模型の 1 点となり目標値 50 点を下回ったが、開館 27 年目を迎え、パネル等の劣化への対応のため、パネル更新は 67 点となった。

解説員による解説も、コロナ禍前同様、実施されるようになり、定時解説の参加者は 2,730 人、随時解説の参加者は 18,018 人と、ともに目標値である 1,500 人、10,000 人を大きく上回ったが、1~4 月までは新型コロナウイルス感染症感染防止のための制限があったため、コロナ禍前のそれぞれ 3,000 人台、40,000 人台には戻っていない。令和 6 年度には解説の実施もコロナ前と同様に実施できるため、さらなる参加者の回復を目指したい。

その他の指標では、アンケートにもとづいたリピーター率が昨年同様 72%と高い数値を維持した。また、アンケートによる常設展の満足度は 100%、企画展の満足度は 99%とどちらも高い数値となった。これらの結果から、常設展に加え、魅力ある企画展・特別展やトピックス展により、過去に来館いただいた観覧者の満足度が高く、再び来館する契機になったと考えられる。

(4) 教育普及（「知を広め、高める博物館」－わくわく・ドキドキ・新発見－）

令和 5 年度の教育普及活動は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが 5 類に移行したことで、バックヤードツアーの再開など普及事業が数・質ともに充実し参加者数の増加と参加者満足度の向上につながった。

また、学校への PR 活動として理科主任会や研修会等での博物館利用に係る PR を進めるとともに、「教員のための博物館の日 in 群馬 2023」を開催し、効果的な博学連携について様々な機会を捉えて情報提供を行ってきた。その結果、教育用資料貸出や職場体験活動において活用件数が増加した。館内授業については、インディアナポリス子ども博物館との連携事業等、教育普及事業の多角化に伴い実施方法を見直したため実施回数が増加したが、教育普及事業全体では数・質ともに向上している。

ボランティアについては、行動制限が一層緩和され活発な活動が継続しており、解説ボランティアの廃止により登録者数は減少したものの延べ活動人数は 908 名（前年度比 144%）と大幅に増加した。また、個人の高校生や部活動での参加などボランティアの若返り傾向が続いている。令和 6 年度も博物館運営に欠かせないボランティアが活動の場を持てるようにしていきたい。

友の会活動では、会員数が大幅に増加しコロナ禍前の会員数に戻りつつある。企画展が好評で来館者数が大幅に増加したことも会員数の増加につながったと考える。友の会行事への講師支援を 4 年ぶりに複数回実施できたことは、友の会活動の充実につながった。

(5) 情報の発信と公開（「知を広め、高める博物館」）

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、アフターコロナの中で博物館活動を進めていく 1 年間となった。各メディア（新聞やラジオ・テレビなど）への情報発信件数は前年度並みで推移している。（館からの発信：162 件 [前年度 176 件]、メディアの取材対応件数は 50 件 [前年度 54 件]）

博物館ホームページが 10 月に新システムに更新となり、10 月から 3 月までの更新数を計上しているため、更新件数は 47 件と減少している。SNS については、博物館活動について広く情報発信をするツールととらえ Facebook、X、Instagram を運用し、幅広い客層をターゲットにリアルタイムの博物館情報を発信した（令和 5 年度末フォロワー数：Facebook 1,407 件 [年間投稿数 108 件]、X 1,983 件 [年間投稿数 112 件]、Instagram 602 件 [年間投稿数 85 件]）。タイムリーな情報をお届けすると共に、新たなフォロワー獲得に向けても広報活動を充実させていきたい。群馬県の動画情報発信サイト tsulunos（ツルノス）には、当館オリジナルの動画を 25 本（前年度 38 本）掲載している。

また、当館の出版物として研究報告、企画展毎のポスターやチラシ、図録の発行、イベントカレンダー（上期・下期）や博物館だより「デメテール」（2 回）を発刊した。文真堂書店や上信電鉄等の企業と連携しながら博物館情報について広く県民に周知することも行っ

た。情報発信については時代の流れやニーズを読み取り、その都度、有効な手段を検討しながら行っていく必要があると考えている。

(6) シンクタンクとしての社会貢献（「知を広め、高める博物館」）

自治体や各種機関・団体・一般などの外部からの要望に応えるために、当館で有する様々な資源（資料・情報及び職員の専門性）を活用し専門知識を提供することは、公共の博物館としての重要な使命の一つである。

外部からの要望の1つ目は、自治体や各種機関・団体・学会・博物館施設等から、当館職員を委員やアドバイザーとして迎えたいということである。当館では、できるだけ委員やアドバイザーを受託したいと考えているが、業務過多となることは避ける必要もあるため、受託件数は現状維持を目標値として設定している。令和5年度の受託件数は、例年と同程度であった。

外部からの要望の2つ目は、レファレンス対応を始め、博物館実習等の大学生・院生の受け入れ、他機関への講師派遣、他館への資料貸出などである。これらの要望は、外部からの要望のため目標値を設定していない。令和5年度の外部からの要望件数は、例年とほぼ同程度であった。今後も、できるだけ専門知識を提供し、シンクタンクとしての機能を充実させ、社会貢献を果たしていきたい。

(7) マネージメント（経営）

平成28年度にこれからの10年の館運営の基本的な考え方や理念や使命、機能、事業活動方針と事業展開方向などを盛り込んだ基本構想「自然史博物館のこれからの10年」を公表し、その構想に則して事業展開を進めてきた。令和5年度は、運営委員を中心に、次の10年を見据えた新たな基本構想についての改訂作業を開始した。

安全で利用しやすい博物館施設への改善では、施設改修等は予算的な制約から大幅な進展は見込めない状況であるが、開館後27年が経ち、建物の老朽化が見られる。今年度は、常設展示室階段手摺設置、情報コーナー床修繕、トイレ手洗い水栓修繕等の工事を行った。今後も観覧者の安全・安心を確保し、居心地よく利用していただくことができるように対応していきたい。

情報システム関連は、令和5年10月1日より第5次システムの運用を開始した。第4次システムでは、館内の業務系・展示系の情報機器をネットワークで繋いだオールインワンのシステム構成であったが、第5次システムから、普及広報システム、展示情報システムを切り離すこととなった。また、従来のシステムの経年による機器更新に加え、第4次情報システムより実施している一部のサーバーのクラウド化など、一層の県民サービスの向上、安定性の向上を図った。

常設展示の展示資料については、開館時から大規模な更新をしておらず、資料の傷みや機器の故障が目立ってきている。今後、可能な限り計画的な修繕・更新に努めたい。観覧者サービスの点検と質的向上については、スタッフの接遇研修を継続することで、観覧者サービスの一定の水準の確保を図ったが、更なる向上を目指したい。

博物館認知度の向上と利用者層の拡大のための広報活動としては、SNSや新聞・ラジオなどのメディアを活用して博物館情報を発信することで、博物館来館者のエリア拡大や利用者層の拡大に繋げて、来館者数の増加を図りたい。

職員の意識改革と資質の向上については、研修会・学会等への参加が少ない状況にある。予算上の制約や職員の業務負担等が課題として挙げられるが、博物館を一層魅力的なものにしていくためにも、職員には継続的なレベルアップが求められており、積極的な参加等を呼びかけていきたい。

博物館活動への理解及び外部協力の確保については、令和5年度においては企業から助成を得ることができなかった。引き続き外部資金の導入に努めていきたい。

防災意識の向上と危機管理体制の強化については、危機管理マニュアルに基づき防災訓練と地震訓練を各1回ずつ行った。危機管理マニュアルについては、随時必要な見直しを行っていきたい。

博物館評価システムの構築では、平成 25 年度から外部評価を導入し有識者から意見をいただきHPで公開している。いただいた意見を受け止め、今後の博物館活動に生かしていきたい。

(8) 博物館基本構想実現に向けた取組

博物館基本構想は、開館 20 周年を節目に今後 10 年間の当館が目指すべき中・長期的な目標をまとめたものである。また、当館の評価委員会では、その年度に作成された年報を基に、定められた指標の目標値を設定し、様々な取組を行ってきた。

令和元年度からこの内部評価に、博物館基本構想に関わる職員の意識傾向を取り入れた。このことにより、館内の評価から改善への移行が、より一層促進されると考え、最終項目に付加した。以下の表は、今年度の職員の意識傾向を示したものである。

この結果より、大区分では「博物館に必要な施設」を除き、全体的に肯定的意見が 8 割を超えていた。特に、「強化・充実・発展機能」における「シンクタンクの機能」項目に関しては 95%と非常に高い数値であった。当館で有する様々な資源（資料・情報及び職員の専門性）を活用し専門知識を提供することは、公共の博物館としての重要な使命の一つである。引き続きシンクタンクとしての博物館の強みを生かしながら社会貢献を果たしたい。一方、「博物館に必要な施設」では、ここ数年 6 割台と低迷している。その中でも、特に下げ幅が大きい項目は、「憩いのゾーン」（17pt 減）、「収蔵ゾーン」（11pt 減）である。「憩いのゾーン」の設問内容は、「憩いの空間を創出するため、中庭や休憩室を改善しようと積極的に取り組んでいますか。」である。開館から 27 年が経過し、施設全体の老朽化に加え、トイレや授乳室、エレベーターなど構造上の課題を抱えている。中庭や休憩室などの憩いの空間においても、現状に不十分さを感じている職員が多いことが数値からうかがえる。ユニバーサルな環境、居心地のよさへの意識の高まりを大切にしながら、今後の改善につなげていく必要がある。「収蔵ゾーン」に関しては、収蔵スペース不足により、標本を収蔵庫外に置かざるを得ない状況や作業スペースの制限により、本来の機能が果たせていない状況が続いており、今回も低い数値となってあらわれている。

ここ数年、低迷していた大区分「事業展開方向」の「資料が活用できる博物館へ」項目に関しては、昨年度を 21pt 上回る高い数値だった。収蔵施設の不足を深刻な課題としてとらえながらも、資料整理や収蔵資料登録、再配架による収蔵スペースの捻出など、できることから改善を進め、誰もが利用しやすい「資料が活用できる博物館」を目指してきた取組が、職員の意識の中で肯定的意見として反映されたのではと考える。

基本構想の区分と職員の意識からみた達成状況(肯定的意見の%) * 職員アンケートの肯定的意見(2+3)と否定的意見(4+5)の割合から算出									
区分	区分	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	
○群馬県立自然史博物館に求められる機能 令和元年(61%) 令和2年(67%) 令和3年(82%) 令和4年(81%) 令和5年(81%) →	○継続する機能・博物館活動の基盤となる機能・博物館に求められる機能と場	(1)調査研究機能(1~5)	66%	77%	85%	84%	83%	-1pt	
		(2)資料収集補充機能(6~9)	59%	59%	86%	85%	80%	-5pt	
		(3)管理運営機能(10~17)	52%	64%	75%	75%	81%	6pt	
	○強化・充実・発展機能 令和元年(72%) 令和2年(77%) 令和3年(84%) 令和4年(82%) 令和5年(86%) ↑	(1)シンクタンクの機能(18~19)	(1)シンクタンクの機能(18~19)	67%	74%	94%	85%	95%	10pt
			(2)資料収集補充機能(6~9)自然史学習支援機能(20~21)	65%	82%	83%	81%	82%	1pt
		(3)次世代育成機能(22)	84%	75%	76%	80%	82%	2pt	
	○新規追加機能 令和元年(79%) 令和2年(91%) 令和3年(91%) 令和4年(87%) 令和5年(80%) ↓	(1)参画型調査研究機能(23)	(1)参画型調査研究機能(23)	84%	88%	82%	80%	60%	-20pt
		(2)県民活動、連携協働拠点機能(24)	(2)県民活動、連携協働拠点機能(24)	74%	94%	100%	93%	100%	7pt
	○これからの事業活動方針と展開方向 令和元年(61%) 令和2年(74%) 令和3年(82%) 令和4年(79%) 令和5年(81%) ↑	○事業展開方向 令和元年(61%) 令和2年(74%) 令和3年(82%) 令和4年(79%) 令和5年(81%) ↑	(1)資料が活用できる博物館へ(25)	30%	50%	59%	59%	80%	21pt
(2)研究を進めて活かせる博物館へ(26~31)			59%	80%	91%	83%	78%	-5pt	
(3)最新の情報を発信し続ける博物館へ(32~34)			56%	64%	69%	77%	76%	-1pt	
(4)多様な“なぜ”を触発し創造的な活動ができる博物館へ(35~3)			68%	69%	82%	78%	75%	-3pt	
(5)担い手とフィールドをつなぐ役割を担う博物館へ(38)			81%	88%	100%	94%	100%	6pt	
(6)頼れる存在である博物館へ(39~44)			70%	92%	91%	85%	78%	-7pt	
○施設計画 令和元年(51%) 令和2年(58%) 令和3年(69%) 令和4年(63%) 令和5年(60%) ↓	○博物館に必要な施設 令和元年(51%) 令和2年(58%) 令和3年(69%) 令和4年(63%) 令和5年(60%) ↓	(1)知的好奇心を刺激する展示ゾーン(45)	64%	87%	88%	87%	78%	-5pt	
		(2)担い手活動ゾーン(46~48)	30%	30%	49%	37%	49%	12pt	
		(3)憩いのゾーン(49~50)	49%	47%	51%	49%	32%	-17pt	
		(4)調査研究ゾーン(51~52)	48%	53%	71%	58%	66%	8pt	
		(5)収蔵ゾーン(53~57)	63%	72%	86%	85%	74%	-11pt	
○運営方式 令和元年(96%) 令和2年(98%) 令和3年(96%) 令和4年(96%) 令和5年(100%) ↑	○運営方式 令和元年(96%) 令和2年(98%) 令和3年(96%) 令和4年(96%) 令和5年(100%) ↑	運営・評価等(58~60)	96%	98%	96%	96%	100%	4pt	

令和5年度自然史博物館活動の評価に対する意見

□「令和5年度群馬県立自然史博物館活動の評価」について

丹青研究所 文化空間情報部部長 石川貴敏

3月27日に開かれた「群馬県立自然史博物館評価委員会(以下、委員会)」は、博物館の会議室で行われました。委員会では、最初に、事務局(内部評価委員)から「令和5年度群馬県立自然史博物館活動の評価結果」(以下、内部評価結果)の報告を受け、続いて、館内視察(開催中の「第71回企画展 ツツジとその仲間たち 華麗にして奇妙な一族の話」、新たに導入した調査機材<電子顕微鏡>、収蔵庫内の状況について、それぞれの現場で担当者から説明を受けながら視察)を行い、現状を確認のうえ、所定の時間内に出来得限りの意見交換を行うことができました。

当日は、春休み期間でしたので、企画展会場では子どもたちが観覧している姿を確認しながら説明を受けました。「ツツジとその仲間たち」展では、毎回工夫に満ちている群馬県立自然史博物館の展覧会にふさわしく、質の高さと新たなアイデアが生かされており、感心しました。デジタルアーカイブ事業の一環として、植物標本をスキャンしたデータ(実際の植物標本と見間違えるほど精巧なものでした)を会場で活かしていたり、「ツツジ科カード」やクイズシートにQRコードを用いたり、大人のためのぬり絵が用意されているなど、関心をひきつける多様な手法を確認することができました。リピーター率や観覧者の満足度が高い博物館ですので、これからも担当学芸員の創意あふれた展覧会事業に期待しています。

令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、活動制限がほぼ無くなったため、事業活動に関する報告においてもコロナ禍前の状況に戻りつつあることを随所で感じました。なかでも、観覧者数が、目標値である25万人を大きく上回る291,128人（開館以来最多）を記録したことは素晴らしいと思います。群馬県立自然史博物館の企画展で最多観覧者数（191,653人）を記録した「ポケモン化石博物館」展の影響が大きかった（巡回している各地の博物館でも同様の結果を残している）ことは間違いありませんが、「毒」展が春期企画展として最多観覧者数を記録するなど、人々の動きが博物館などの現地に向かって活発化したことも感じました。企画展による収益があがったことにより、電子顕微鏡や公用車を更新することができたことは喜ばしい出来事でした。

一方で、毎年、意見を申し上げている「収蔵スペースの不足」は、少しでも早く解消できるように努めていただきたいと思います。内部評価結果では、今回も「収蔵スペースの不足は以前から深刻な問題となっており、第一収蔵庫・第二収蔵庫ともに慢性的かつ深刻な問題は解消できていない。また、図書室書籍の収蔵スペースに関しても同様の状況である。」と報告されており、資料の安全や実務に支障が生じていることは明白です。今回の視察で収蔵庫を確認した折も、標本の再配架によるスペースの確保など、現状の庫内（スペース）で出来得る工夫は限界に達していると感じられました（これ以上の工夫・改善は難しいと思います）。幾度も申し上げていますが、「収蔵スペース不足」は群馬県立自然史博物館に限ったものではありません。文部科学省科学研究費基盤研究C「博物館収蔵資料の保管と活用に向けた調査研究」（令和4年度～令和7年度）として、令和5年2月～3月に全国500館の公立博物館を対象に行われたアンケート調査の結果が「博物館収蔵資料の保管と活用に向けた調査研究（公立博物館アンケート調査結果）報告書」としてまとめられています（法政大学資格課程のHPで公開中）ので参照していただければと思います。令和7年3月に「高知県立歴史民俗資料館 資料収集方針・収蔵のあり方検討会 報告書」が公表されるなど、全国各地の博物館で同様の課題に対応するための方針・手順の見直しが図られているほか、収蔵庫の増築（収蔵スペースの拡張）や、（博物館から離れた立地で）サテライトの収蔵施設整備を目指したり、複数施設の共同収蔵庫整備に向けた取り組みも行われています。こうした各地の取り組みに関する情報を積極的に集めるとともに、「収蔵庫問題」として国内外で一気に進み始めた時宜（好機）を逃すことのないよう、収蔵環境を持続的にマネジメントするための規程の検討などに取り組んでいただきたいと思います。

東北歴史博物館（宮城県立の博物館）は、令和6年度 Innovate MUSEUM 事業 ネットワークの形成による広域等課題対応支援事業（文化庁）の採択を受けて、「博物館を中心とした広域連携に基づく民俗資料の魅力発信事業」に取り組んでいます。「リソース（人・モノ・知識）を共有（コモンズ化）する」ために、「宮城県民俗担当職員協議会（宮城県民俗コモンズ）」を立ち上げて活動を展開しています。協議会会議、共同調査会（県内の民俗担当職員が集まり、県内各地の収蔵資料を共同で調査）、市町村収蔵庫の調査（県内の民俗資料庫を訪問し、収蔵資料や保存状況を把握）、巡回撮影（委託業者が市町村収蔵庫を巡回し、各地で手本となる撮影を実施）、撮影基準表の作成（質の高い写真を最低限の知識や技術で撮影するためのマニュアル作成）、自前撮影（民俗専門職員と派遣職員が、共通の基準にもとづき撮影を実施）、「宮城の民具」サイトの開設・運営（県内10自治体、1,000件、3,000カット以上のデジタルアーカイブの公開）などに取り組んでいます（以上は、文化審議会第2期文化施設部会（第1回）における同館研究員の今井雅之氏の報告内容をもとに記載）。

群馬県内に自然史系（自然系）博物館は数多くないと承知していますが、自然史系（自然系）資料は各地（各自治体）で保管環境が危うい状況にあることは宮城県の民俗資料と同じではないかと思えます。千葉県立中央博物館が令和5年度春の展示として取り組んだ「理科室のタイムマシン 学校標本」展（千葉県内11校の高校などに保存されている貴重な古い剥製・標本約100点を展示）は、「木更津高の「オットセイ」剥製 ほぼ絶滅の「ニホンアシカ」の可能性」（2025.03.28 毎日新聞）、「希少なニホンアシカの剥製か 国内外で18体、DNA解析へ 木更津高」（2025.04.14 千葉日報）につながっており、博物館の存在意義の根幹を成す資料の収集・保管（次代に大切な資料を継承する役割）が停滞することは、県民にとって（県外の利用者にとっても）望ましいことではないはずですが、長く深刻な問題として横たわっている、収蔵スペースの不足をはじめとした資料収集・継承に向けた懸念（課題）を一つずつでも払拭するために、新たな展開につながる取り組みが始まることを願っています。

群馬県立自然史博物館はリピーター率が高く、展示や教育普及事業における観覧者・参加者の満足度も高い魅力的な博物館です。これからは利用者の幅を広げていくために、まだ訪れていない・参加していない人々に関する調査（アンケートなど）や、群馬県立自然史博物館の情報が届いていない（意識されていない）人々への対応策を講じていくことが必要ではないかと思えます。群馬県立自然史博物館の発展につながる調査の実施から、解決策の企画立案につなげていければ望ましいと思えます。また、こうした課題への対応策の一つとして、アウトリーチ活動（博物館からアプローチを行うこと）のさらなる充実にも期待しています。来館者・利用者にも満足していただくとともに、非来館者・未利用者を想定した事業の推進も持続可能な博物館運営のためには重要です。より多くの人々に群馬県立自然史博物館にアクセスしていただき、博物館が取り組んでいる事業や博物館が抱えている課題、さらには博物館の存在意義に共感してもらうことで、閉塞した際の局面打開につなげていけたらと切に思います。一人でも多くの人に、積極的に博物館に関わってもらうことこそが、これから博物

館が持続可能性を追求するうえで最も力（助け）になるものと考えています。

「博物館法の一部を改正する法律」（令和4年法律第24号／令和4年4月15日公布）が令和5年4月1日に施行されました。群馬県立自然史博物館は、改正前から登録博物館でしたので、現在は「みなし登録博物館」（令和10年3月31日までの5年間は経過措置として、改正後の博物館法第11条による登録を受けたものとみなされます）です。令和10年4月1日以降も引き続き登録を受ける場合は、令和10年3月31日までに、再度、登録申請を行い、審査を受けて登録博物館となる必要があります。当該期間内に登録博物館となった上で、県民をはじめとした多くの利用者に登録博物館の意味合いや位置付けなどについて、館内（オンサイト）やオンラインを通じてしっかり説明（普及）していただきたいと思っております。

□「令和5年度群馬県立自然史博物館活動の評価」について

群馬県立自然史博物館専門委員 中村修美

評価委員会でご説明いただいた内部評価結果に基づき、所見を述べさせていただきます。

博物館法の改正などもあり、これからの博物館の望ましい姿として「資料収集」「資料整理・保管」「調査・研究」「教育・普及（展示を含む）」という博物館活動の基盤を強化し、学術や科学技術の進展や文化の保護・創造に貢献するとともに、交流、市民参画・連携する学習支援機関としての役割の充実する、という考え方が提示されています。特に、「他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など地域の活力の向上への寄与」が強調されていますが、強弱はあれ、これまで各博物館の活動で既に行われてきたと私は思っています。

このような提案も考慮して、貴博物館の活動を拝見しますと、総体として内容は多様で活発な活動を行っていると思えます。

評価ではどうしても数値が対象となります。しかしながら、提示されている項目のすべてで目標値を上昇させることは難しいことですし、そもそも常に上昇する性格のものばかりではありません。実際、自らの活動によらない項目は「目標値設定はしない」となっていますが、これで良いと思えます。ただ、どのような状況・数値かは把握しておく必要があります。

貴博物館では、中・長期の構想を設定していますが、これは非常に重要なことです。現在の活動が将来の目標への程度の到達度になっているか評価されていますので、それを日々の活動にフィードバックしていただき、博物館の人的、物理的キャパシティの中でどのように活動していくかを検討して博物館活動を進めていただければと思います。

個別の内容について、2点ほどコメントさせていただきます。

まずは、資料管理についてです。資料の管理・保存において燻蒸は重要ですが、燻蒸してもカビや資料に潜り込んでいる虫の除去は難しいものがあります。そのため、日常のIPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）が重要となります。害虫調査は展示室も含めて年に2回行っているとのことですが、全館を対象とした調査はそれでよいと思えます。ですが、バックヤードや収蔵庫の調査は、年間を通しておこなうべきです。フェロモン型のトラップでは虫を引き寄せしてしまう危険もありますので、フェロモンを用いない粘着型のトラップで、年間を通して虫の発生や侵入状況を確認すべきだと思います。また、このトラップにより多少でも虫を除去することもできます。

次は、アンケートについてです。来館者のアンケートで高い満足度を得ていることは素晴らしいと思えます。是非、今後も高い満足度を得られるように活動を進めていただきたいと思えます。私が博物館職員として現役の時に、「来館した人は興味を持ってきている。その人たちのアンケートの満足度が高いのは当然で、低い満足度では問題がある。博物館の活動にとって、来館していない人の意識を確認することが重要では」と指摘されたことがあります。来館されていない人たちの意見・感想は、これまでとは違った視点が得られるかもしれません。どのようにアンケートを取るかは難しい点があると思えますが、石川委員のネット利用の例もありました。手法、内容については検討する必要がありますが、実施を考慮されては如何でしょうか。

□「令和5年度群馬県立自然史博物館活動の評価」について

群馬県立自然史博物館専門委員 小田川浩道

令和5年度の観覧者数は企画展「ポケモン化石博物館」の盛況によって目標を4万1千人あまり上回り、過去最多の29万1128人となった。国民的な人気キャラクターとのコラボとあって、会場のあちこちで記念撮影したり、古代生物の化石に興味深く観察したりする子どもたちの姿が見られた。本県で発見されたイルカやカメなどの化石も展示され、太古から続く進化の歴史を知る貴重な機会を提供する展覧会となった。

一方、懸案となっていた収蔵スペースの問題は解決の目途が立っていない。標本箱は天井まで山積みとなり、狭い通路は動物のはく製が埋め尽くす。資料を取り出すには煩雑な作業が必要となり、破損の恐れも危惧される。

こうした問題は全国の博物館に共通する悩みだ。奈良県立民俗博物館は収蔵庫からあふれた資料の整理ため休館を余儀なくされ、同県は基準を設けたうえで一部廃棄を検討している。破棄について専門家が反対の声明を発表し、再考を促す事態となっている。

問題を放置すると重要資料の収集機会を逃す恐れがあるほか、保存環境の悪化はカビの発生にもつながる。開館30周年の節目を一つの区切りとして、県として方向性を早急に示すことが求められる。

資料を虫やカビから保護する「燻蒸」についても新たな問題が浮上した。博物館で一般的に使われてきた薬剤「エキヒュームS」を扱ってきたメーカーが環境への悪影響から2025年3月末での販売終了を決めた。従来の燻蒸庫は使えず、代替ガスは作業を担う業者に限られる。虫の捕獲トラップを活用しながら収蔵庫の状態を監視し、資料の保全に万全を期してほしい。

群馬県と米国インディアナ州との連携協定に基づき、県立自然史博物館ではインディアナポリス子ども博物館からスタッフを招き、ワークショップを開催した。相互訪問を進めながら信頼を醸成し、展覧会を共催するなど連携の成果を示してほしい。

収蔵庫には寄贈された多数の個人コレクションがあった。昆虫や化石など膨大なコレクションと郷土のコレクターを紹介する企画展の開催を期待する。

5 ESCO事業

平成26年度から開始されたESCOサービスは、前年度の反省点を踏まえつつ、博物館と受託業者が連携して取り組んだ結果、令和6年度も削減保証額を上回る77,984千円のエネルギーコスト削減となった。

※変更契約締結後のベースライン	109,416千円(補正後)
〃 削減保証額	61,809千円

6 防災訓練・危機管理

地震や火災などの発生に備えるため、かぶら文化ホールと連携して2回の防災訓練を行った。

- ・令和6年10月31日(木) 地震避難訓練
- ・平成7年 3月 5日(水) 消防訓練

7 施設修繕・機器更新

(1)施設修繕

屋内変電設備修繕、開放型スプリンクラー設備改修、急速遺体防腐処理装置(恒温槽)修理、空調設備レタファンVベルト交換修繕、展示室ムーンライト修理、館入口土間修繕工

事、消防設備改修、照明器具不良交換、ウォシュレット（多目的トイレ）更新、洋式トイレ脱着点検修理、トイレ自動水栓修繕、トイレ排水管用水漏れ修繕等を行った。

(2) 機器更新

空調設備更新（尾瀬シアター制御室、防災センター）、トイレ照明・事務室照明等更新を行った。

8 その他

(1) 群馬県立自然史博物館観覧者500万人達成セレモニー

実施日：2025年3月16日（日）11:10～11:30

場 所：自然史博物館エントランス

内 容：観覧者500万人目となった埼玉県寄居町から訪れた4人家族（ご両親とお子さん2人）にインタビューの後、くす玉を割ってもらい、記念品と招待券を渡した。

II 事業の概要

1 展示

(1) 常設展示

県民が自然の生き立ちや群馬県の多様で豊かな自然環境などへの理解を深め、自然に親しみながら学習する施設とするため、①資料についてはできる限り実物を揃える、②資料のケース内の展示を極力減らして身近に展示し、実物を実感してもらおう、③資料を観覧するだけでなく、資料によっては直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がける、の3点に配慮している。

常設展示は、下記の5つのコーナーに区分されている。展示室の管理にあたっては、令和6年度も各コーナーの担当者が展示室内の状況を毎月1回以上確認した（清掃、修繕を含む）。日々の展示物の動作確認については展示解説員が実施している。

① 地球の時代（Aコーナー）

誕生から46億年を経て現在に至る地球の発達、すなわち大地が形成される過程、そして地球における生命誕生とその生命が様々な環境に適応し多様化していく過程の二つを軸として、その中に群馬県の地質や化石を絡めて、生命の進化史を群馬県の自然史と対比しながら世界的・日本的規模で展示している。本コーナーの展示は、現在のヒトから宇宙の誕生までを一気に遡って紹介する導入部のタイムトンネルを抜けたところからはじまり、今の自然環境の基盤となる地球（太陽系）の形成と生命の誕生ならびに先カンブリア時代の地球の発展を紹介する「A-1 水の惑星と生命の誕生」を皮切りに、「A-2 生命を育てた太古の海」（古生代）、「A-3 恐竜の時代」（中生代）、「A-4 哺乳類の時代」（新生代古第三紀・新第三紀）、「A-5 人類の時代」（新生代第四紀）の5つに分けられる。

令和6年度には、「第三紀」を正式な年代名として使用しなくなったことから、常設展A-1～5の各コーナーのタイトルピラー5本と絶滅ピラー4本について年代値ならびに記述内容の修正を行った。

その他にA-1の解説パネル「ウミエラの進化」「テクタイトとは」、A-3の解説パネル「付加体」「恐竜とは」「フタバサウルス」と地質図パネル2点（群馬県北東部、群馬県南西部）を修正した。A-4では、上述の年代名変更（第三紀→古第三紀・新第三紀）に伴って「哺乳類の進化」の解説パネルや「鯨類の進化」の系統樹パネルなど等23点のコーナーサインならびに解説パネル上部見出しを含む修正を実施した。A-5では、「炭素14法」など11点のパネルを修正・交換した。

（展示資料数1,216点、差し替えパネル45点）

② 群馬の自然と環境（Bコーナー）

多様で豊かな群馬の自然環境を低湿地から亜高山帯まで、また利根川や尾瀬など代表的な地域に分けてジオラマ、標本、映像等で紹介している。特に山地帯の展示ではブナ林、亜高山帯はシラビソ・オオシラビソ林、丘陵帯はクヌギーコナラ林、低湿地は茂林寺沼の周辺の植物、尾瀬では湿原植物を、それぞれジオラマで再現している。また、利根川では3つの水槽に上・中・下流に代表的な魚を生体で展示している。水槽展示のメンテナンスは年24回実施している。それぞれの場所ごとに生息する哺乳類や鳥類などの剥製やレプリカ、アクリル標本なども数多く展示している。また尾瀬シアターは、180インチのプロジェクター投影機を用いて、日本を代表する尾瀬の湿原をミズバショウの妖精ミズビーが案内するものとなっている。尾瀬シアターは、新型コロナウイルス感染症対策のため、R4年度まで運用休止中だったが、R5年度より再開した。令和6年度は、維管束植物の近年の分類体系の変化に伴い、科名や分類群の取り扱いの変化があった標本71点についてラベルの全面的な交換を行った。また、関連するパネル5点の差し替えを実施した。

(展示資料数1,401点、差し替えパネル5点)

③ ダーウィンの部屋（Cコーナー）

博物学者のロボットが生物の進化について説明する。展示室内は、博物学者の書斎や倉庫、実験室をイメージし、数多くの標本を間近に見ながら、資料に触れたり、機器を操作したりしながら観察できる参加体験型の展示となっている。平成12年度に寄贈されたダーウィンの直筆書簡と顕微鏡を展示している。動刻（ロボット博士チャーリー）については、保守点検を年4回実施した。わたしがみつけた自然のコーナーは、10点入れ替えた。

(展示資料数546点、更新展示資料10点)

④ 自然界におけるヒト（Dコーナー）

このコーナーの名称は、ダーウィンの進化論を擁護したトーマス・ハックスリーの本の題名「自然界における人の位置」にもとづいている。コーナーの展示は以下の3つから成っている。

1 動物としてのヒト：ここではヒトが脊椎動物や哺乳類とどのような同じ特徴をもつかを展示しておりヒトがいかにか動物であるかが実感できる。哺乳類は世界中に約4,500種いる。哺乳類には、授乳により子どもを育てる、胎生、恒温性、2心房2心室、大脳の発達、7個の頸椎、異形歯性、二生歯性などの特徴がある。ヒトはオランウータン、ゴリラ、チンパンジーなどの霊長類のなかまで、霊長類には拇指対向性、平爪をもつ、指紋がある、立体視ができ色覚があるなどの特徴が見られる。

2 ヒトの進化と起源：ヒトという種が複雑な進化の段階を経てきたことを当時の研究成果にもとづいて展示している。ヒトはチンパンジーとの共通祖先から別れた後、ヒトは独自の進化をとげてきた。現代人はホモ・ハイデルベルゲンシス（50万年前）からホモ・サピエンス（20万年前）と進化し現在にいたっている。

他の動物にはなくヒトだけがもつ特徴がいつどこで始まったのかを、欧米の芸術家の手による精巧な等身大人形や科学的復元図で展示している。

3 ヒトの特徴：ヒトの身体には、ほかの霊長類には見られない様々な特徴がある。この特徴は、そのほとんどが直立二足歩行を始めたために起きたと考えられている。頭蓋骨では脊髄が出る大後頭孔は真下にあり、頭をささえる項筋が付着する部分は小さくなっている。胸郭は内臓が下がらないようにすばまっていて背骨は足から伝わるショックをやわらげるためにS字状になっている。また骨盤は内臓をささえるためにゆりかごのような形をしている。さらに脚にある大腿骨は斜めについており、歩く際にチンパンジーのように左右に揺れることなく歩行することができる。足の骨はアーチ状になって土踏まずができ、体重が一点に集中しないようになっている。

直立二足歩行、脳の発達が道具の製作と使用、死者の埋葬、火の使用、芸術と象徴、農耕と牧畜、文明などを生み出すことになった。これを実物標本や模型・複製等で再現している。(展示資料数 364 点、更新展示資料 0 点)

⑤ かけがえのない地球（Eコーナー）

人間の生活が地球全体に及ぼす影響を紹介し、環境問題について考える機会を与える展示である。エコボール、ドードーやトキなどの絶滅、または絶滅の危機にある動物の紹介や、森林の保水作用を説明する模型、環境クイズの映像などを展示している。

(展示資料数29点、更新展示資料0点)

⑥ 常設展メンテナンス・更新

ESCO 事業以外の照明等で LED 化未対応の部分について、電球交換を実施した。なお展示室内照明 LED 化についても計画的に進めている。また経年劣化や市町村合併による名称変更、研究の進展による変更などについて展示パネル、ラベル、ピラーの修正を行った。展示機器等のメンテナンスを行った。そのほか、ジオラマのメンテナンス、清掃を行った。

(2) 企画展示

① 第69回企画展「紳士淑女のための鉱物展」

A 趣旨

鉱物は色、光、透明感、質感などで古代から人の心を魅了してきた。その辺に転がる石ころも実は鉱物の集まりでできていて、顕微鏡で見ると宝石を散りばめたような世界にはっとさせられる。鉱物の展示は、鉱物の「もと」となる元素の種類や結晶の形、鉱物のでき方で区分して展示されることが多いが、体系的展示構成は時に広く感動を与える内容と離れてしまう場合がある。本企画展では「鉱物との出会いの場」を創ることを目的として、日本の伝統色、美しい言葉、宮沢賢治作品などを通して鉱物標本の彩りのある世界を展開する。

B 開催期間

令和6年3月16日（土）～5月12日（日）

【51日間（令和5年度：14日、令和6年度：37日）】

C 展示構成

1 導入

鉱物見立て回廊 ー小さな世界たちー
煙水晶、水晶、砂漠のばら、硫黄、
水鉛鉛鉱、ひすい、北海道石、孔雀石、
鉱物の専門家のインタビュー映像など

2 プレリュード（鉱物と光の共演）

アクアマリン、黄鉄鉱、珪化木と水晶群晶

3 3つの大きな鉱物万華鏡

「花」、「鳥」、「月」をテーマにして
選定された鉱物標本群と大型トパーズなど

4 日本の伝統色とかさねの色目

色彩に着目した鉱物の組み合わせ展示



- 5 群馬で発見された新鉱物
群馬石、桐生石、アンモニオ白榴石、若林鉱、長島石、鈴木石
- 6 宮沢賢治作品と鉱物
「銀河鉄道の夜」、「檜ノ木大学士の野宿」、「流氷」、「春と修羅」に登場する鉱物
- 7 その他さまざまな鉱物
ペグマタイト、石膏、水晶、アメシスト、
鶏冠石など



- 8 現代美術と鉱物
- (1) 嶋津晴美作品
「拵え鉱物」2点（鉱物・岩石から着想を得て、リサーチ・制作した現代美術作品）
- (2) 高橋キャス作品
当館収蔵標本6点をモチーフにした鉱物ぬり絵とモチーフとなった鉱物標本展示
- (3) shafu.stamp 作品
展示された鉱物6種類のスタンプラリー用スタンプ（当館監修）



D 展示点数：368点

E 入館者数

12,328人（令和6年3月31日まで）
30,966人（令和6年4月1日から5月12日まで）
43,294人（会期合計）

F 関連事業

a) ワークショップ「オリジナル鉱石をつくろう」

実施日：令和6年4月21日（日） 10:00～11:30、13:30～15:00

講師：CLEMOMO（美術作家）

場 所：実験室

参加人数：10:00～11:30 21人
13:30～15:00 20人

b) ギャラリートーク

実施日：令和6年4月7日（日）10:00～10:40、14:00～14:40
令和6年5月6日（月・祝）10:00～10:40、14:00～14:40
令和6年5月12日（日）11:30～12:10、14:45～15:25

講 師：菅原久誠

場 所：回廊・企画展示室

参加人数：令和6年4月7日（日）10:00～10:40 7人
令和6年4月7日（日）14:00～14:40 8人
令和6年5月6日（月・祝）10:00～10:40 13人
令和6年5月6日（月・祝）14:00～14:40 10人
令和6年5月12日（日）11:30～12:10 12人
令和6年5月12日（日）14:45～15:25 11人

c) 友の会限定ギャラリートーク

実施日：令和6年4月27日（土）10:00～10:40、14:00～14:40

講師：菅原久誠

場所：回廊・企画展示室

参加人数：令和6年4月27日（土）10:00～10:40 13人

令和6年4月27日（土）14:00～14:40 10人

G 後援

NHK 前橋放送局、株式会社 エフエム群馬、群馬テレビ、ラジオ高崎、上毛新聞社

H 協力団体

フォッサマグナミュージアム、埼玉県立自然の博物館、宮沢賢治記念館、きらら舎、糸魚川ユネスコ世界ジオパーク、一般社団法人糸魚川市観光協会、ぐんま鉾山研究会、日本ジオパークネットワーク

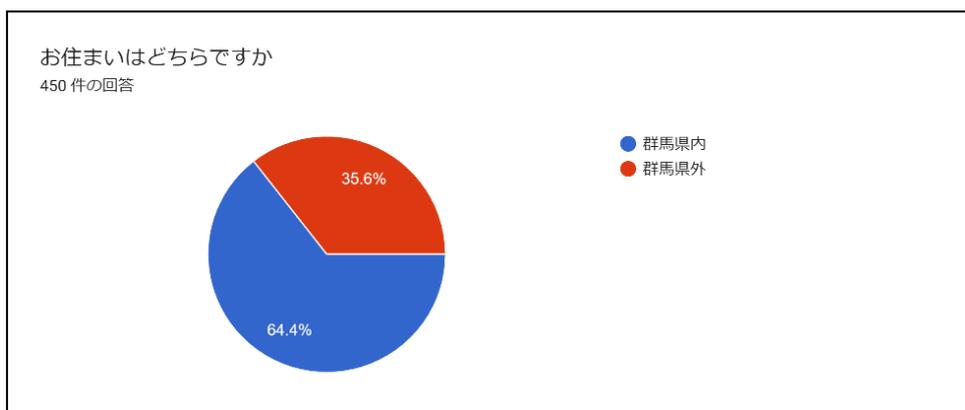
I

協力者（50音順・敬称略）：石橋 隆、磯田喜義、小河原孝彦、香川清志、小林まさ代、金井彰子、CLEMOMO、さとうかよこ、佐藤真由美、佐藤佑一、嶋津晴美、shafu.stamp、高橋キャス、田津原将智、富沢茂善、野口陽子、原田 明、松本恵利那、丸橋 剛、安江 健、和賀一雄、和田晴美

J 来館者アンケート結果 回答数：450件

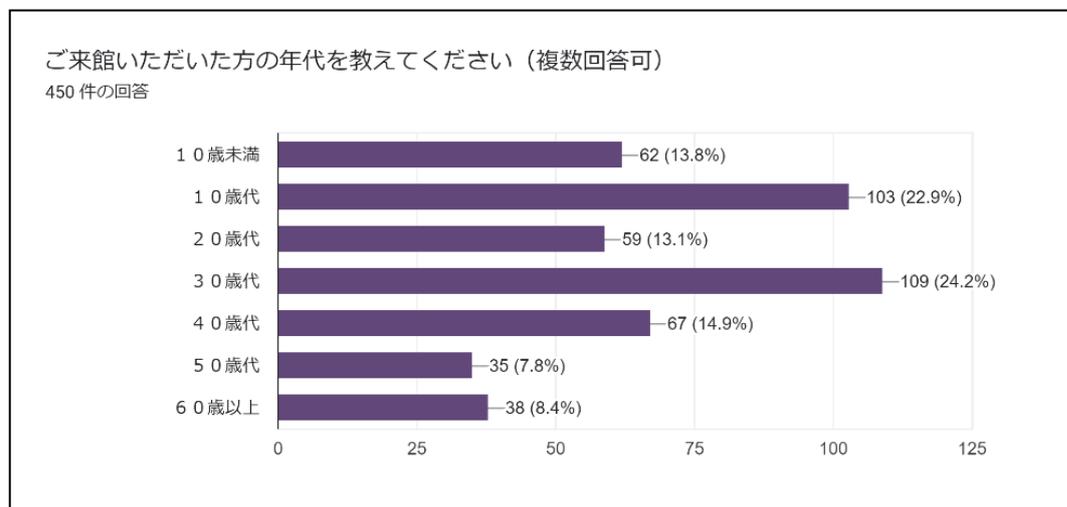
a) お住まいはどちらですか？

- ①群馬県内 ②群馬県外



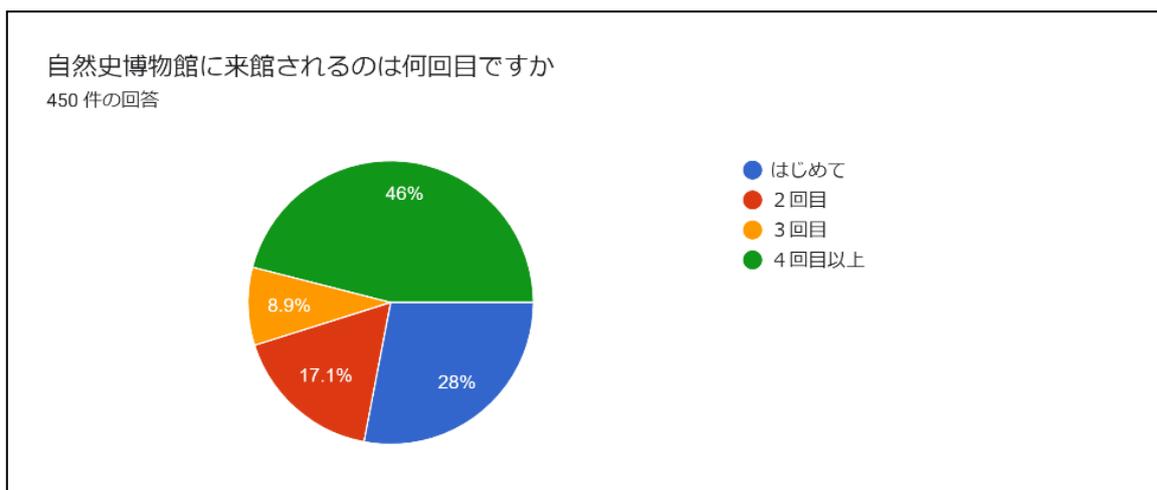
b) ご来館いただいた方の年代を教えてください。（複数回答可）

- ①10歳未満 ②10歳代 ③20歳代 ④30歳代 ⑤40歳代
⑥50歳代 ⑦60歳以上



c) 自然史博物館に来館されるのは何回目ですか。

- ①はじめて ②2回目 ③3回目 ④4回目以上

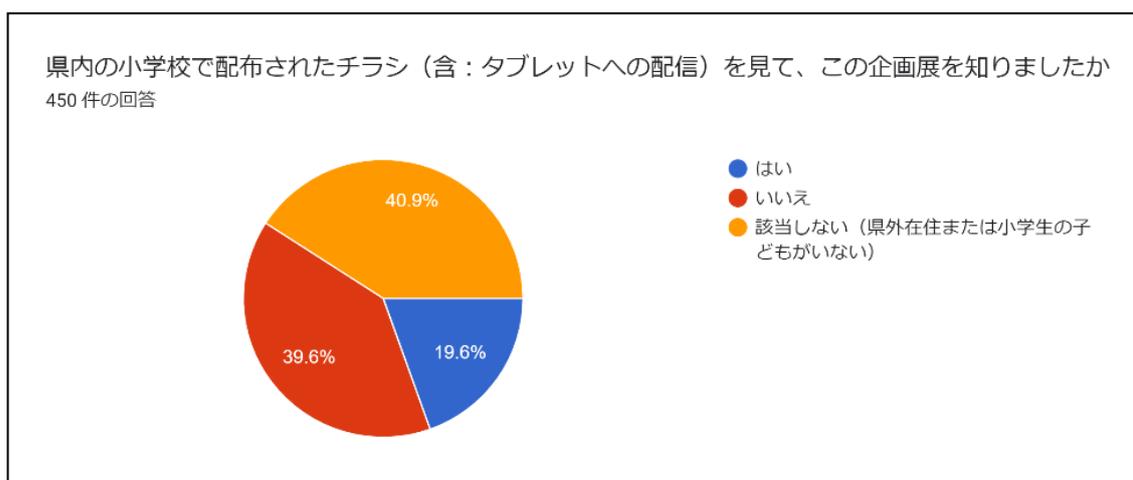


d) 本日企画展「紳士淑女のための鉱物展」をご覧いただいた理由を教えてください。

- ・来館して (133件)
- ・テレビやラジオ (14件)
- ・新聞 (15件)
- ・雑誌、ガイドブック (8件)
- ・ポスター (72件)
- ・チラシ (123件)
- ・ホームページ (54件)
- ・X (17件)
- ・Instagram (12件)
- ・Facebook (3件)
- ・知人から聞いて (61件)

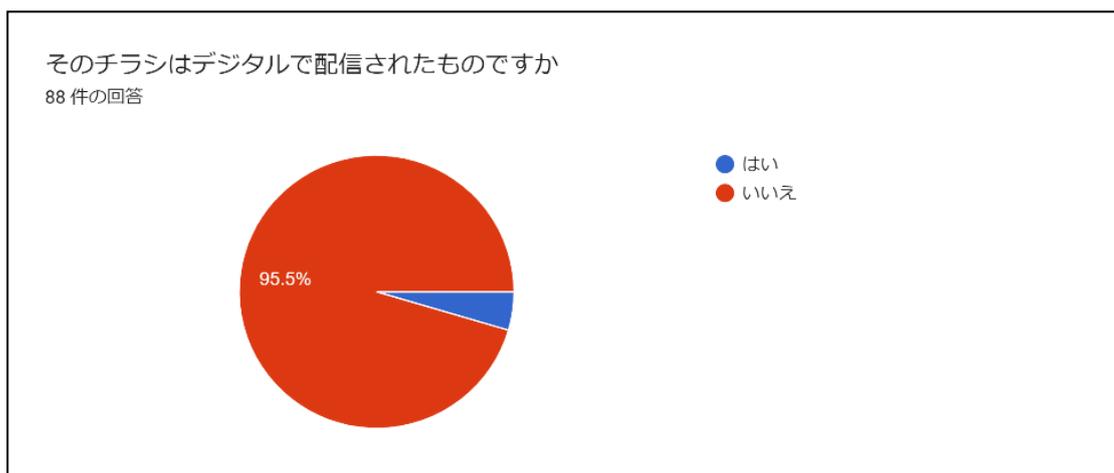
e) 県内の小学校に配布されたチラシ (含デジタル版) を見て、この企画展を知りましたか。

- ①はい ②いいえ ③該当しない (県外在住または小学生の子どもがいない)



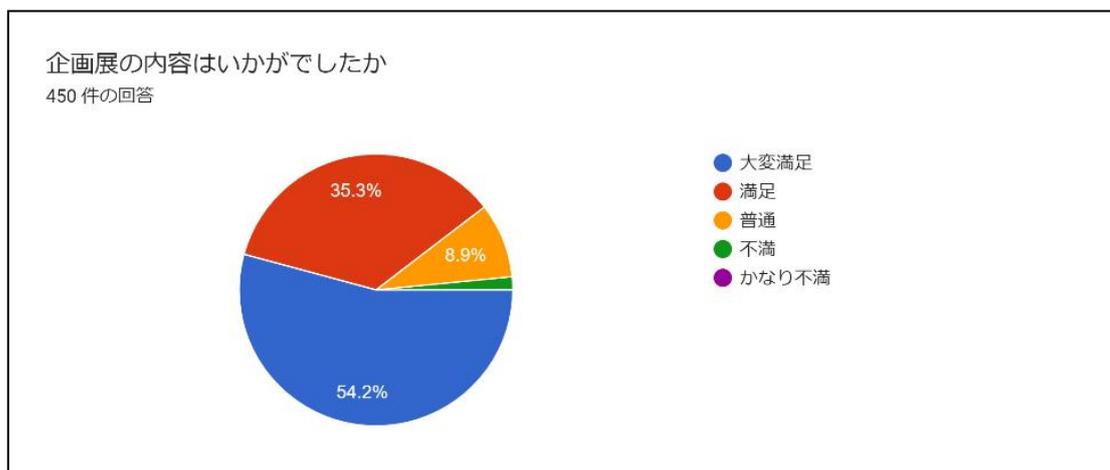
f) eで「はい」 答えた人 そのチラシはデジタルで配布したものですか

- ①はい ②いいえ



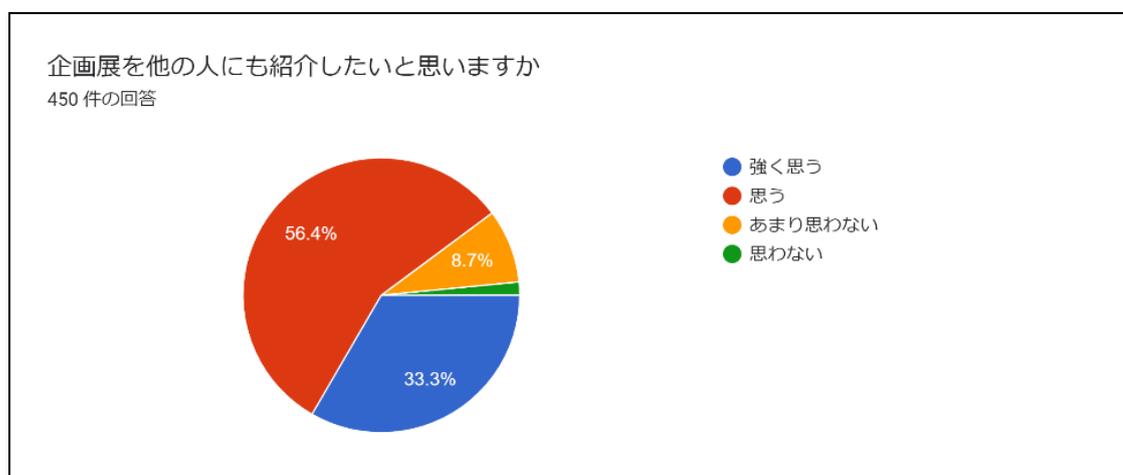
g) 企画展の内容はいかがでしたか。

- ①大変満足 ②満足 ③普通 ④不満 ⑤かなり不満



h) 企画展を他の人にも紹介したいと思いませんか？

- ①強く思う ②思う ③あまり思わない ④思わない



② 第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」

A 趣旨

企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」は、海のない群馬県において、海・陸・川は水の循環によってつながっており、ヒトによる資源利用や生物の生息状況変化は、海洋生態系に大きな影響を与えていることを企画展および付帯事業を通じて教育普及することを目的とした。企画展および付帯事業を体感することで、利用者一人一人の日々の暮らしが海洋生態系と海洋循環に大きな影響を与えていること、地球規模の環境変動が発生していることを自覚し、「自分ごととして考え」地球上に生息する生物の生息可能な環境を維持・保全するための意識向上、行動を誘発することを目標とした。地球「温暖化」から地球「沸騰化」した時代に、本事業を当館において5か月近く展開することで、人々の「海洋循環」「海・陸・川の地球の循環」の意識を向上させ、環境保全にむけた意識変容、行動変容をもたらすことを目指した。

上記目標を達成するため、まず、企画展会場を地球に見立て、会場内むかって右側を北極域、左側を南極域とし、展示室中央で両方がまざりあう、すべてがつながっていることを表現するつくりとした。また、シーズンⅠを北極域の白夜、南極域の極夜、シーズンⅡを北極域の極夜、南極域の白夜とし、途中、展示の入れ替えを行った。

付帯事業は、ワークショップ「食を通じて考える、地球の未来 シーズン1」、講演会「バイオロギングで探る極地の海鳥の生活：ペンギン、ウミガラスと温暖化の影響」、講演会「南極フィールド調査から探る南極氷床の融解メカニズムと海水準上昇」、講演会「南極クラス シーズン1」、ワークショップ「ボードゲームで考えよう！～研究者と語る。北極の今とこれから～」、ワークショップ「ペンギン調査を体験しよう」、講演会「南極クラス シーズン2」、講演会「南極観測隊と極域の地衣類」、ワークショップ「食を通じて考える、地球の未来 シーズン2」、サイエンス・サタデー「北極モビールをつくろう」、サイエンス・サタデー「南極モビールをつくろう」、「北極と南極モビールをつくろう」（イオンモール太田）、「北極と南極モビールをつくろう」（沼田市立白沢中学校）、「北極と南極モビールをつくろう」（TCA 東京 ECO 動物海洋専門学校）計14事業を実施した。

B 開催期間

(1) シーズンⅠ

令和6（2024）年7月20日（土）～9月8日（日）

(2) シーズンⅡ

令和6（2024）年9月14日（土）～12月8日（日）

計：123日間

C 展示構成

展示の基本構成は、1）地球でいちばん寒いところ北極と南極（北極と南極の基礎知識）、2-1）北極のなりたち、2-2）南極のなりたち、3-1）北極の環境といきものたち、3-2）南極の環境といきものたち、4）水がめぐる地球の循環、5）北極と南極を目指した人々・継続的な観測の重要性、6）いきものたちがめぐる海と陸～地球とわたしたちの未来～、とした。また、記念撮影コーナーや、イグルードーム内におけるオーロラ鑑賞、自ら北極と南極について調べる STUDY ROOM、いきものクイズ、企画展スタンプ等、体験型、滞在型の展示コーナーも随所に設置した。

D 展示点数

（シーズンⅠ） 310点（うち館有資料 262点）

（シーズンⅡ） 303点（うち館有資料 368点）

E 入館者数

- (1) シーズンⅠ 43,016 人
(2) シーズンⅡ 58,991 人 計 102,007 人



F 関連事業

- (1) 企画展ワークショップ「食を通じて考える、地球の未来 シーズン1」
実施日：2024年7月21日（日）
①9:45～10:45②11:00～12:00③13:00～14:00④14:15～15:15
講 師：早武 忠利（一般社団法人 大日本水産会 魚食普及推進センター）
場 所：実験室
参加人数：①26人 ②29人 ③25人 ④33人
- (2) 企画展講演会
「バイオロギングで探る極地の海鳥の生活：ペンギン、ウミガラスと温暖化の影響」
実施日：2024年7月28日（日） 13:30～15:30
講 師：高橋 晃周（国立極地研究所）
場 所：学習室
参加人数：54人
- (3) 企画展講演会「南極フィールド調査から探る南極氷床の融解メカニズムと海水準上昇」
実施日：2024年9月1日（日） 13:30～15:30
講 師：菅沼 悠介（国立極地研究所）
場 所：学習室
参加人数：47人
- (4) 企画展講演会「南極クラス」
実施日：2024年9月8日（日）①10:30～11:30 ②13:30～14:30
講 師：熊倉 聡泰（ミサワホーム総合研究所 研究員、元南極観測隊員）
手塚 啓（ミサワホーム総合研究所）
場 所：学習室
参加人数：①50人 ②48人
- (5) 企画展ワークショップ
「ボードゲームで考えよう！～研究者と語る。北極の今とこれから～」
実施日：2024年9月29日（日） 13:30～15:30
講 師：渡邊 英嗣（JAMSTEC）
毛利 亮子（国立極地研究所北極観測センター）

場 所：実験室
参加人数：21人

(6) 企画展ワークショップ「ペンギン調査を体験しよう」

実施日：2024年10月17日(日) 13:30～15:30

講 師：伊藤 元裕(東洋大学)

場 所：実験室

参加人数：22人

(7) 企画展講演会「南極クラス」

実施日：2024年11月10日(日) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30

講 師：熊倉 聡泰(ミサワホーム総合研究所 研究員、元南極観測隊員)

手塚 啓(ミサワホーム総合研究所)

場 所：学習室

参加人数：①38人 ②46人

(8) 企画展講演会「南極観測隊と極域の地衣類」

実施日：2024年11月17日(日) 13:30～15:30

講 師：田留 健介(東京農業大学)

場 所：学習室

参加人数：30人

(9) 企画展ワークショップ「食を通じて考える、地球の未来 シーズン2」

午前：エビの秘密をさぐろう！楽しい解剖体験

午後：イカの秘密を発見！楽しい解剖体験

実施日：2024年12月8日(日) ①9:45～10:30 ②11:00～11:45 ③13:30～15:00

講 師：早武 忠利(一般社団法人 大日本水産会 魚食普及推進センター)

場 所：実験室

参加人数：①27人 ②26人 ③42人

(10) サイエンス・サタデー「『北極に暮らす生き物たち』のモビールをつくろう」

実施日：2024年9月7、14、21、28日(土) 各日13:30～14:30

講 師：イベントボランティア、綾小路・市川(教育普及係)

場 所：実験室

参加人数：9/7 40人、9/14 22人、9/21 12人、9/28 20人

(11) サイエンス・サタデー「『南極に暮らす生き物たち』のモビールをつくろう」

実施日：2024年11月2、9、16、23、30日(土) 各日13:30～14:30

講 師：イベントボランティア、綾小路・市川(教育普及係)

場 所：実験室

参加人数：11/2 9人、11/9 28人、11/16 22人、11/23 49人、11/30 36人

G 主 催 群馬県立自然史博物館

H 協力

国立極地研究所、東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム、日本科学未来館、ミサワホーム総合研究所、名古屋港水族館、名古屋市立科学館、名古屋港海洋博物館、東京海洋大学、国立民族学博物館、日本鯨類研究所、船の科学館、東洋大学、国立科学博物館、一般社団法人 大日本水産会、山梨県立博物館、公益社団法人 観音崎自然博物館

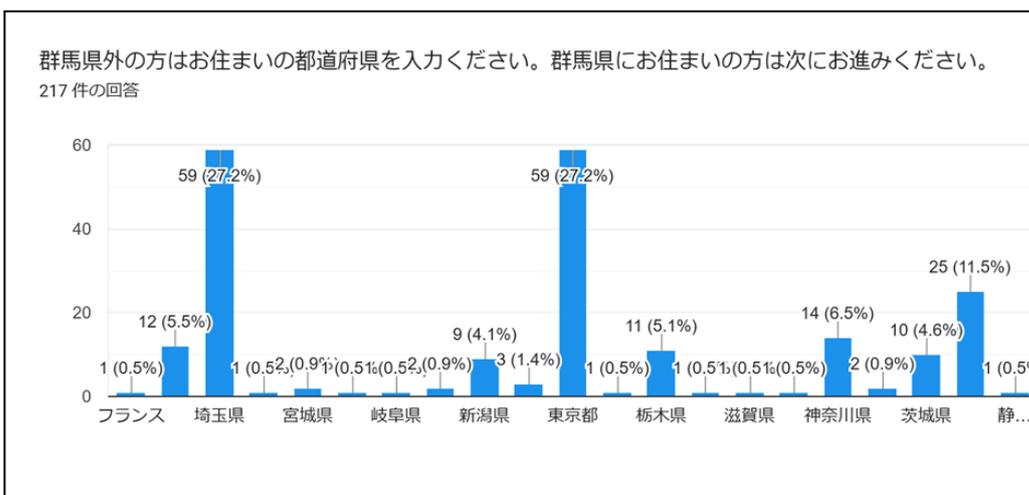
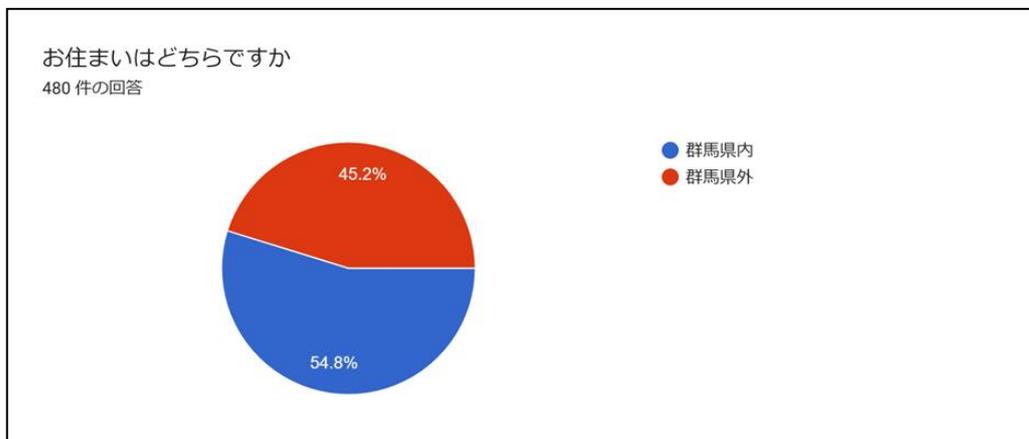
I 特別協力 船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

J 後援 NHK 前橋放送局、株式会社エフエム群馬、群馬テレビ、ラジオ高崎、上毛新聞社

K 来館者アンケート結果

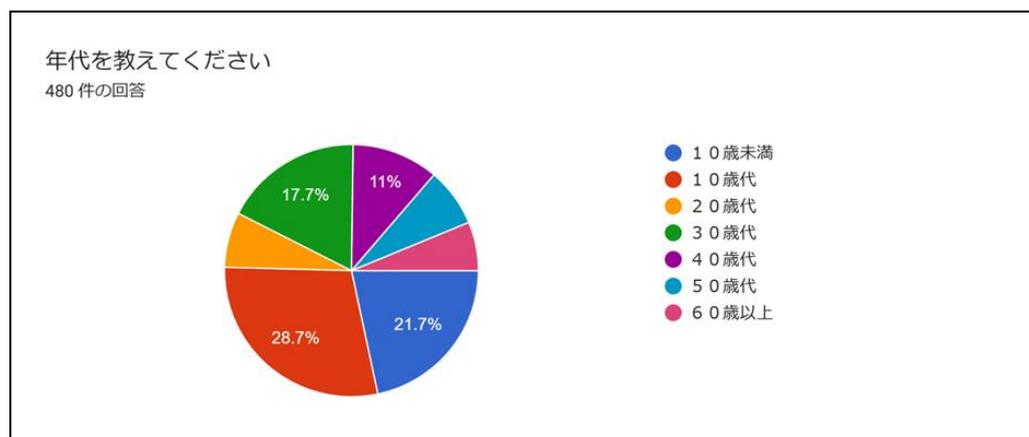
a) お住まいはどちらですか？

- ①群馬県内（市・町・村） ②群馬県外（都・道・府・県）



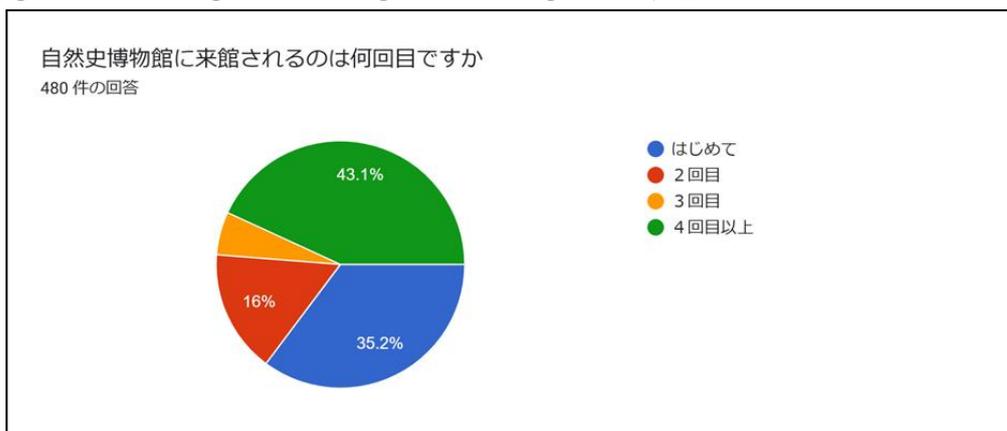
b) 年代を教えてください。

- ①10歳未満 ②10歳代 ③20歳代 ④30歳代 ⑤40歳代 ⑥50歳代 ⑦60歳代以上



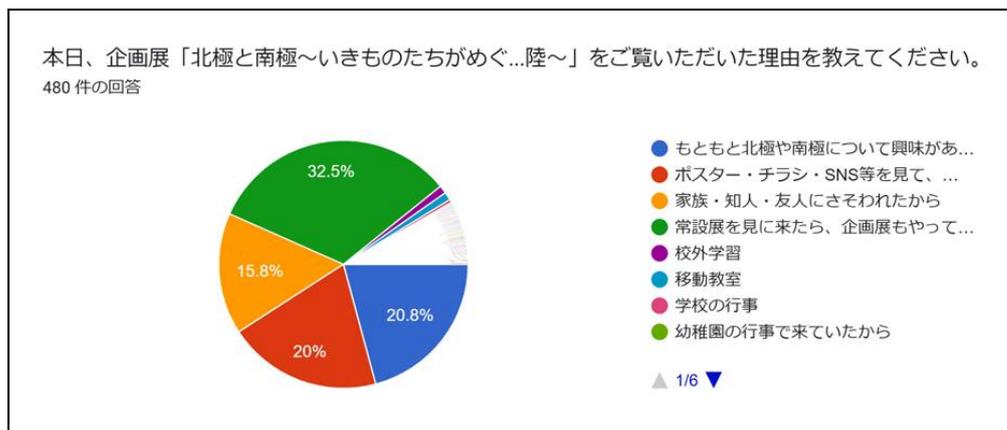
c) 自然史博物館に来館されるのは何回目ですか。

- ①はじめて ②2回目 ③3回目 ④4回目以上



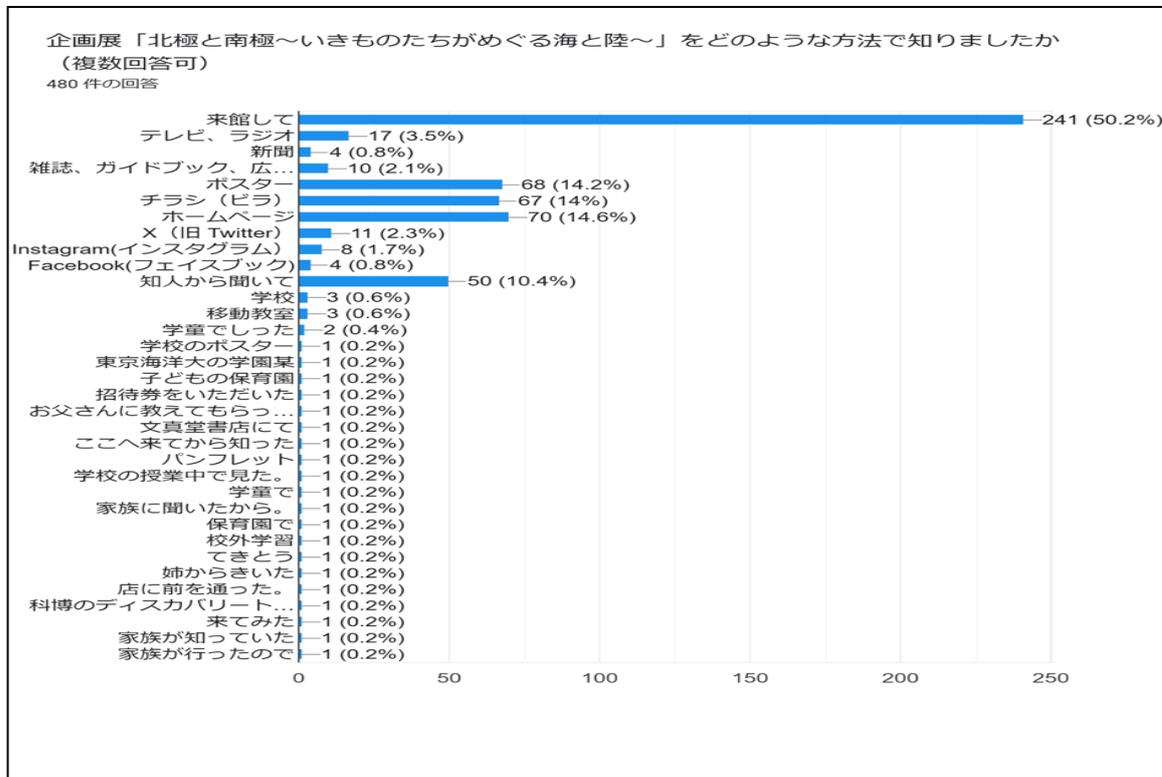
d) 本日、企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」をご覧いただいた理由を教えてください。

- ①もともと「北極と南極」について、興味があったから
②ポスター・チラシ・SNS等を見て、本企画展に興味をもったから



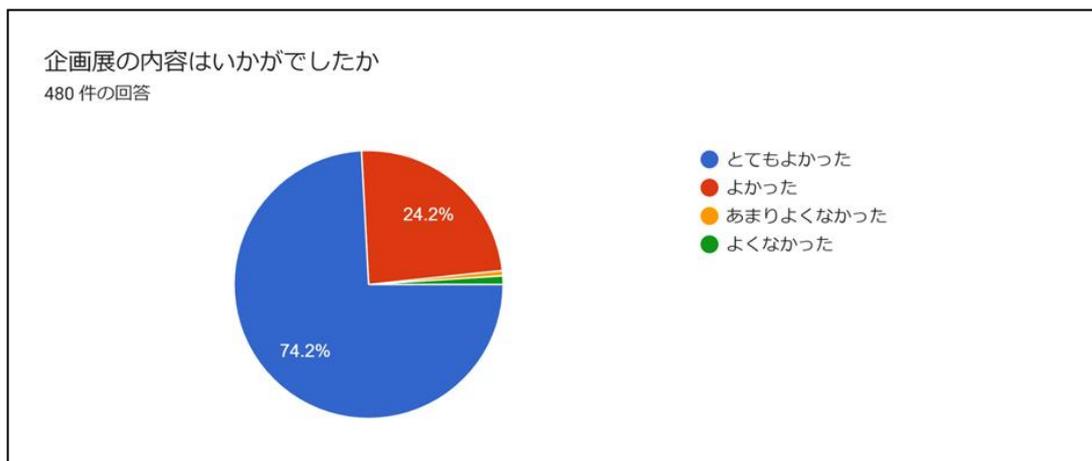
e) 企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」をどのような方法で知りましたか？
 (複数回答可)

- ①来館して ②テレビ・ラジオ ③新聞 ④雑誌・ガイドブック・広報誌
 ⑤ポスター ⑥チラシ(ビラ) ⑦ホームページ ⑧ X ⑨Instagram
 ⑩Facebook ⑪知人から聞いて ⑫その他()



f) 企画展の内容はいかがでしたか？

- ①とてもよかった ②よかった ③あまりよくなかった ④よくなかった



第71回企画展「ツツジとその仲間たち ー華麗にして奇妙な一族の話ー」

A 趣旨

ツツジ科ツツジ属は盆栽や庭木として広く親しまれ、群馬県のレンゲツツジなど県の花に指定されていることも多い。また、ツツジ科の中には果実として有名なブルーベリーやツルコケモモ類（クランベリー）なども含まれる。このようにツツジ科は広く人々に親しまれている科である。しかし、DNAの塩基配列によるAPG分類によれば菌従属栄養植物であるギンリョウソウなどもツツジ科に含まれることがわかった。また、ツツジ科はエリコイド菌根という特殊な菌根を武器に、強酸性や乾燥、低温に適応し、岩石地や高層湿原、極地などの極端な環境に進出してきた。さらにツツジ科が含まれるツツジ目にはチャノキを含むツバキ科などのなじみ深い科に加えて奇怪な花をつける食虫植物・サラセニア科などが含まれることがわかっていった。本企画展ではツツジとその仲間（ツツジ目・ツツジ科）の多様な生態と環境への適応、そして人とのかかわりを紹介し、一見何気ない植物の意外な側面から、興味関心を喚起することを目的とする

B 開催期間

令和7年3月15日（土）～3月30日（日） 実開館日数14日

C 展示構成

0 イメージ 植物画と写真で見るツツジ科

岩上正雄氏の細密画をベースにした、アートな感覚の回廊。



- 1 身近にして意外に知らないツツジ
園芸のツツジ、野生のツツジ、多様なツツジ、ツツジの形、ふるさとのツツジ
- 2 ツツジ・シャクナゲとその仲間
ツツジ属ヤマツツジ亜属、シャクナゲ、ツツジ属の構成、ツツジらしからぬツツジ属、日本のツツジ・シャクナゲ
- 3 ツツジ科とその親戚たち
ツツジ科の構成と進化系統、代表的なツツジ属以外のツツジ科、DNA解析でツツジ科に編入された科、ツツジ目、ツツジ科の生き立ち
- 4 ツツジ科という生き方
世界中に分布するツツジ科、過酷な環境に耐えるツツジ科、菌を利用するツツジ科、動物も利用するツツジ科、群馬県のツツジ科

5 ツツジ科と人々

園芸対象としてのツツジ、役に立つツツジ科、毒にもなるツツジ科、ツツジ科を守る



東大・科博コーナー

ライブラリー・塗り絵ゾーン

D 展示点数：460点（うち館有資料 411点：二次資料含む）

E 入館者数

10,205人（2025年3月31日まで）

F 関連事業

a) 講演会「ツツジ属の世界」

実施日：令和7年3月23日（日） 13:30～15:00

講師：倉重 祐二（新潟県立植物園 顧問）

場 所：学習室

参加人数：50人

G 共催

新潟県立植物園

H 後援

日本植物園協会、NHK 前橋放送局、株式会社 エフエム群馬、群馬テレビ、ラジオ高崎、上毛新聞社

I 協力団体

環境省 文化庁 国立科学博物館 東京大学総合研究博物館 東京大学大学院理学研究科附属植物園 同日光分園 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園 宮崎県立博物館 徳島県立博物館 軽井沢町植物園 国立国会図書館 赤城自然園 夢の島熱帯植物館 富岡市 館林市 軽井沢町教育委員会 嬭恋村 嬭恋村観光協会 関越交通株式会社 軽井沢新聞社 中山のジャム

J 協力者（50音順・敬称略）：池田 博 茨木 靖 小川 誠 黒木秀一 首藤光太郎

中村 剛 伴 琢也 早川崇志 南谷忠志 渡辺洋一

(3) 特別展示

① ぐんまの自然のいま

A 趣旨

この企画では、群馬県内で長年にわたって地域に根ざして活動している自然保護、保全に携わる団体、学校等や自然史博物館職員・ボランティア・特別研究員の活動成果を、収蔵実物標本等を活用しながら、ポスターやパネル等で紹介した。広く一般の県民に展示、教育普及することで、

県民の自然史に関する好奇心・探求心を刺激し、地域の生物多様性の保全への関心を高めたり、各団体との活動の繋がりを目的としたりした。更に、地域活動を支える新たな担い手を養成し、その担い手がさらに担い手を養成するという輪を創出するように努めた。企画展示室内では、動物のツキノワグマやニホンジカの剥製展示のほか、キノコの臭いを嗅いだりキノコのお絵かきをして展示室内に掲示したりできる体験展示を行った。

B 期 間

令和7年1月18日（土）～2月9日（日）
（開催日数 20 日）

C 展示点数：約 190 点

展示内容：

- ・各種団体、学校、自然史博物館職員、ボランティア、特別研究員のポスターやパンフレット、展示物
- ・動画
- ・岩石標本、植物標本、昆虫標本、変形菌標本、菌類標本、哺乳類標本ほか



D ポスター件数

82 本（70 の個人及び団体）

E 観覧者数

7,275 人



F 報告会

令和7年1月18日（土） 13:00～16:30
会場：かぶら文化ホール

1) 基調講演 「みなかみユネスコエコパークでのネイチャーポジティブプロジェクト」
講師 朱宮 丈晴（公益財団法人日本自然保護協会生物多様性保全部高度専門職員）

2) 口頭発表

①『ニホンアナグマの観光資源としての活用手法の開発とその評価』

（麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 野生動物学研究室 山崎稜平ほか）

②『ミヤマシロチョウの保全の現状と課題』（嬭恋村高山蝶を守る会）

③『尾瀬国立公園におけるニホンヤマネの生態調査』（群馬県立尾瀬高等学校 理科部）

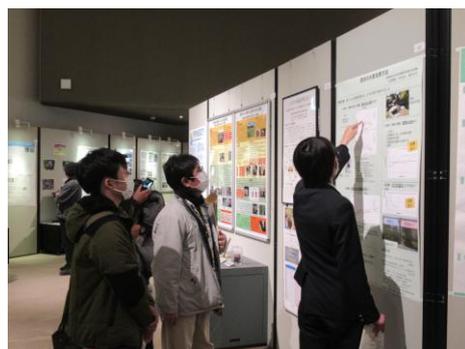
④『多様性を意識したエコツーリズムの重要性』

（群馬県立自然史博物館地学研究係 学芸員 菅原 久誠）

参加者数：161 人

3) ポスターセッション 14:15-15:45

ポスター番号の奇数を前半、偶数を後半とし、
各 45 分間のポスターセッションを行った。



G ワークショップ

「親子でソロキャンプのシェルターづくり」 (日本自然保育学会)

令和7年1月26日(日) 13:30-15:00



「チョウを楽しむ ～昆虫について学び、標本をつくる～」 (日本チョウ類保全協会)

令和7年2月9日(日) 13:30-15:00



② 特別展示「群馬県及び栃木県より発見された新種のヨウスコウカワイルカ類化石」

群馬県及び栃木県より発見され、2024年3月に新属新種のヨウスコウカワイルカ類 *Eolipotes japonicus* として報告された化石についての特別展示を行った。

A 展示場所

- ・自然史博物館エントランス 回廊側
- ・常設用小型ガラスケース平視き1台、液晶ディスプレイ1台を使用。

B 展示期間

令和6年5月18日(土)～6月30日(日)

C 展示標本など

- ・*Eolipotes japonicus* GMNH-PV-1011 【パラタイプ】
- ・*Eolipotes japonicus* TPM7847-1 (ホロタイプ) のレプリカ
- ・*Parapontoporia sternbergi* 3Dプリント標本
- ・*Eolipotes japonicus* 解説動画

(4) ミニ展示

① Cコーナー解説員カウンター展示内容

展示テーマ	実施期間	展示構成
カニムシ Book scorpion	令和6(2024)年2月 8日～令和6(2024) 6月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・カニムシってどんな生きもの？ ・どこにいるの？ ・面白い習性 ・カニムシの食べ物 ・観察してみよう ・探してみよう
ガラスのからだをもつ生き物 珪藻／放散虫	令和6(2024)年6月 5日～令和6(2024) 10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・珪藻って何？ ・身近な珪藻 ・放散虫って何？ ・身近な放散虫 ・珪藻／放散虫ってすごい！
アナグマ	令和6(2024)年10 月2日～令和7 (2025)1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・アナグマプロフィール ・くらべてみよう！「同じ穴のむじな」たち ・見つかるかな？アナグマフィールドサイン ・押してみよう！アナグマスタンプ ・博物館カメラはとらえた！アナグマの大ゲンカ！？
マイマイをみ てみよう！！	令和7(2025)年2月 4日～令和7(2025) 5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・マイマイって マイマイは軟体動物 マイマイは腹足綱 ・観察しよう 巻き向き、各器官、歩き方、成長、殻

Cコーナー解説員カウンター展示風景写真



「カニムシ-Book Scorpion-」



ガラスのからだをもつ生き物
珪藻／放散虫



「アナグマ」



「マイマイをみてみよう！！」

(5) 共催展示

ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 ※詳細は、II 2 (4) 学会等の開催を参照

2 教育普及

令和6年度は、教育普及事業および学校支援において、のべ12,569回の事業を開催し、47,815名の参加者を得た。その内訳は、以下のとおりである。

(1) 教育普及事業

① 解説員対応

ア 展示解説（一般向け）

展示解説は、常設展示室並びに企画展示室の解説があり、時間を決めて行う「定時解説」と来館者の質問に答えたり、解説員から声をかけて説明したりする「随時解説」がある。「定時解説」は、常設展示室内を、Aコーナー(地球の時代)、Bコーナー(群馬の自然と環境)、2階(ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球)の3つに区分し、それぞれの定時解説時間を30分程度として1日3回実施する。企画展開催中は、企画展の定時解説(15分程度)を加えて実施する。

月	開館日数	定時解説 実施回数	常設展定時 解説参加者	企画展定時 解説参加者	定時解説 参加者	一日平均 参加者数	随時解説 回数	随時解説 参加者
4	25	78	85	114	199	8.0	942	2,325
5	27	109	195	183	378	14.0	1,201	2,912
6	19	37	113	0	113	5.9	742	1,703
7	26	57	286	0	286	11.0	1,089	2,630
8	31	123	295	178	473	15.2	1,477	3,622
9	25	85	100	141	241	9.6	983	2,331
10	27	57	83	67	150	5.6	1,381	3,398
11	26	84	134	113	247	9.5	853	2,098
12	13	33	72	79	151	11.6	345	840
1	22	63	200	0	200	9.1	506	1,220
2	20	44	161	0	161	8.1	641	1,713
3	26	58	148	0	148	5.7	973	2,718
合計	287	828	1,872	875	2,747	9.6	11,133	27,510

イ ビデオ上映会（一般向け）

自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料のビデオ上映会を行った。対象は、子どもや家族連れとし、上映内容も自然に関係する小学校低学年用のものを多くした。今年度は、午前11時、午後2時に上映した。

月	上映作品	上映回数	参加者数
4	注文の多い料理店／自然なぜなに？DVD図鑑「メダカ」	14	175
5	ドキュメンタリー「田んぼ」－生きものは語る－／自然なぜなに？DVD図鑑「メダカ」	18	109
6	ちきゅうはおおきなどうぶつえん「たべるのだいすき」	12	164
7	ワイルド・バード・シンフォニー「白いファンタジア」	13	250
8	まんが日本昔ばなし「宝のおお釜」「雷と月と日」／ディズニーアニマルワールド「ペンギン」	54	1,238
9	名探偵コナン「古代恐竜の謎に迫れ！」	15	814
10	おもしろ理科実験「水の惑星を守れ！宇宙からのメッセージ」	14	120

11	ディズニーアニマルワールド「アザラシ」	15	246
12	絶景ジオパーク「地殻変動から見る日本列島」	4	22
1	まんが日本昔ばなし「梨山の大蛇／念仏の鼻」	15	196
2	神様の食べもの チョコレート	14	122
3	群馬県広報ビデオ「ぐんま花紀行」	15	51
合 計		203	3,507

ウ 紙芝居（一般向け）

「紙芝居」は、子育て中の親子を対象に、自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として行うものである。日曜日の午後2時15分から実施した。

月	作 品 名	実施回数	参加者数
4	あおむしだれのこ	4	55
5	貝の火	3	27
6	もりはみんなのたからもの	4	48
7	あさがおアパート	3	48
8	イソギンチャクとウソギンチャク	3	46
9	おつきさまとうさぎ	2	37
10	まつりのばん	3	26
11	わっしょいわっしょいぶんぶんぶん	2	29
12	まっちうりの少女	2	19
1	雪わたり	3	76
2	のぼら	4	56
3	みんなでつくったおひなさま	2	26
合 計		35	493

エ スポット解説（学校向け）

学校等の団体を対象にした「スポット解説」は、特定の展示資料について15分程度の解説を行うものである。

「恐竜」と「尾瀬」のスポット解説を実施した。

計 実施数 77回 3504名

内 容	団体数	内 訳
恐竜	44	小学校、こども園、幼稚園、保育園
尾瀬	7	小学校

オ 解説員研修

展示解説の充実と資質向上のため、解説員の研修を以下の通り実施した。

- 第70回企画展研修
6/12 7/18 8/5 8/7 8/9
9/19 9/25 10/5
- 全体職員研修会
6/11 12/17
- 第71回企画展研修
12/27 3/12 3/25 3/26 3/27



② ファミリー自然観察会

群馬県内の自然についての理解を深めるために、県内各地や博物館周辺を会場として自然観察会を開催し、家族で自然に親しむ機会を提供した。



月 日	テーマ	概 要	講 師	参加者数
5月18日(土)	上信電鉄途中下車の旅	上信電鉄(高崎-七日市)間で、植物の観察会を行った。(鉄道トラブルのため途中終了)	大森 威宏	10
5月19日(日)	水の中の生きものを調べよう	安中市にある増田川に住む生物を採集し、観察を行った。	金田 彰二	21
9月15日(日)	カタツムリを探してみよう	館周辺でカタツムリやカタツムリの殻を探して観察を行った。	藤巻 裕和	12
3月 8日(土)	化石探しに挑戦しよう	吉井運動公園の河川敷で化石探しを行った。	高桑 祐司	15
4回開催				計58
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	19(組)	2(組)	0(組)	0(組)
県民のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも様々なイベントに参加したい。 ・蝶に関するイベントを企画してほしい。 			

③ 天体観望会

昼の天体観望会では、博物館の屋上で日食グラスや移動式の天体望遠鏡を使い、その時季に見られる代表的な惑星や太陽を観察した。

夜の天体観望会では、博物館の屋上で移動式の天体望遠鏡や天体ドームの40cm反射望遠鏡を使い、その時季に見られる代表的な星座・惑星について観察した。



月 日	テーマ	概 要	講 師	参加者数
5月5日(日・祝)	昼の天体観望会	日食グラスや移動式天体望遠鏡、天体ドームの望遠鏡を使って、太陽や惑星の観察を行った。	藤巻 裕和 高桑 祐司	34
5月11日(土)	春の天体観望会 冬と春の星座	天体ドームの望遠鏡や移動式望遠鏡を使って春の大三角、月、カペラ等を観察した。	藤巻 裕和 高桑 祐司	14
8月12日(月・祝)	夏の天体観望会 ペルセウス座流星群 と夏の星座	天体ドームの望遠鏡や移動式望遠鏡を使って夏の「大三角」、月、アークトゥルス等の観察を行った。	藤巻 裕和 高桑 祐司	15
11月3日(日・祝)	昼の天体観望会	天体ドームの望遠鏡や移動式望遠鏡を使って、恒星・惑星・太陽の観察を行った。	藤巻 裕和 高桑 祐司	12

12月8日(日)	冬の天体観望会① 土星食と冬の星座	天体ドームの望遠鏡や移動式望遠鏡を使って月・惑星・夏の大三角等の観察を行った。	藤巻 裕和 高栞 祐司	13
2月8日(土)	昼の天体観望会	雲量が多かったため、中庭で移動式望遠鏡を使って太陽の観察を行った。	藤巻 裕和 高栞 祐司	22
2月28日(金)	冬の天体観望会② 惑星直列と 冬の大三角	雨天のため、学習室で冬の大三角等の講話と実験室での月球儀作りを行った。	藤巻 裕和 高栞 祐司	11
7回開催				計181
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	44(組)	0(組)	0(組)	0(組)
県民のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが楽しそうでよかった。 ・また参加したい。 			

④ 自然史講座

自然科学の第一戦で活躍される研究者を講師に招き、県民に自然への興味・関心や知識を高める機会を提供した。

月 日	テーマ	概 要	講 師	参加者数
9月22日(日)	群馬県の市町村の植物相はどこまでわかったか?	群馬県内におけるこれまでの植物調査、植物標本の統計から標本数の多少を明らかにして、これまでの成果と今後の課題を洗い出した。また、調査研究でわかった初記録種、最新の知見を紹介した。	生物研究係 大森 威宏	43
10月13日(日)	展示室から新たな発見へ：新種になったクジラ化石	新種となった常設展示のクジラ化石について、その発見から研究過程、生態について解説した。後半には、常設展示室に移動し、標本の前で質疑応答を行った。	生物研究係 木村 敏之	24
年2回開催				計67
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	45(人)	13(人)	0(人)	0(人)
県民のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・標本の情報の大切さを改めて教えていただきました。分布情報の不足地域が意外でした。 ・群馬県の各市町村の植物分布についてこの講座をとおして学ぶことができ、自分の中でも希少な体験となりました。 ・どこを観れば良いか、こういうことが知りたかったです。メモがこれだけの枚数にまで及んだのは初めてです。本当にありがとうございました。 ・化石を見るポイントなど、化石の歴史も分かり、非常に面白かったです。 ・素晴らしい講座でした。今までのイベントで最も満足感が高かったです。 			

⑤ 企画展 講演会

企画展に協力していただいた研究者や展示内容に関連する専門家を招いたり、企画展担当者が講師となったりして、企画展に関連した講演会を開催した。

月 日	テーマ	概 要	講 師	参加者数
7月28日(日)	バイオロギングで探る極地の海鳥の生活：ペンギン、ウミガラスと温暖化の影響	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、極地の海鳥の調査研究について講演した。	高橋 晃周 国立極地研究所	54
9月1日(日)	南極フィールド調査から探る南極氷床の融解メカニズムと海水準上昇	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、南極での調査や南極氷床の融解メカニズムについて講演した。	菅沼 悠介 国立極地研究所	47
9月8日(日)	南極クラス	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、極夜の南極の様子や南極観測隊員の仕事・生活について講演した。	熊倉 聡泰 ミサワホーム総合研究所研究員 元南極観測隊員 手塚 啓 ミサワホーム総合研究所	98
11月10日(日)	南極クラス	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、白夜の南極の様子や南極観測隊員の仕事・生活について講演した。	熊倉 聡泰 ミサワホーム総合研究所研究員 元南極観測隊員 手塚 啓 ミサワホーム総合研究所	84
11月17日(日)	南極観測隊と極域の地衣類	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、南極での地衣類の調査や極域の地衣類について講演した。	田留 健介 東京農業大学	30
3月23日(日)	ツツジ属の世界	第71回企画展「ツツジとその仲間たち」と関連して、日本のツツジ研究の第一人者が多様なツツジの姿を紹介した。	倉重 祐二 新潟県立植物園顧問 日本植物園協会専務理事	50
6回開催				計363

⑥ 企画展 自然教室

企画展に展示された資料や標本、また企画展に関連した資料や標本等を題材にして、企画展に関する興味・関心を高めるためにさまざまな自然教室を実施した。



月 日	テーマ	概 要	講 師	参加者数
4月21日(日)	オリジナル鉱石をつくろう	当館収蔵の鉱物のレプリカに、装飾を施し、参加者オリジナルの鉱石を制作した。	CLEMOMO 美術作家	41
4月7日(日) 5月6日(月・祝) 5月12日(日)	ギャラリートーク	第69回企画展「紳士淑女のための鉱物展」の展示室内で、主担当の学芸員が展示物にまつわるエピソードや見どころを来場者にわかりやすく紹介するギャラリートークを実施しました。	地学研究係 菅原久誠	61
7月21日(日)	食を通じて考える、地球の未来 シーズン1	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、ナガラミという貝を磨いて真珠層を観察する活動を通して、海の酸性化について学んだ。	早武 忠利 一般社団法人 大日本水産会 魚食普及推進 センター	113
9月29日(日)	ボードゲームで考えよう！～研究者と語る。北極の今とこれから～	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、北極ボードゲームを通して、北極の現状と未来について学び、考えた。	渡邊 英嗣 JAMSTEC 毛利 亮子 国立極地研究所 北極観測センター	21
10月27日(日)	ペンギン調査を体験しよう	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、極地での海鳥の調査研究について話を聞いたり、実際の調査方法を体験したりした。	伊藤 元裕 東洋大学	22
12月8日(日)	食を通じて考える、地球の未来シーズン2 ①エビの秘密をさぐるう！楽しい解剖体験 ②イカの秘密を発見！楽しい解剖体験	第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」に関連して、午前はクルマエビの解剖体験、午後はイカの解剖体験を実施した。	早武 忠利 一般社団法人 大日本水産会 魚食普及推進 センター	95
8回開催				計251
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	74(人)	8(人)	0(人)	0(人)

⑦ ミュージアムスクール

小学5年生から中学3年生を対象に、榛名山（県立榛名公園、伊香保森林公園、高崎市倉淵地区）を調査地として、火山、湖沼、草原の自然について多角的に調べた。

各担当1～2回ずつ計11回の野外実習を行った。

月 日	概 要	指導担当職員
4月27日(土)	榛名湖畔を歩きながら、野外調査の方法や安全について学んだ。	藤巻、綾小路
5月25日(土)	高崎市榛名林間学校周辺でカタツムリを採集して調べた。	藤巻、長屋、綾小路
6月22日(土)	ビジターセンター周辺で、きのこや地衣類を観察したり、採集したりした。	伊藤、藤巻、綾小路
7月 6日(土)	博物館実験室で、採集したきのこの胞子を観察した。	伊藤、藤巻、綾小路
7月27日(土)	沼の原で、植物の分布について調査した。	大森、藤巻、綾小路
8月17日(土)	台風のため、中止	大森、藤巻、綾小路
10月13日(日)	硯岩に登り、榛名山の地形と地質について調べた。	菅原、藤巻、綾小路
10月19日(土)	オンマ谷を歩き、オンマ谷特有の地形や地質について調べた。	菅原、藤巻、綾小路
11月 2日(土)	博物館実験室で、伊香保森林公園で採集した哺乳類の骨や、地衣類について調べた。	姉崎、藤巻、綾小路
12月 7日(土)	高崎市倉淵で榛名山湖成層を観察し、化石を探した。	高栗、藤巻、綾小路
1月19日(日)	博物館実験室で榛名山湖成層について学んだ後に、塩原湖成層の岩石から化石を採集した。	高栗、藤巻、綾小路

⑧ 出張展示

ア 移動博物館

遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない人等に博物館を利用する機会を提供するため、県内各地の公民館等へ資料を運んで展示する移動博物館を開催した。前年度中に県内の各学校・各公民館・県内特別支援学校に開催希望をとり、実施した。また、「光る化石のレプリカをつくろう」等の体験活動を行った。



会 場	期 日	利用者数	博物館資料点数
前橋市粕川公民館	6月29日(土)・30日(日) 2日間	423	114
高崎市立岩平小学校	10月10日(木)・11日(金) 2日間	686	114
群馬県立盲学校	12月4日(水)・5日(木) 2日間	127	114
合 計		1,236	342

イ 他館連携出前教室

年間に数回、県内の公共施設等においてはく製や化石などを展示するとともに、当館のチラシを配布してPR活動を行った。また、必要に応じて化石のレプリカづくり等の体験活動を実施し、当館への興味・関心を高めた。

会 場 内 容	期 日	係 担 当	参加者 数
甘楽町図書館 「海のハーバリウムをつくろう」	5月25日	教育普及係 田中佑典	40

群馬県生涯学習センター 「モササウルスの歯のレプリカをつくろう」	6月1日	教育普及係 田中佑典	70
玉村町文化センター 「海のハーバリウムをつくろう」	6月23日	教育普及係 綾小路 淳裕	23
スマーク伊勢崎 「県内施設連携イベント」展示、レプリカづくり	7月21日	教育普及係 田中佑典	842
丹生地域づくりセンター 「メガロドンの歯のレプリカをつくろう」	7月24日	教育普及係 綾小路淳裕	19
小野地域づくりセンター 「海のハーバリウムをつくろう」	8月8日	教育普及係 市川光早	23
妙義地域づくりセンター 「蛍石を磨いてみよう」	8月9日	教育普及係 田中佑典	25
前橋児童文化センター 「アンモナイト化石のレプリカをつくろう」	8月21日	教育普及係 田中佑典	35
高瀬地域づくりセンター 「蛍石を磨いてみよう」	8月21日	教育普及係 綾小路 淳裕	6
イオンモール太田 「北極に暮らす生き物たちのモバイルづくり」	9月21日	教育普及係 綾小路淳裕	43
まゆドーム 「アンモナイト化石のレプリカをつくろう」	9月22日	教育普及係 田中佑典	20
富岡市生涯学習センター 「暗闇で光る化石のレプリカをつくろう」	11月2日	教育普及係 田中佑典	46
群馬県生涯学習センター 「蛍石をみがこう」	1月12日	教育普及係 田中佑典	66
富岡市生涯学習センター 「アンモナイト化石のレプリカをつくろう」	2月22日	教育普及係 田中佑典	70
合 計			1, 328

⑨ サイエンス・サタデー

毎週土曜日の13:30～14:15に、実験室や館周辺で生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり等の教室を行った。

対象を小学生以上として講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。



月	テーマ	概要	参加者数
4	ミニハーバリウムをつくろう withタンポポ調査	博物館周辺のタンポポの生息調査を行った後、植物のミニハーバリウムを製作した。(4回)	155
5	海の覇者!!メガロドンの歯のレプリカをつくろう	メガロドンの歯化石のレプリカづくりを通して、メガロドンの生態や研究について学んだ。(4回)	209
6	化石ミニ発掘体験をしよう	化石の発掘やクリーニングについて学んだ後に、土の中から実物の化石を取り出した。(4回)	339
7	チリメンモンスターをさがせ!	ちりめんじゃこの中に混入している様々な生き物(チリメンモンスター)を探して、観察した。(4回)	144

8	おおきなアンモナイトのレプリカをつくろう	おおきな両面のアンモナイト化石のレプリカづくりを通して、アンモナイトについて学んだ。(4回)	262	
9	「北極に暮らす生き物たち」のモバイルをつくろう	北極に暮らす生き物について学んだ後に、北極に暮らす生き物たちの生態系モバイルを製作した。(4回)	94	
10	恐竜の歯のレプリカをつくろう	カルカロドントサウルスの歯のレプリカづくりを通して、恐竜の歯の働きについて学んだ。(4回)	90	
11	「南極に暮らす生き物たち」のモバイルをつくろう	南極に暮らす生き物について学んだ後に、南極に暮らす生き物たちの生態系モバイルを製作した。(5回)	174	
12	蛍石のペンダントトップをつくろう	鉱物の魅力について学んだ後に、蛍石を磨いてペンダントトップを製作した。(2回)	97	
1	土の中の モンスターを さがそう	博物館周辺の土にすむ生き物を探して観察する活動を通して、土壌生物の役割について学んだ。(3回)	99	
2	オリジナル鉱石をつくろう	鉱物、鉱石について学んだ後に、鉱物のレプリカに色を塗ったり、ラメを付けたりしてオリジナル鉱石を製作した。(3回)	155	
3	2億6000万年前の化石、フズリナの標本をつくろう	フズリナ化石を含む石灰岩を磨いて標本づくりを行うと共に、古生代ペルム紀について学んだ。(5回)	159	
合 計			1,977	
アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	555	31	2	0

⑩ ホリデーサイエンス

土曜日・日曜日・祝日に、実験室や館周辺等で生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり等の教室を行った。対象を未就学児、小学生以上、大人等、メニューに合わせた内容とし、講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。

月 日	テーマ	概 要	参加者数
5月3日 (金・祝)	モールでティランノサウルスをつくろう	モールを使って、ティランノサウルスをつくった。	62
5月3日 (金・祝)	カルカロドントサウルスの歯のレプリカをつくろう	カルカロドントサウルスの歯化石のレプリカをつくった。	33
5月4日 (土・祝)	アンモナイト化石のレプリカをつくろう	アンモナイト化石のレプリカをつくった。	69
5月5日 (日・祝)	カルカロドントサウルスの歯のレプリカをつくろう	カルカロドントサウルスの歯化石のレプリカをつくった。	54
5月6日 (日・祝)	アンモナイト化石のレプリカをつくろう	アンモナイト化石のレプリカをつくった。	44

5月6日 (日・祝)	メガロドンの歯のレプリカをつくろう	メガロドンの歯化石のレプリカをつくった。	26	
6月23日 (日)	博物館のまわりできのこをさがそう	きのこについて学んだ後に、博物館周辺のきのこを採集した。	17	
8月10日 (土)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	15	
8月18日 (日)	ウニを観察しよう	ウニについて学んだ後に、ウニをさわったり、顕微鏡で観察したりした。	34	
10月20日 (日)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	13	
11月10日 (日)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	10	
12月15日 (日)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	12	
1月25日 (土)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	21	
2月1日 (土)	Dino Traits ～恐竜のふしぎを見つけよう！～	恐竜の化石や模型を観察して体の特徴について考えた後に、様々な体のパーツを組み合わせて自分だけの恐竜を製作した。	29	
2月2日 (日)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	20	
3月2日 (日)	Create A Saurus ～きょうりゅうをつくろう～	常設展示室にて恐竜の化石を観察した後に、実験室にて粘土で恐竜を製作した。	23	
合 計			482	
アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	133	4	0	0

⑪ ミュージアムナイトツアー

夜の博物館で、地球46億年の歴史や恐竜、また動物の生態等について紹介しながら、薄暗い展示室の特徴を生かして解説を行った。

開催日：1月25日（土）・2月8日（土）

参加者合計：96名



⑫ バックヤードツアー

普段は公開していない博物館のバックヤード（収蔵庫や研究施設）を館職員が案内した。収蔵庫に保管してある化石や剥製などの様々な標本、資料整理の仕方や職員が取り組んでいる調査・研究などについて紹介するツアーを計画し実施した。



月 日	概要				参加者
4月6日(土)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				17
5月5日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				16
6月2日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				16
7月7日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				11
8月4日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				14
9月1日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った				15
10月6日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				16
11月3日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				14
12月1日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				16
1月5日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				16
2月2日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				8
3月9日(日)	収蔵庫を中心に館職員が解説を行った。				15
合計					計174
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	
	77	2	0	0	

⑬ 高校生学芸員

高校生の自然科学への関心を高めるため、自分で設定した研究テーマについて、地学研究係・生物研究係職員の指導のもとに調査・研究を行う事業を実施した。今年度は4名の高校生が、3分野のテーマに取り組んだ。

	分 野	参 加 者		指 導 職 員
1	哺乳類	群馬県立桐生高等学校	1名	姉崎
2	化石	群馬県立前橋女子高等学校	1名	高菜
3	地質	高崎商科大学附属高等学校	1名	菅原
4	地質	群馬県立前橋東高等学校	1名	菅原

⑭ 大人の自然史倶楽部

大人向けの講座として、参加者の知的好奇心を満たし、それぞれの分野に対する興味・関心が高まるきっかけとなるよう以下の2コースで実施した。

コース	内 容			延べ人数	担当
「草原の保全について考える」コース	「孀恋村高山蝶を守る会」と共同で行う湯ノ丸高原でのフィールドワーク等を通して、多角的な視点で草原の保全について考えた。			16	姉崎
「ぐんまの素晴らしい景観となりたち」コース	群馬県の絶景を歩きながらジオダイバーシティを読み解き、絶景の成り立ちを探った。			15	菅原
アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	
	11	0	0	0	

県民のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・他のフィールドでの保全環境も見てみたい。 ・今後も様々なコースに参加したい。
--------	--

⑮ 外部資金の導入

2025年度、第70回企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」において、船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」Program3の助成を受けた。

(2) 教育支援

① 学校・教科主任会などへの講師派遣や館内での講師対応

ア 大学・高等学校教育への支援

計実施数 3回 62名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内 容	対応職員
群馬県立尾瀬高等学校	高校	7月11日	自然史博物館	21	自然史博物館の展示概要 バックヤードツアー	月田 市川
中央動物看護学校	専門学校	11月1日	自然史博物館	2	自然史博物館の展示概要 バックヤードツアー	月田 市川

慶應義塾大学 非常勤講師 博物館学特論 III 2024年10月4日～2025年1月24日 14回
定員上限 60名 (60名、学芸員資格取得課程登録者)

イ 小中学校教育への支援

i 総合的な学習の時間等への対応 (一般見学は除く)

計 3校 41名

学 校 名	学年	実施日	人数	内 容 (対応方法)	対応職員等
富岡市立黒岩小学校	小6	9月19日	19	地層について (リモピン)	市川、解説員
富岡市立黒岩小学校	小5	1月30日	13	脊椎動物の発生 (リモピン)	市川、解説員
上野村立上野小学校	小4	2月27日	9	群馬の自然	市川、解説員

ii 小学校・中学校及び理科主任会等への職員派遣・支援

計 4回 140名

職員派遣先等	対象	実施日	会場	人数	内 容	対応職員
高崎市教育センター 初任者研修	初任者	5月14日	高崎市教育センター	59	自然史博物館の 効果的な利用方法	市川
高崎市教育センター 中堅資質向上研修	中堅 教諭	5月17日	高崎市教育センター (オンライン配信)	30	自然史博物館の 効果的な利用方法	市川
安中市小中学校長会	学校長	6月7日	安中市 松井田庁舎	28	自然史博物館の 効果的な利用方法	市川
甘楽郡富岡市校長会 連絡協議会	学校長	6月21日	富岡市立富岡 小学校	23	自然史博物館の 効果的な利用方法	市川

【出前授業】

計 17回 555名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内 容	対応職員
富岡市立 黒岩小学校	全学年	7月9日	富岡市立 黒岩小学校	68	理科自由研究の すすめ方	市川

安中市立安中小 学校 言語指導教室	全学年	8月6日	安中市立 安中小学校	76	海のハーバリウム	市川
高崎市立 浜尻小学校	クラブ	10月24日	高崎市立 浜尻小学校	24	海のハーバリウム	市川
沼田市立 白沢中学校	文化祭	11月1日	沼田市立 白沢中学校	8	南極と北極のモビール	田中
富岡市立 妙義中学校	中3	11月20日	富岡市立 妙義中学校	33	フズリナ石灰岩をみがく	市川
みどり市立 笠懸北小学校	小6	11月22日	みどり市立 笠懸北小学校	61	化石ミニ発掘体験	市川
高崎市立 片岡小学校	クラブ	11月28日	高崎市立 片岡小学校	25	海のハーバリウム	市川
前橋市立 二之宮小学校	小4	12月10日	前橋市立 二之宮小学校	40	海のハーバリウム	市川
東吾妻町立 東小学校	小6	12月12日	東吾妻町立 東小学校	13	化石ミニ発掘体験	市川
甘楽町立 新屋小学校	小6	12月18日	甘楽町立 新屋小学校	46	アンモナイトレプリカ	市川
うしぶせの家 吉井教室	小1 ~中3	12月20日	うしぶせの家 吉井教室	6	三葉虫レプリカ	市川
アクティブ 並榎教室	小1 ~中3	12月20日	アクティブ 並榎教室	69	三葉虫レプリカ	市川
前橋市立 二之宮小学校	クラブ	1月16日	前橋市立 二之宮小学校	18	化石ミニ発掘体験	市川
富岡市立 丹生小学校	クラブ	1月23日	富岡市立 丹生小学校	8	海のハーバリウム	市川
高崎市立 西部小学校	クラブ	2月13日	高崎市立 西部小学校	22	海のハーバリウム	市川
フレッシュ 群馬教室	小2 ~中3	2月14日	フレッシュ 群馬教室	16	三葉虫レプリカ	市川
高崎市立 吉井小学校	小4 ~小5	2月25日	高崎市立 吉井小学校	22	蛍石をみがこう	綾小路

② 館内授業 計 参加校等 14校、授業数 14件、参加人数 528名

期 日	学 校 名	学年	人数	授業内容	回数
5月15日	板橋区立赤塚新町小学校	小5	37	化石のレプリカ作り	1
6月20日	県立伊勢崎特別支援学校	高1	37	化石のレプリカ作り	1
6月20日	練馬区立練馬中学校	中1~3	30	化石のレプリカ作り	1
6月21日	練馬区立石神井中学校	中1~3	43	化石のレプリカ作り	1
7月10日	練馬区立光が丘秋の陽小学校	小6	58	化石のレプリカ作り	1
7月11日	南牧村立なんもく学園	小2~4	6	化石のレプリカ作り	1
9月20日	桐生市立神明小学校	小4	37	化石のレプリカ作り	1
9月26日	太田市立中央小学校	小4	53	化石のレプリカ作り	1
9月27日	桐生市立川内小学校	小4	39	化石のレプリカ作り	1
10月18日	沼田市立池田小学校	小3.4	18	化石のレプリカ作り	1

10月24日	高崎市立吉井小学校	小4	47	化石のレプリカ作り	1
10月25日	前橋市立筑井小学校	小6	31	化石のレプリカ作り	1
10月25日	沼田市立薄根小学校	小4	49	化石のレプリカ作り	1
11月1日	高崎市立北部小学校	小4	43	化石のレプリカ作り	1

③ 職場体験活動（中学校・高等学校）

計 11 校・24 日・延べ 76 名

学 校 名	学 年	実 施 日	人 数	内 容	対 応 職 員
安中市立第二中学校	中2	8月28日 ～30日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
安中市立松井田中学校	中2	9月3日 ～5日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	長屋、藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
甘楽町立甘楽中学校	中2	10月2日 ～3日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
富岡市立南中学校	中2	10月17日 ～18日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	長屋、伊藤 教育普及職員、解説員
太田市立太田高等学校	高1	10月31日 ～11月1日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
群馬県立富岡高等学校	高1	11月6日 ～7日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
群馬県立吉井高等学校	高1	11月12日 ～14日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	長屋、藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
群馬県立高崎北高等学校	高1	11月13日 15日	1	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	長屋、藤巻 教育普及職員
富岡市立西中学校	中2	11月14日 ～15日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	長屋、藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
富岡市立富岡中学校	中2	11月28日 ～29日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	藤巻、伊藤 教育普及職員、解説員
新島学園中学校	中3	3月6日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	藤巻、伊藤、橋本 教育普及職員、解説員

④ 教育用資料貸出

延べ 27 団体

貸出先	貸出資料	利用目的	貸出	返却
高崎市立群馬中央中学校	・動物頭骨標本 (ライオン、ウマ)	理科授業	5月25日	6月8日
富岡市立妙義中学校	・動物頭骨標本 (ライオン、シベリアトラ、ウシ)	理科授業	5月24日	5月31日
富岡市立妙義中学校	・昆虫ジェル標本セット (チョウ、ハチ、クワガタ、クモ)	理科授業	5月31日	6月14日
安中市立第一中学校	・動物頭骨標本 (シベリアトラ、ヒョウ、ウシ、ヒツジ、アライグマ、パンダ)	理科授業	6月4日	6月18日

明和幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 化石のレプリカ作成セット(石膏、水 各105個) アンモナイト凹型35個 	学習の為	7月23日	7月27日
富岡市立妙義中学校	<ul style="list-style-type: none"> 進化の根拠化石セット 	理科授業	8月27日	9月10日
富岡市立西小学校	<ul style="list-style-type: none"> さわって学べる地層の模型 	理科授業	8月27日	9月5日
伊勢崎市立赤堀南小学校	<ul style="list-style-type: none"> 化石のレプリカ作成セット(33) アンモナイト凹型(33) 	クラブ活動	9月5日	9月19日
南牧村立なんもく学園	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫等ジェル標本(5種類各3ヶ) 	理科授業	9月11日	9月20日
群馬大学共同教育学部 附属中学校	<ul style="list-style-type: none"> 人体模型(1) 	理科授業	9月14日	9月27日
甘楽町立小幡小学校	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫等ジェル標本(5種類各3ヶ) 昆虫等標本(6種類各6ヶ) 	理科授業	9月18日	10月2日
甘楽町立小幡小学校	<ul style="list-style-type: none"> レプリカ作成セット(28) アンモナイト凹型片面(28) アンモナイト実物化石(6) 	理科授業	10月1日	10月4日
甘楽町立小幡小学校	<ul style="list-style-type: none"> レプリカ作成セット(50) 三葉虫凹型(25) アンモナイト凹型両面(25) 三葉虫実物化石(6) アンモナイト実物化石(6) 	理科授業	10月2日	10月9日
伊勢崎市立宮郷第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> 化石のレプリカ作成セット(110) 三葉虫凹型(10) アンモナイト片面凹型(10) ビカリア凹型(10) モササウルスの歯両面凹型(10) 	理科授業	10月10日	10月24日
榛東村立榛東南小学校	<ul style="list-style-type: none"> レプリカ作成キット(123) アンモナイト凹型(12) ビカリア凹型(12) 三葉虫凹型(12) 三葉虫実物化石(4) アンモナイト実物化石(4) ビカリア実物化石(4) 	理科授業	10月25日	11月1日
前橋市児童文化センター	<ul style="list-style-type: none"> レプリカ作成セット(45) アンモナイト凹型片面(11) 	体験教室	11月1日	11月6日
高崎市立南小学校	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな化石セット 	理科授業	11月7日	11月8日

安中市立安中小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(40) ・三葉虫凹型(10) ・アンモナイト凹型(15) ・ビカリア凹型(15) ・示準化石セット(10) 	クラブ活動	11月19日	11月26日
東吾妻町立東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(14) ・アンモナイト凹型(14) ・モササウルス凹型(14) ・アンモナイト実物化石(3) ・モササウルスの歯実物化石(3) 	理科授業	11月24日	11月30日
富岡市立西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(40) ・アンモナイト凹型(25) ・三葉虫凹型(5) ・両面アンモナイト凹型(2) ・三葉虫実物標本(3) ・示準化石セット(8) 	クラブ活動	12月3日	12月15日
安中市立安中小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(40) ・アンモナイト凹型両面(20) ・スピノサウルス凹型両面(20) 	クラブ活動	12月17日	12月20日
新島学園中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(140) ・アンモナイト凹型(35) 	理科授業	1月22日	1月29日
富岡市生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ・寸胴鍋(4) 	イベント	1月31日	2月5日
群馬県立しらがね特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(40) ・アンモナイト凹型(10) ・ビカリア凹型(10) ・三葉虫凹型(10) ・モササウルス凹型両面(10) ・示準化石セット(8) ・いろいろな化石セット(1) 	理科授業	2月28日	3月13日
太田市立宝泉中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(130) ・アンモナイト凹型(20) ・三葉虫凹型(20) 	理科授業	3月7日	3月13日
高崎市立東部小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(135) ・アンモナイト実物標本(7) ・アンモナイト模型 	理科授業	3月11日	3月13日
富岡市立妙義中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・レプリカ作成セット(40) ・三葉虫凹型(13) ・アンモナイト凹型(13) ・ビカリア凹型(13) ・スピノサウルス凹型(1) ・三葉虫実物標本(6) ・アンモナイト実物標本(6) ・ビカリア実物標本(6) ・スピノサウルス実物標本(1) 	理科授業	3月14日	3月26日

アンケート結果 利用者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	21	2	0	0

利用者の感想	<p>【頭骨標本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手にとって比較でき、共通点や相違点を見つけることができた。 <p>【さわって学べる地層の模型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地層が見える場所を実際に見学することができなかつたので、とても参考になりました。児童は近くから見たり、軽くさわってみたり、遠くから見たりしながら「粒の種類が違うと本当にしましまに見える」と驚いている様子でした。 <p>【レプリカ作成セット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のアンモナイトとは違い、実物の化石に触れることができたことで、本当に化石だ、これがアンモナイトなのかと、驚きの声が続々と上がっていました。レプリカが作れた時は、本当にうれしそうでした。この授業を通して化石に興味をもち、もっと調べてみたいと考える児童が増え、地層や大地の歴史への興味関心が高まりました。 <p>【人体模型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各器官、臓器のはたらきについて体全体とのつながりを意識して理解することができた。 <p>【進化の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に見た化石は、教科書に載っている写真で見るとは違い、とても迫力がありました。 ・馬の脚を見た時、足裏や小さな骨などの見づらい部分を見ることができ、進化の流れについて理解を深めることができました。
--------	---

⑤ 博物館実習

学芸員資格取得のため、当館での実習を希望した学生を対象に博物館実習を行った。

受入期間 令和6年8月1日(木)～8月10日(土) [実質9日間]

大学別受入人数：

東京学芸大学	1名	県立女子大学	1名
専修大学	1名	日本大学大学院	1名
東京農業大学	2名	日本獣医生命科学大学	1名
八洲学園大学	1名		
		(計)	(8名)

主な実習内容：

講義(学芸・教育普及業務)、バックヤード見学、教育普及事業立案実習
学芸業務実習、企画展示実習





⑥ インターンシップ受入れ

本年度は実施なし

⑦ 大学パートナーシップ・連携等

2024年8月30日に麻布大学の館内実習を実施。学生30名、教員2名の計32名参加し、実験室にて神津牧場における麻布大学の野外実習調査で採集した糞虫の標本化実習を実施した。

⑧ 大学生・大学院生等指導

総合研究大学院大学1名

(3) 外部からの問い合わせ対応

当館では社会的ニーズを把握するため、平成 24 年度より外部からの問い合わせ対応について集計を始めた。令和6年度の問い合わせ件数は 161 件で昨年度より 25 件増加した。ただし、電話や突然の来館、講習会・オンライン会議中での対応は、逐一記録することが難しいため、実際の受け入れ数は、これより多いものと考えられる。問い合わせ元では一般(学生を除く)からの問い合わせが 66 件で最も多く、以下公共団体(35 件)研究者(28 件)が続いた(表①)。ただし、マスコミからの問い合わせについては、館の展示やイベントなどに関する取材は本表に含めていないため、実際の取材数はこの表よりも多い。問い合わせ内容は、専門的な教示(75 件)や同定(46 件)が一般的な問い合わせ(36 件)を上回る結果になった(表②)。問い合わせ方法は電子メール(108 件)が主流である傾向に変化はなかった(表③)。また、来館しての質問が 22 件と、新型コロナ禍以降増加傾向にある。ただし、記録が残る電子メールや郵送に対して、電話や来館対応の場合、記録漏れがある可能性が高い。問い合わせの発信元は県内 95 件に対して県外 56(海外含む)で、例年と傾向に大きな変化はない(表④)。県内からの問い合わせは、前橋市が 25 件で最も多く、伊勢崎市(19 件)、高崎市(16 件)がこれに次いだ。特に令和6年度は伊勢崎市からの問い合わせが増加している。その理由として、本年度より調査が始まった伊勢崎市史の影響があるものと考えられる(表⑤)。

① 問い合わせ元の職・所属

一般	66
公共団体	35
研究者	28
マスコミ	11
博物館施設	6
民間機関	11
小中高生	4
その他	0
大学生・院生	0
合計	161

④ 問い合わせ元の居住地・所在地

群馬県内	95
県外国内	53
海外	3

⑤ ④のうち県内上位内訳

前橋	25
伊勢崎	19
高崎	16
富岡	5
みなかみ	3
館林	3
片品	3

② 問い合わせ内容の種別

教示	75
問い合わせ	36
同定	46
取材	4
その他	0

③ 問い合わせ方法

メール	108
電話	25
来館	22
郵送	4
その他	3

(4) 学会等の開催

① ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024

令和7年1月18日(土)にかぶら文化ホールで報告会(基調講演・口頭発表等)を実施した。
また、展示会場では、ポスター展示、ポスターセッションを行った。
報告会参加者 161名

3 資料収集・管理

(1) 資料管理

① 温湿度管理

管理場所	管理状況(設定)
第1収蔵庫	夏季:20℃、50% 冬季:18℃、55% 春秋:18~20℃、55~50%
第2収蔵庫	夏季:20℃、50% 冬季:18℃、55% 春秋:18~20℃、55~50%
第3収蔵庫	夏季:20℃、50% 冬季:18℃、55% 春秋:18~20℃、55~50%

② 資料の安全な保護対策

ア 文化財害虫等への忌避対策

忌避対策として以下を実施した。

○第二収蔵庫出入りに積層タイプの除塵粘着シートのマットを設置し、害虫等の侵入を防いだ。

イ 文化財害虫等の燻蒸作業

番号	作業場所	実施内容	実施日	受託者	使用薬剤
1	第二収蔵庫(生物系) 燻蒸	殺虫 殺菌	令和6年 6月10日~6月17日	関東港業 株式会社	アルプ
	常設展霊長類剥製	防虫 防菌	令和6年 6月10日~6月17日	関東港業 株式会社	ブンガノン+ ライセンス
2	企画展展示室室内	殺虫 殺菌	令和6年 12月15日~12月20日	関東港業 株式会社	アルプ
3	燻蒸庫燻蒸4回	殺虫 殺菌	令和7年 2月17日~2月25日	関東港業 株式会社	エキヒュームS

(2) 基準標本と天然記念物の状況

① 正基準標本 Holotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH- PV-170	<i>Limnofregata hasegawai</i> Olson et Matsuoka, 2005 ハセガワゲンカンドリ
2	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI- 1341	<i>Pseudophilipsia kiriuensis</i> Kobayashi et Hamada, 1984

3	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI- 1701	<i>Nipponopon hasegawai</i> Karasawa, Kato et Terabe, 2006 ハセガワニッポノポン, 新属の模式種
4	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 1256	<i>Eolyttonia kiryuensis</i> Tazawa et Takakuwa, 2009
5	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH- PV-2401	<i>Joumocetus shimizui</i> Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウクジラ, 新属の模式種
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3158	<i>Ikeyacythereis kumejimensis</i> Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010, 新属の模式種
7	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2116	<i>Saccella annakensis</i> Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2164	<i>Limopsis nakajimai</i> Kurihara, 2010
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3167	<i>Hemicytherura huangi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3170	<i>Hemicytherura notoensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3173	<i>Hemicytherura okuboi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3182	<i>Hemicytherura choeae</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3185	<i>Hemicytherura japonica</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3188	<i>Hemicytherura taiwanensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
15	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3537	<i>Dasysaria japonica</i> Tazawa et al., 2012
16	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3504	<i>Linoproductus ashioensis</i> Tazawa et al., 2012
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3162	<i>Loxoconcha tuberculatus</i> Tanaka et al., 2012
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4001	<i>Aurila joushuensis</i> Tanaka et al., 2012
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4211	<i>Krithe tomiokaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4228	<i>Acanthocythereis oshimaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4231	<i>Acanthocythereis noriyukikeyai</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4122	<i>Semicytherura kaburagawaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4125	<i>Semicytherura usuigawaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4128	<i>Loxoconcha jyoumouensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4133	<i>Loxoconcha maedai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4137	<i>Callistocythere nanamagariensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
27	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4142	<i>Callistocythere annakensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
28	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4147	<i>Callistocythere kyokoe</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
29	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4152	<i>Callistocythere kamitsukensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
30	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4157	<i>Callistocythere izanami</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
31	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4159	<i>Callistocythere kuwanoki</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
32	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4163	<i>Callistocythere myogiensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
33	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4167	<i>Loxocythere tetsurohanaii</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
34	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4172	<i>Cornucoquimba kyokoe</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
35	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4177	<i>Yezocythere takaokai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
36	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4181	<i>Trachyleberis itahanaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
37	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2570	<i>Ninjadelphis ujiharai</i> Kimura, 2016 (in Kimura and Barnes, 2016), 新属の模式種
38	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3210	<i>Eschrichtius akishimaensis</i> Kimura, Hasegawa et Kohno, 2018 アキシマクジラ
39	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3244	<i>Kentriodon nakajimai</i> Kimura et Hasegawa, 2019
40	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-3463	<i>Norisdelpis annakaensis</i> Kimura et Hasegawa, 2020, 新属の模式種
41	化石	脊椎動物	爬虫類	GMNH-PV-229	<i>Amphicotylus milesi</i> Yoshida, Hori, Kobayashi, Ryan, Takakuwa et Hasegawa, 2021
42	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-678	<i>Annakacygna hajimei</i> Matsuoka et Hasegawa, 2022 アンナカコバネハクチョウ, 新属の模式種
43	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-1685	<i>Annakacygna yoshiiensis</i> Matsuoka et Hasegawa, 2022

44	化石	無脊椎動物	昆虫	GMNH-PI-6321	<i>Neptis kabutoiwaensis</i> Aiba, Takahashi et Sakamaki, 2023, カブトイワミスジチョウ
45	化石	無脊椎動物	昆虫	GMNH-PI-6322	<i>Tetrapentatoma nishizawai</i> Aiba, Souma et Takahashi, 2023, ムカシアシアカカメムシ, 新属の模式種
46	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-0159	<i>Incakujira fordycei</i> Kimura et Hasegawa, 2024

② 等価基準標本 Syntype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	魚類	GMNH-PV-042	<i>Sebastes kanezawai</i> (Niino, 1951)

③ 従基準標本 Paratype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1342	<i>Pseudophilipsia kiriuensis</i> Kobayashi et Hamada, 1984
2	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1700	<i>Hoploparia kamimurai</i> Kato et Karasawa, 2006 カミムラホプロパリア
3	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1257, 1258	<i>Eolyttonia kiryuensis</i> Tazawa et Takakuwa, 2009
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3159	<i>Ikeyacythereis kumejimensis</i> Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
5	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2113-15, 2117-2124	<i>Saccella annakensis</i> Kurihara, 2010
6	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2165 -2170	<i>Limopsis nakajimai</i> Kurihara, 2010
7	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3538, 3539	<i>Dasysaria japonica</i> Tazawa et al., 2012
8	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3505-3525	<i>Linoproductus ashioensis</i> Tazawa et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3164	<i>Loxoconcha tuberculatus</i> Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4003	<i>Aurila joushuensis</i> Tanaka et al., 2012

11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4123, 4124, 4203, 4204	<i>Semicytherura kaburagawaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013b
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4126, 4127, 4205, 4206	<i>Semicytherura usuigawaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013b
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4129, 4130, 4131, 4132	<i>Loxoconcha jyoumouensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013b
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4134, 4135,4136	<i>Loxoconcha maedai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
15	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4138, 4139, 4140, 4141	<i>Callistocythere nanamagariensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
16	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4143, 4144, 4145, 4146	<i>Callistocythere annakensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4148, 4149, 4150, 4151	<i>Callistocythere kyokoe</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4153, 4154, 4155, 4156	<i>Callistocythere kamitsukensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4158, 4206, 4159, 4207	<i>Callistocythere izanami</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4160, 4161, 4162, (4161)	<i>Callistocythere kuwanoki</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4164, 4165, 4166	<i>Callistocythere myogiensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4168, 4169, 4170, 4171	<i>Loxocythere tetsurohanaii</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4173, 4174, 4175, 4176	<i>Cornucoquimba kyokoae</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4178, 4179	<i>Yezocythere takaokai</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4182, 4183, 4184, 4185	<i>Trachyleberis itahanaensis</i> Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH- PV-3245	<i>Kentriodon nakajimai</i> Kimura et Hasegawa, 2019
27	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH- PV-1011	<i>Eolipotes japonicus</i> Kimura et Hasegawa, 2024, 新属

④ 從基準標本(別性) Allotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3160-61	<i>Ikeyacythereis kumejimensis</i> Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
2	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3168	<i>Hemicytherura huangi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
3	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3171	<i>Hemicytherura notoensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3174	<i>Hemicytherura okuboi</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
5	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3183	<i>Hemicytherura choeae</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3186	<i>Hemicytherura japonica</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
7	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3189	<i>Hemicytherura taiwanensis</i> Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
8	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3163	<i>Loxoconcha tuberculatus</i> Tanaka et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4002	<i>Aurila joushuensis</i> Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4212	<i>Krithe tomiokaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a

11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4229	<i>Acanthocythereis oshimaensis</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4231	<i>Acanthocythereis noriyukikeyai</i> Tanaka and Hasegawa, 2013a

⑤ 同地基準標本 Topotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3162-64	<i>Ikeyacythereis wutzushuii</i> (Hu et Tao, 2008) (in Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010)

⑥ 国指定 特別天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	特別指定 年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA- 1028	<i>Diomedea albatrus</i> Pallas, 1769 アホウドリ	1962.04.19
2	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM- 066 ほか	<i>Capricornis crispus</i> (Temminck, 1836) カモシカ	1955.02.15
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA- 855	<i>Spilornis cheela</i> (Latham, 1790) カンムリワシ	1977.03.15
4	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA- 677 ほか	<i>Grus japonensis</i> (Muller, 1776) タンチョウ	1952.03.29
5	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA- 936 ほか	<i>Lagopus mutus</i> Montin, 1781 ライチョウ	1955.02.15
6	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA	<i>Nipponia nippon</i> (Temminck, 1835) トキ	1952.03.29

⑦ 国指定 天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA- 546 ほか	<i>Aquila chrysaetos</i> (Linnaeus, 1758) イヌワシ	1965.05.12
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II- 4658 ほか	<i>Parnassius evermanni daisetsuzanus</i> Matsumura, 1926 ウスバキチョウ	1965.05.12
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA- 847 ほか	<i>Haliaeetus pelagicus</i> (Pallas, 1811) オオワシ	1970.01.23
4	動物	無脊椎動物	甲殻類	GMNH-IC- 113	<i>Coenobita cavipes</i> Stimpson, 1858 オカヤドカリ	1970.11.12
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II- 31292 ほか	<i>Vacciniina optilete daisetsuzana</i> (Matsumura, 1926) カラフトルリシジミ	1967.05.02

6	動物	脊椎動物	爬虫類	GMNH-VR-289	<i>Plestiodon kishinouyei</i> (Stejneger, 1901) キシノウエトカゲ	1975.06.26
7	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-9674 ほか	<i>Oeneis melissa daisetsuzana</i> Matsumura, 1926 ダイセツタカネヒカゲ	1965.05.12
8	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-959	<i>Anser albifrons</i> (Scopoli, 1769) マガン	1971.06.28
9	動物	脊椎動物	魚類	GMNH-VP-197 ほか	<i>Tanakia tanago</i> (Tanaka, 1909) ミヤコタナゴ	1974.06.25
10	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz, 1845) ヤマネ	1975.06.26

⑧ 県指定 天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	地球	鉱物		GMNH-EM-781	Zunyite ズニ石(みなかみ町入須川産)	1973.08.21
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-858 ほか	<i>Colias palaeno aias</i> Fruhstorfer, 1903 ミヤマモンキチョウ	1977.04.01
3	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203 ほか	<i>Erebia nipponica</i> (Janson, 1877) ベニヒカゲ	1977.04.01
4	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203 ほか	<i>Aporia hippia japonica</i> Matsumura, 1919 ミヤマシロチョウ	1977.04.01
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-3332 ほか	<i>Luehdorfia puziloi inexpecta</i> Sheljuzhko, 1913 ヒメギフチョウ	1976.03.07
6	動物	脊椎動物	両生類	GMNH-VR-206 ほか	<i>Hynobius lichenatus</i> Bouleger, 1883 トウホクサンショウウオ	2007.03.27
7	動物	無脊椎動物	両生類	GMNH-VR-035 ほか	<i>Hynobius kimurae</i> Dunn, 1923 ヒダサンショウウオ	2007.03.27
8	化石	脊椎動物	両生類	GMNH-PV-001 ほか1点	<i>Rana aff. architemporalia</i> ムカシアカガエル	1996.03.29
9	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	<i>Joumocetus shimizui</i> Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウクジラ	2012.03.23

(3) 収蔵資料数

番号	分野	令和6年度登録		全登録	
		収蔵資料点数	画像登録点数	収蔵資料点数	画像登録点数
1	哺乳類	200	1	7,654	1,257
2	鳥類	129	1	2,712	691
3	両生・爬虫類	4	0	648	100
4	魚類・円口類	20	38	892	361
5	昆虫	981	2	61,801	657
6	クモ類	0	0	88	33
7	甲殻類	0	66	534	466
8	その他の節足動物	0	0	6	5
9	軟体動物	102	301	13,509	7,760
10	その他の無脊椎動物	0	0	235	139
11	ロット標本	0	0	910	0
12	種子植物	2,393	0	86,657	545
13	シダ植物	226	0	13,484	19
14	蘚苔類	2	0	831	23
15	藻類	0	0	1,054	323
16	地衣類	0	0	688	125
17	菌類	338	356	8,369	5,885
18	細菌類	0	0	0	0
19	人類	0	12	1,968	2,075
20	古動物	107	397	7,237	6,865
21	古植物	0	0	3,039	3,209
22	岩石	3	270	3,171	3,454
23	鉱物	12	12	1,902	1,971
24	環境・地質現象	2	2	55	30
	合計	4,519	1,458	217,444	35,993

(4) 資料購入

番号	資料名称	分野	数量	購入業者
	令和6年度は該当無し			

(5) 委託（製作、資料整理・保存）

番号	委託業務名称	分野	数量	委託先名称	用途
1	常設展示用剥製標本 製作業務（上期）	鳥類・魚類 ・哺乳類	15	(有)湘南剥製研究所	展示
2	常設展示用剥製標本 製作業務（下期）	鳥類 ・哺乳類	7	野沢剥製	展示
3	企画展「北極と南極」 生態系3Dモデル製作業務	哺乳類	2	アンフィ合同会社	展示

4	企画展「北極と南極」 アザラシ頭骨3Dモデル製作業務	哺乳類	3	アンフィ合同会社	展 示
5	企画展「ツツジとその仲間たち」 樹脂封入標本製作業務	植物	7	国陽工芸(株)	展 示 研 究
6	オオカミなめし皮作製業務	哺乳類	3	(有)湘南剥製研究所	展 示
7	ヒグマ頭骨3D出力業務	哺乳類	6	アンフィ合同会社	展 示
8	ネコ科頭骨3D出力モデル業務	哺乳類	3	アンフィ合同会社	展 示
9	化石複製品製作業務委託 (セイムリア全身骨格レプリカ)	古生物	1	(株)パレオサイエンス	展 示 研 究
10	化石複製品製作業務委託 (ケラトサウルス頭骨レプリカ)	古生物	1	(有)ミュージアム インポート	展 示 研 究
11	毒魚剥製標本製作	魚類	9	(有)湘南剥製研究所	展 示
12	きのこ樹脂封入標本製作業務	菌類	17	国陽工芸(株)	展 示 研 究
13	きのこ模型製作業務	菌類	4	アンフィ合同会社	展 示

(6) 寄贈資料・管理移管資料

① 寄贈資料

番号	受贈資料名称	分野	数量	寄贈者	受付年月日
1	ハンドサンプラー (研究用備品)	地質	1	総合地球環境学 研究所	R06.4.2
2	下仁田町荒船山産水晶、 玉髄、南牧村産水晶	鉱物	3	石井 文恵	R06.6.27
3	魚岩(新潟県)産魚類化石	古脊椎動物	2	西尾 広一	R06.8.26
4	昆虫標本	動物 (昆虫)	33,276	神坂 隆子	R06.10.6
5	昆虫標本	動物 (昆虫)	5,671	服部 みち子	R06.12.15
6	キツネ剥製標本	動物 (哺乳類)	1	小池 直治	R06.12.25
7	植物さく葉標本	植物	8,000	増田 和明	R07.1.18
8	人体全身骨格標本	人類	1	群馬県立心臓血管 センター	R07.3.26
9	陸棲哺乳類検体	哺乳類	420	県内市町村、環境 森林事務所等	通年

10	鳥類資料	鳥類	250	県内市町村、環境 森林事務所等	通年
11	両生類・爬虫類資料	両生類 爬虫類	0	県内市町村、環境 森林事務所等	通年

② 管理移管資料

番号	管理移管資料名称	分野	数量	移管者	受付年月日
	本年度は該当無し				

(7) 寄託資料

番号	寄託資料名称	数量	寄託者名称	寄託期間
	本年度は該当無し			

(8) 貸出資料

番号	貸出資料名称	数量	貸出先名称	貸出期間	備考
1	アマルガサウルス全身骨格	1	神流町恐竜センター	H10. 3. 23～ R04. 7. 6、 R05. 12. 9～ (貸出期間 自動延長)	展示、前年 度から継続 (他館等への 貸出時は 除外)
2	アキシマクジラ実物標本 (頭蓋を除く)	一式	昭島市教育委員会	R03. 10. 1～ R06. 9. 30 R06. 10. 1～ R07. 9. 30 (貸出期間延長)	展示 前年度から 継続
3	ニッポノサウルスレプリカ	一式	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	R05. 12. 22～ R06. 6. 26	展示 前年度から 継続
4	貝類 (ハルシャガイ等) ・ サンゴ礁・節足動物・軟体 動物・昆虫・哺乳類・魚類 等標本・資料	46	宮崎県総合博物館	R06. 6. 29～ 9. 17	特別展 (前年度 承認済)
5	ガリミス幼体レプリカ等	6	新潟県立万代島美術館 (化石ハンター展)	R06. 6. 3～ 10. 5	特別展 (巡回展)
6	アンフィコティルス (ワニ類) 全身骨格レプリカ	1	福井県立恐竜博物館	R06. 5. 30～ 11. 29	特別展
7	ニッポノサウルス上・下 顎、プロサウロロフス皮膚 印象 (レプリカ)	2	スリーエム仙台市科学館	R06. 7. 1～ 8. 31	特別展
8	ギガノトサウルス頭骨等 恐竜化石標本	15	三笠市立博物館	R06. 6. 6～ 10. 31	特別展
9	アマルガサウルス全身骨格	1	福井県立恐竜博物館 (展示はパシフィコ横浜)	R06. 6. 18～ 9. 30	巨大恐竜博 2024

10	アルーラ（ペルム紀産二枚貝）等古生物標本	15	佐野市葛生化石館	R06. 6. 19～ 12. 28	企画展
11	古生物関係復元画 （小田隆氏絵画作品）	3	越知町立 横倉山自然の森博物館	R06. 6. 24～ 12. 5	企画展
12	<i>T. rex</i> 頭骨レプリカ等	16	岐阜県博物館 （ポケモン化石博物館）	R06. 6. 29～ 11. 1	特別展 （巡回展）
13	カマラサウルス幼体 全身骨格等	4	丹波竜化石工房	R06. 7. 11～ 10. 6	特別展
14	プテロダウストロ全身骨格 レプリカ、カワラバト剥製 標本等古生物・鳥類標本	9	ベネックス恐竜博物館 （長崎市恐竜博物館）	R06. 7. 10～ 9. 30	夏季 企画展
15	葛生産バイソン上腕骨 化石レプリカ等	6	信濃町立野尻湖ナウマン ゾウ博物館	R06. 7. 6～ 12. 13	特別展
16	昆虫標本（ドイツ箱入り）	3	中之条山里テーマパーク 部会（中之条町商工観光課）	R06. 7. 17～ 7. 23	観察会 演示用
17	アロサウルス頭骨レプリカ 等古生物標本	11	野生の王国® 群馬サファリパーク	R06. 7. 29～ 10. 7	イベント 展示
18	兜岩層産カエル化石	2	下仁田町自然史館	R06. 8. 19～ R07. 6. 30	企画展 （次年度継続）
19	コンフキウソルニス（孔子 鳥）レプリカ等古生物標本	14	国立科学博物館 （鳥展）	R06. 10. 15～ R07. 3. 10	特別展 （巡回展）
20	<i>T. rex</i> 頭骨レプリカ等	16	防府市青少年科学館 （ポケモン化石博物館）	R06. 11. 1～ R07. 2. 25	特別展 （巡回展）
21	サンマ剥製標本等生物標本	11	豊田市博物館 （和食展）	R07. 1. 18～ 4. 6	特別展 （次年度継続）
22	コンフキウソルニス（孔子 鳥）レプリカ等古生物標本	14	名古屋市科学館 （鳥展）	R07. 3. 1～ 6. 30	特別展 （巡回展） （次年度継続）
23	<i>T. rex</i> 頭骨レプリカ等（アマ ルガサウルス全身骨格を含む）	16	福井県立恐竜博物館 （ポケモン化石博物館）	R07. 2. 25～ 5. 31	特別展 （巡回展） （次年度継続）
24	バナジン鉛鉱、オニヤンマ 等、鉱物・昆虫標本	14	群馬県立 高崎商業高等学校	R07. 3. 11～ 3. 14	授業（国語） での観察の ため
25	リュウキュウジカ等 古脊椎動物標本	3	国立科学博物館 （氷河期展）	R07. 6. 1～ 10. 31 （次年度分）	特別展 （巡回展）
26	サンマ剥製標本等生物標本	11	京都府京都文化博物館 （和食展）	R07. 4. 17～ 7. 10 （次年度分）	特別展 （巡回展）
27	ステノプテリギウス 全身骨格等古生物標本	8	那須塩原市 那須野が原博物館	R07. 6. 10～ 10. 10 （次年度分）	特別展

(9) 借用資料

番号	借用資料名称	数量	借用先名称	借用期間	備考
1	ブラジル産 翼竜類骨格化石	一式	秋元 三芳	R04.12.18～ R07.3.31	展示(企画 展等) ・研究
2	ストロマトライト等、 岩石資料(常設展示等)	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	R06.4.1～ R07.3.31	前年度から 継続、 期間更新
3	翡翠等鉱物標本ならびに 翡翠貸し出しセット	7	フォッサマグナミュージアム (紳士・淑女のための鉱物展)	R06.2.9～ 5.26	企画展
4	アンモライト標本	1	和賀 一雄 (紳士・淑女のための鉱物展)	R06.3.4～ 5.31	企画展
5	宮沢賢治の 直筆原稿等の画像	15	宮沢賢治記念館 (紳士・淑女のための 鉱物展)	R06.3.16～ 5.12	企画展
6	クビナガリュウ類鱗化石	1	桂石文化振興財団	R05.11.11～ R07.3.31	展示・研究
7	企画展「北極と南極」で 使用する映像	1	名古屋市科学館	R06.7.20～ 12.8	企画展
8	原寸大パネル(シロナガ スクジラ、ミンククジ ラ)	2	日本鯨類研究所	R06.7.20～ 9.8	企画展
9	コウテイペンギン等の 動物標本、写真	10	東京海洋大学マリンサイエン スミュージアム	R06.7.10～ 9.24	企画展
10	日本の南極調査関係資料	29	船の科学館	R06.7.8～ 12.20	企画展
11	日本の南極調査関係 画像・映像	4	船の科学館	R06.6.1～ 12.8	企画展
12	ポータブル Geo-Scope (本体プログラム、コン テンツデータを含む)	2	日本科学未来館	R06.7.2～ 12.20	企画展
13	イッカク(歯)、セイウ チ(犬歯工芸品)	2	早武 忠利	R06.7.21～ 12.8	企画展
14	第61次南極地域観測隊 採取の貝形虫資料	一式	国立極地研究所	R06.9.14～ 12.8	企画展
15	キリラ・ラセミフロラ等 植物標本	20	国立科学博物館	R07.2.28～ 5.28 (次年度継続)	企画展

16	スキバホウジャク等 昆虫標本	4	ぐんま昆虫の森	R07. 2. 26～ 5. 30 (次年度継続)	企画展
17	ストロマトライト等、 岩石資料（常設展示等）	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	R07. 4. 1～ R08. 3. 31	次年度分、 前年度から 継続、 期間更新

(10) 特別観覧

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
1	安中層群産 カキ類化石等	30	茨城大学理学部	安藤 寿男	R06. 4. 13	熟覧 模写 実測 撮影
2	ムサシトミヨ標本	1	鹿児島大学 総合研究博物館	松本 達也	R06. 6. 28	熟覧 実測
3	スジグロシロチョウ、 ウラギンヒョウモン	一式	(埼玉県蓮田市在住)	小田 康弘	R06. 7. 3	撮影
4	プリオサウルス等 水生脊椎動物の歯 (化石・現生)	6	共愛学園小学校 5年	福田 博巳	R06. 8. 11	熟覧 模写 実測 撮影
5	コエラカントウス ・バンフェンシス	1	城西大学 水田記念博物館 大石化石ギャラリー	宮田 真也	R06. 11. 22	熟覧 模写 実測 撮影
6	ミチノフクジュソウ 標本	1	(埼玉県熊谷市在住)	松本 薫	R07. 2. 1	撮影
7	カマラサウルス等 竜脚類恐竜標本	一式	Fossil Crates Co.	ブライアン ・カーティ ス (Brian Curtice)	R07. 3. 12	熟覧 模写 実測 撮影

① 研究の目的

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
	令和6年度は該当無し					

② 撮影等の目的

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
	令和6年度は該当無し					

(11) 画像等使用許可

番号	使用画像等の名称	数	使用者名称	使用開始日
1	画像 インカクジラ全身骨格の全身俯瞰画像ならびにサメの歯化石の分布図	2	(株)技術評論社(「古生物のカルテ」への掲載)	R06. 8. 1～
2	画像 ワラビー骨格標本、ムササビ骨格標本	2	(株)GAKKEN(「学研の図鑑 LIVE 動物新版」への掲載)	R06. 6. 25～
3	画像 トール石	1	(株)ニュートンプレス(Newton 別冊「周期表 完全図解 118 元素」への掲載)	R06. 6. 1～
4	画像 トリケラトプス(全身骨格)	1	(株)みつとめるへん社(同社が編集を担当しているナツメ社書籍「英語がきける! 親子で読める たのしいきょうりゅうずかん」への掲載)	R06. 11. 1
5	引用 企画展「空にいどんだ勇者たち」本文テキスト(p. 5, p. 22～23, p. 27, p. 28, p. 32, p. 33, p. 38, p. 42, p. 43)	9	ベネックス恐竜博物館(長崎市恐竜博物館)(同館が令和6年度夏季企画展として開催する「翼竜と恐竜、そして飛行機まで」の展示キャプションとして使用)	R06. 7. 20～ 9. 23
6	動画「種の散布にみる植物の知恵(当館制作)」	1	旅するタネ実行委員会(熊本博物館等)(熊本博物館が令和6年夏期に開催する特別展「旅するタネ」会期中に館内エントランスモニターで放映)	R06. 7. 23～ 9. 1
7	画像 アマルガサウルス 全身骨格	1	竹田知華(スリーシーズン)(申請者が編集を担当し、(株)Gakken から発売する書籍「こどもずかん 恐竜 555」に掲載)	R06. 9. 17～
8	画像 アウストラロピテクス・アファレンシス等の化石人類頭骨6点	6	(株)本作り空 Sola(同社が編集を担当し、文研出版から出版される書籍「科学でさぐる日本人の図鑑」に掲載)	R06. 12. 1～
9	画像 アマルガサウルス 全身骨格	1	(株)講談社(講談社の動く図鑑 MOVE 恐竜 新訂第二版に掲載)	R06. 11. 26 ～
10	画像 ガストルニス (ディアトリマ) 全身骨格	1	日本経済新聞社(申請者と国立科学博物館が共催する特別展「鳥」の公式図録に掲載)	R06. 11. 1 (プレビュー日)～
11	画像 インカクジラ・フォーダイセイ全身骨格	1	(株)博進堂(同社が製作する学校向け卒業アルバムに掲載)	R07. 2. 1～ R09. 3. 31
12	画像 ヘスペロルニス 全身骨格	1	日本経済新聞社(申請者と国立科学博物館が共催する特別展「鳥」に関する日経本紙ならびにナショナルジオグラフィック日本版[web版]に掲載)	R06. 11. 3～
13	画像 ジョウモウクジラ頭骨(PV-2401)、ナカジマケントリオドン頭骨(PV-3245)	2	松本孝義(令和吉井史楽会)(申請者が製作する書生「馬庭村史話」に掲載)	R07. 3. 31～

14	画像 シャニダール4号	1	特定非営利活動法人 Ubdobe（申請者が令和6年度大阪府介護職・介護業務の魅力発信事業において作成する介護×考古学の動画において介護の歴史の紹介で使用）	R06. 11. 28 ～
15	画像 スギカミキリ	1	群馬県地域創生部文化財保護課（国指定天然記念物「安中市のスギ並木保存活用計画」との中で掲載）	R06. 12. 20 ～
16	画像 アンハングエラ 全身骨格	1	(株)技術評論社（7/1 刊行予定の書籍「地球生命 空の興亡史」に掲載）	R07. 7. 1 ～
17	画像 常設展示の展示風景 ならびに展示パネル（軟体動物類、ヘリコプリオン、キツツキの見分け方、フズリナ、カブトエビの生活史）	6	裘 夢雲（日本大学大学院芸術学研究科）（学位申請論文「ナチュラルサイエンスイラストレーションの制作に関する研究：自然史博物館における応用実態を通して」に掲載）	R07. 1. 16～
18	画像 「饗宴（小田隆氏パレオアート作品）」	1	(株)芸術新聞社（4月観光のしよせき「水島篤作品集 恐竜日本画帖」に掲載）	R07. 4. 1 ～
19	画像 バージェス動物群 ミニジオラマ等	4	(株)講談社（令和7年12月刊行予定の講談社の動く図鑑 MOVE「大むかしの生きもの[当館監修]の翻訳版[簡体字、繁体字、韓国語]の当館紹介ページに掲載）	R07. 12. 1 (発行予定日) ～
20	画像 ガストルニス (ディアトリマ) 全身骨格	1	(株)技術評論社（7/1 刊行予定の書籍「地球生命 空の興亡史」に掲載）	R07. 7. 1 (発行予定日) ～
21	画像 (3D) 当館常設展示 (2022. 9. 26 撮影)	一式	スタジオダックビル合同会社（技術実証実験の内容[博物館広域展示空間の3Dデータ]をWeb上で3D表示可能な散策型アプリとして掲載）	R07. 3. 10～

(12) 当館からの寄贈資料

番号	資料名称	分野	数量	寄贈先名称	寄贈年月日
1	極地調査に関する 新聞記事	その他	1	国立極地研究所	R06. 12. 25

(13) 資料・展示関係機器等の修復

平成23年3月11日の地震で破損した常設展示 A-2 のディメトロン実物全身骨格の棘突起1本は、嵌め殺しのガラスケース内での作業実施が困難であるため、修復せずに現状維持を継続している。

また、同じく常設展示 A-3 のプラテカルプス実物全身骨格の右前肢の指骨については、接着しても自重で再び折れてしまうことから、来館者に面していない側であることを考慮し、こちらも現状維持を継続している。

(14) 科学系博物館情報ネットワーク開発事業・自然史標本データ整備事業

本事業はナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）の一事業として、国立科学博物館からの請負事業として実施されている。当館の収蔵資料より、サイエンスミュージアムネ

ット（S-Net）及び地球規模生物多様性情報機構（GBIF）への横断検索用データを継続的に提供している。データ項目の変換・整備にあたっては、従来通り、人材派遣会社に業務委託を行い、実施している。令和6年度は2,350件の情報を提供した。令和6年度末までのサイエンスミュージアムネットへの提供件数は、102,267件である。

(15) 文献資料等の充実

○ 購入

図書	134冊
和雑誌	94冊
洋雑誌	32冊

○ 寄贈受入

図書	437冊
雑誌	404冊
デジタルメディア	2冊
地図	1冊

○ 交換受入図書数

321冊

○ 交換館数

国内	289機関
海外	12機関

4 調査研究

(1) みなかみ町南部及び周辺地域の学術調査（自然史調査）

◆調査の背景・目的

群馬県立自然史博物館では、調査地域における動植物、古生物及び岩石・鉱物の分布を数年単位で把握する学術調査を実施し、調査結果を報告書としてホームページで公表している（https://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report_inve）。調査結果は、分類学的取り扱いや自然科学的課題を議論するために活用され、県内の自然に関する重要な見識を周知することに役立っている。

これまでの学術調査では、主に自然史博物館が位置する西毛地域を中心として行われてきたが、平成29年度から、学術調査地域をみなかみ町及び周辺地域に設定し、6年間をかけて学術調査を実施した。みなかみ町及び周辺地域調査の6年間で、比較的調査機会が乏しかったみなかみ町南部周辺地域調査を令和5年度から実施している。なお、みなかみ町を対象とした調査は、日本自然保護協会（NACS-J）及びみなかみ町と連携して実施している。

この調査では、みなかみ町及び周辺地域の動植物、古生物及び岩石・鉱物の分布を明らかにし、当館収蔵標本と所有データの充実化を図ることで、調査結果を県内外の来館者に効果的かつ正しく伝えることを目的とする。

みなかみ地域学術調査の対象地域は比較的面積が大きく、調査ルートや標本の採集を希望する場所が国立公園、県自然環境保全地域、国有林などに該当する場合が多い。したがって、分野による活動内容のばらつきはあるものの、調査分野ごとに調査を進めた。

本調査では、過去6年間の調査実績をふまえ、調査対象地域のコアエリアをみなかみ町南部（旧新治村、月夜野町）として設定する。また、本県で調査データが極めてとぼしい中之条町（旧六合村）、高山村等近隣市町村を補完調査対象として含め、3年間かけて調査を実施することとした。本調査の2年目となる令和6年度は、昨年度までに行った状況調査をもとに、各分野ごとに計画的な現地調査、資料収集を行った。成果の一部は特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」にて発表も行った。

○調査日及び調査内容

- 4月15日 維管束植物
- 4月18日 菌類
- 5月17日 昆虫
- 5月 8日 菌類
- 5月17日 哺乳類
- 6月12、13日 小型哺乳類
- 6月16日 菌類
- 6月19日 昆虫
- 6月20日 無脊椎動物（昆虫を除く）
- 7月 9日 昆虫
- 7月19日 菌類
- 7月30日 昆虫
- 8月22日 無脊椎動物（昆虫を除く）
- 8月22日 菌類
- 9月 5日 昆虫
- 9月5、6日 小型哺乳類
- 9月27日 菌類
- 9月16日 維管束植物
- 10月 3日 昆虫
- 10月2、3日 小型哺乳類
- 10月 5日 維管束植物
- 10月12日 維管束植物
- 10月23、24日 小型哺乳類
- 10月24日 無脊椎動物（昆虫を除く）
- 10月28日 菌類
- 10月29日 維管束植物
- 11月 4日 維管束植物
- 11月 7日 無脊椎動物（昆虫を除く）
- 11月20日 哺乳類
- 11月17日 維管束植物
- 11月20日 菌類
- 11月25日 維管束植物
- 1月23日 地質・岩石

(2) 担当分野別調査研究一覧

担当分野	内容(自然史調査を除く)	主な方法
植物	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県および上信越・東北地域における維管束植物の分布調査 ・群馬県及び周辺部の絶滅危惧植物の生態と保全に関する調査 ・尾瀬のフロラに関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・踏査、採集、GPS 測位、個体数モニタリング、低温シードバンク保存
菌類	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県における菌類生息状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県内の菌類標本の採集、收藏 ・博物館周辺の菌類構成の季節的変化の把握
地衣類	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県における地衣類生息状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県内の地衣類標本の採集、分析
蘚苔類	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県における蘚苔類生息状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県内の蘚苔類標本の採集、分析

変形菌類	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県における変形菌類生息状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県内の変形菌標本の採集、分析
鳥類	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県における外来生物調査 群馬県における鳥類解剖調査 群馬県における放射性物質汚染状況調査 全国鳥類分布調査 猛禽類鉛中毒調査 	<ul style="list-style-type: none"> ソウシチョウ、ガビチョウの受入、収蔵 野鳥病院より検体の受入 検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、性別、年齢など） 放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉））試料の生成、データ蓄積 鳥類の分布変遷の把握 猛禽類内臓サンプルの確保
哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県における哺乳類生息状況の長期モニタリング調査 群馬県における外来生物調査 群馬県における野生動物放射性物質汚染状況調査 ニホンジカ個体数調整事業にともなう調査 カモシカ個体数調整事業にともなう調査 イノシシ個体数調整事業にともなう調査 適正管理計画に関わる野生鳥獣の基礎調査 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県鳥獣保護管理員、自然保護指導員報告野生動物情報調査 カメラトラップ調査（榛名、玉原、藤原、太田、桐生、稲倉山、渡良瀬） 検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、死亡年齢査定） 放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉）、NaI シンチレーション（全身スクリーニング））試料の生成、データ蓄積 シャーマントラップによる捕獲調査（みなかみ）
博物館学	<ul style="list-style-type: none"> 自然史系博物館資料の3Dデジタル標本化 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵資料等の3Dデジタル標本化
脊椎動物化石	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県産および当館所蔵の脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵標本のプレパレーションやその研究 フィールド調査（県外を含む） 他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） 各分類群の専門家、他団体との共同研究 採集、寄贈等による標本収集
	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県産海生哺乳類化石および関連標本の調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵標本等のプレパレーション 他館等収蔵の比較標本調査 論文の発表
無脊椎動物化石	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県産、および当館所蔵の無脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵標本のプレパレーションやその研究 フィールド調査（県外を含む） 他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） 各分類群の専門家、他団体との共同研究 採集、寄贈等による標本収集
植物化石	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県産および当館所蔵の植物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵標本のプレパレーションやその研究 フィールド調査（県外を含む） 他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） 各分類群の専門家、他団体との共同研究 採集、寄贈等による標本収集
地質・岩石	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県自然環境調査における「妙義山金洞沢・星穴沢」の地質・岩石調査 南牧村における磁性を有する鉄酸化物脈の研究 中之条町四万温泉周辺の旧ろう石 	<ul style="list-style-type: none"> フィールド調査に基づく岩石の産状及び岩相記載 肉眼及び偏光顕微鏡を用いた岩石記載 実体顕微鏡を用いた構成粒子観察 映像記録

	鉦山周辺の予察的地質調査 ・谷川岳天神平周辺の地質調査 ・榛名湖周辺の水環境並びに相馬山、オンマ谷及び硯岩の地質・岩石調査	
無脊椎動物 (昆虫を除く)	・群馬県における無脊椎動物(昆虫を除く)生息状況調査	・フィールド調査 ・採集資料の収蔵
昆虫	・群馬県における昆虫の生息状況調査	・見つけ捕り ・ピットフォールトラップ

(3) 美術館・博物館調査研究

「ながいながい骨の旅」

栃木県立博物館、長野県古生物博物館にて、標本調査を行った。また、帝京大学総合博物館、日本大学生物資源学部博物館にて、展示手法の調査を行った。

本企画展のもととなっている絵本『ながいながい骨の旅』を描かれた川上和生氏の個展を訪問し打ち合わせを行った。

「害虫展（仮）」

アース製薬坂越工場に行き、ゴキブリホイホイの製造、害虫の飼育などの様子を視察した。その際に、本企画展での監修および講演会講師の依頼、害虫の分与のお願いをした。

(4) 群馬県立自然史博物館研究報告第29号の発行

内容は、論文20（原著論文6、短報4、資料10）である。

外部からの投稿は14編であった。

(5) 外部連携による調査研究

事業名	分担区分	担当者名	外部資金	連携組織 資金提供組織	市民団体・自然 保護団体	備考
良好な自然環境を有する 地域学術調査	分担	大森威宏 姉崎智子 高桑祐司 菅原久誠	○	群馬県自然環境 調査研究会		
群馬県レッドデータブック 随時改訂調査・植物部門	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境 調査研究会		
群馬県レッドデータブック 随時改訂調査・哺乳類部門	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境 調査研究会		
生物多様性モニタリング調査	分担	大森威宏 姉崎智子	○	群馬県自然環境 調査研究会		
群馬県特定外来生物生息状況 調査	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境課		
群馬県希少野生動植物保護条 例に係る特定県内希少動植物 種モニタリング調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課		
環境省レッドリスト随時改訂 のための調査	県主 任調 査員	大森威宏	○	日本植物分類学会		
尾瀬における植物分布調査お よびシカ食害調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課 尾瀬保全推進室		

長野県植物誌調査	分担	大森威宏		長野県植物研究会		
群馬県シー ドバンク構築事業	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境課		H23～
鮎河および綴喜層群産化石群による前期中新世後期の古環境について	分担	木村敏之		滋賀県立琵琶湖博物館		
蝦夷層群産軟骨魚類化石に関する研究	連携	高栞祐司		三笠市立博物館		
石堂層産軟骨魚類化石に関する研究	連携	高栞祐司		神流町恐竜センター		
化石爬虫類の頭部内部構造に関する研究	連携	高栞祐司		東京大学、国立科学博物館		
爬虫類の脊柱に関する研究	連携	高栞祐司		東京大学、国立科学博物館		
日本産スピノサウルス類化石に関する研究	連携	高栞祐司		東京都市大学、神流町恐竜センターほか		
中生代ワニ類に関する研究	連携	高栞祐司 長谷川善和		北海道大学		
茨城県産軟骨魚類化石に関する研究	連携	高栞祐司		ミュージアムパーク茨城県自然博物館		
杵島層群産軟骨魚類化石に関する研究	連携	高栞祐司		佐賀県立宇宙科学館		
化学合成生態系における軟体動物の適応に関する研究	連携	高栞祐司		東京大学 総合研究博物館		
カマラサウルスの顎の血管神経管に関する研究	連携	高栞祐司		福井県立大学、福井県立恐竜博物館		
絶滅巨大ザメ・メガロドンに関する研究	連携	高栞祐司		デポール大学、埼玉県立自然の博物館、三重大学		
鳥盤類の顎の血管神経管に関する研究	連携	高栞祐司		福井県立大学、福井県立恐竜博物館		
古生代軟骨魚類の頭部軟体部の復元に関する研究	連携	高栞祐司		国立科学博物館ほか		
恐竜類の歯に見られるマイクロウェアに関する研究	連携	高栞祐司		東京大学ほか		
群馬県特定動物保護管理計画にともなう検体分析事業（ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンイノシシ）	連携	姉崎智子		群馬県自然環境課、市町村 東京農業大学、（財）自然環境研究センター、京都大学ヒト行動進化研究センター、総合研究大学院大学、麻布大学		
尾瀬シカ捕獲事業における科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室、群馬県自然環境課野生動物係		
赤城シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係		
神津牧場シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係		

群馬県における野生動物カメラトラップ調査	連携	姉崎智子		利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森	○	
群馬県内におけるニホンジカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学		
群馬県内におけるニホンカモシカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学		
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		東京農業大学、東京農工大学		
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的追跡調査 科学研究費補助金B	分担	姉崎智子	○	東京農工大学、森林総合研究所		
ニホンジカの農作物採食が繁殖に与える影響	共同	姉崎智子		農研機構・中央農業研究センター、中央大学		
尾瀬産外来植物の分布と保全に関する研究	連携	大森威宏	○	黒沢高秀（福島大学）		
尾瀬ヶ原におけるオランダガラシの試験駆除	共同	大森威宏	○	黒沢高秀（福島大学）・志賀隆（新潟大学）		
群馬・埼玉県境域に生育する希少種群に関する研究	共同	大森威宏	○	三村昌史（自然環境研究センター）・尾関雅章（長野県環境保全研究所）		
生物多様性評価のための指標種選定に関する研究	共同	大森威宏	○	高川晋一（日本自然保護協会）・尾崎煙雄（千葉県立中央博物館）・横川昌史（大阪市立自然史博物館）		
動物園個体の標本化・収蔵	連携	姉崎智子		株式会社群馬サファリワールド、桐生市桐生が岡動物園		

・外部研究者への調査協力

研究テーマ	協力者	協力元代表研究者名(所属)	備考
イワツクバネウツギの分布と保全に関する調査研究	大森威宏	牧 雅之（東北大学）	情報提供
日本産スゲ属植物の分子系統学的研究	大森威宏	矢野興一（岡山理科大学）・高橋晃太郎（京都大学）	情報提供
イワウラジロの現状について	大森威宏	海老原淳（国立科学博物館）	情報提供
妙義山の希少植物群の保全遺伝学的研究	大森威宏	藤井伸二（人間環境大学）	情報提供
オゼニガナ等狭分布性ニガナ属の分類学的・遺伝学的研究	大森威宏	矢原徹一（九州大学）・黒沢高秀（福島大学）	情報提供 試料提供
埼玉県のミチノクフクジュソウに関する研究	大森威宏	松本薫（埼玉県秩父農林振興センター）	情報提供
秩父山地の絶滅危惧植物に関する情報	大森威宏	NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物調査団	情報提供
ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワグマの遺伝的集団構造	姉崎智子	和久大介（東京大学）	試料提供

ツキノワグマの安定同位体分析	姉崎智子	小池伸介（東京農工大学）	試料提供
ツキノワグマの核 DNA 解析	姉崎智子	大西尚樹（森林総合研究所）	試料提供
野生動物付着種子	姉崎智子	佐藤花音（東京農工大学）	試料提供
ツキノワグマの成長と繁殖パターン	姉崎智子	小池伸介（東京農工大学）	試料提供
群馬県ニホンジカの遺伝的集団構造	姉崎智子	田中和明（麻布大学）	試料提供
群馬県ニホンカモシカの遺伝的集団構造	姉崎智子	田中和明（麻布大学）	試料提供
ニホンジカの安定同位体分析	姉崎智子	秦 綾夏（農研機構・中央農業研究センター）	試料提供

(6) 協働的調査研究の状況

① みんなで調べる群馬の自然史の実績

- ・タンポポ調査

② 外部団体との協働実績

哺乳類のカメラトラップ調査	利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森
地衣類調査（玉原）	利根沼田自然を愛する会
変形菌調査（玉原）	利根沼田自然を愛する会、日本変形菌研究会
軽井沢町発地地区の植物分布調査	軽井沢サクラソウ会議

(7) 特別研究員

2024年度の特別研究員6名の研究課題は以下のとおりである。

- ・下総層群から産出する有孔虫化石
- ・電子顕微鏡を用いた群馬県内に産する菌類データベースの作成
- ・群馬県西毛地域、北毛地域、吾妻地域における蘚苔類・地衣類調査について
- ・群馬県北毛地域における地衣類調査について
- ・池沢コレクション昆虫標本のデータベース作成
- ・群馬県における鳥類生息調査について

(8) 外部資金（科学研究費助成事業）

姉崎智子 (研究分担者) 150千円	研究種目名 基盤研究 (C) 研究課題名 ニホンカモシカの全ゲノム解読および地理的遺伝構造の解明 補助事業期間 令和4年度～令和6年度 研究代表者 田中和明（麻布大学）
姉崎智子 (研究分担者) 250千円	研究種目名 基盤研究 (B) 研究課題名 個体群動態とブナ科堅果の結実豊凶を考慮したツキノワグマ個体群 管理手法の提案 補助事業期間 令和5年度～令和8年度 研究代表者 小池伸介（東京農工大学）

5 情報システム

(1) 第5次情報システム(現行システム)

自然史博物館情報システムは令和5年10月1日より第5次システムの運用を開始した。従来のシステムの経年による機器更新に加え、第4次情報システムより実施している一部のサーバのクラウド化など、一層の県民サービスの向上、安定性の向上を図った。システム概要は以下の通りである。情報システムは5つのサブシステムから構成されており、これらが相互連携して機能することにより、来館者、外部利用者、館職員が利用しやすいように設計されている。

① 収蔵品管理システム

収蔵資料の属性データをデジタル化して一元管理するためのシステムである。データは採集関係、産地関係をはじめとする属性情報だけでなく、当該資料の画像等の管理も行っている。また、一元管理されたデータは、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用している。第5次システムより、使用ソフトウェアはMusetheque V5(富士通製)にバージョンアップされた。ソフトウェア本体は、クライアント常駐からオンラインソフトに変更された。データの安全性とメンテナンス性の向上のため、データについては、第4次システムに引続き、データセンターを利用したクラウド化を踏襲している。また3Dスキャナを導入し、収蔵資料の3次元情報についても蓄積を行っている。このほか3Dプリンタ、4K対応ビデオカメラも導入している。

② 展示情報システム

展示情報システム、来館案内システムの2つからなる。展示の見どころ・クイズ・イベント情報・来館者アンケートが簡単な操作で見られるように構成されており、館内の情報コーナー及び常設展示室内の端末で利用できる。展示の見どころは、当館学芸員が選んだお勧めの展示について紹介している。クイズは、6分野、2段階の難易度を選択することができ、複数設定された設問の中からランダムに5問出題される。来館案内は、博物館エントランスに設置したディスプレイでイベント情報を常時配信している。

③ 図書文献管理システム

館所蔵の図書文献を管理するシステムである。収蔵品管理システムと同様に、一元管理された図書情報は、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用しており、展示情報システム、普及広報システムに反映され、来館者が図書室、情報コーナーに保管している図書をHPから検索できる。収蔵システム同様にデータセンターを利用したクラウド化を行うことで、データの安全性の向上を図っている。

④ 普及広報システム

インターネット上のHPにおいて、イベント、友の会、ボランティア、収蔵資料、図書、博物館実習等の各情報や、施設案内・博物館だよりなどを紹介している。学習用ワークシート、調査報告書、博物館便り(デメテール)は、すべてHPからダウンロードできる。また、イベントや団体・学校利用に関する質問、博物館の資料・展示・研究に関する質問、システム・ホームページに関する質問について、それぞれ電子メールでの対応も行っている。また、より柔軟かつ迅速な情報提供を行うことを目的としてCMSを導入している。

⑤ 学習支援システム

学校から学年単位などの団体で来館し、展示室で課題解決学習を行いたいという要望に応える形で作成したプログラムである。児童・生徒が各コーナーの展示資料の見方や展示場所を展示情報システムの館内端末を使い調べ、実物の資料を観察ながら学習できるシステムである。

6 出版・広報事業

(1) 出版物

① 学術的著作、普及的著作

種類	名 称	規格	頁数	部数
企画展図録	北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～	A4 版カラー	52	500
企画展図録	ツツジとその仲間たち-華麗にして奇妙な一族の話-	A4 版カラー	52	800
研究報告	研究報告 29 号	A4 版一部カラー	152	450

② 広報用印刷物

種類	名 称	規格	頁数	部数
博物館だより	自然史博物館だより「デメテール」No89	A4 版カラー	4	8,000
	自然史博物館だより「デメテール」No90	A4 版カラー	4	8,000
	自然史博物館だより「デメテール」No91	A4 版カラー	4	8,000
ポスター	第 70 回企画展ポスター	B2 版カラー		3,100
	特別展ポスター	B2 版カラー		700
	第 71 回企画展ポスター	B2 版カラー		3,100
企画展・特別展リーフレット	第 70 回企画展	A4 版カラー		62,000
	特別展	A4 版カラー		17,000
	第 71 回企画展	A4 版カラー		64,000
リーフレット	イベントガイド 2024.10～2025.3	A3 版横観音開き 表カラー・裏 1 色		13,000
	イベントガイド 2025.4～2025.9	A3 版横観音開き 表カラー・裏 1 色		13,000

(2) 出版物の主な配布先（研究報告を除く）

群馬県	市町村教育委員会（前橋市・太田市・みどり市・板倉町は、企画展チラシをデジタル配布）、小中学校、高等学校、幼稚園、保育園、大学、短期大学、公民館、道の駅、地元企業、報道機関、ホテル、旅館、観光施設、児童館、病院
埼玉県	小中学校（一部）、公民館（一部）、旅行業者（一部）
東京都	市町村教委（一部）
栃木県	小中学校（足利・佐野地域）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
長野県	小中学校（一部）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
その他	関東近県博物館、同美術館等

(3) 広報（情報発信）・広告・取材

見学予定の団体に対してプロモーション用DVDの貸出を行った。さらに写真・資料を雑誌・広報誌等に提供し、館および企画展を紹介した。

① プロモーション用DVDの貸出

令和6年度貸出件数 0件

② 活字媒体による情報資料掲載

ア 県広報等からの発信（12件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
群馬県	ぐんま広報6年4月号	2024.04.07	企画展「紳士淑女のための鉱物展」
群馬県	ぐんま広報6年5月号	2024.05.05	企画展「紳士淑女のための鉱物展」
群馬県	ぐんま広報6年6月号	2024.06.02	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報6年7月号	2024.07.07	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報6年8月号	2024.08.04	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報6年9月号	2024.09.01	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報6年10月号	2024.10.06	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報6年11月号	2024.11.03	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報6年12月号	2024.12.01	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
群馬県	ぐんま広報7年1月号	2025.01.01	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」
群馬県	ぐんま広報7年2月号	2025.02.02	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」
群馬県	ぐんま広報7年3月号	2025.03.02	企画展「ツツジとその仲間たち-華麗にして奇妙な一族の話-」

イ 上記以外からの発信（122件）

出版社等の名称	掲載誌（紙,web）	発行日（号）	内容
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2024.04.01	企画展「紳士淑女のための鉱物展」
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2024.04.01	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2024.04.01	自然史博物館の紹介
群馬よみうり	タウンぐんま4月第1週号	2024.04.05	企画展「紳士淑女のための鉱物展」の紹介

東京新聞	東京新聞	2024. 04. 05	チョウ・カメムシ新種化石について
じゃらん	じゃらんニュース	2024. 04. 07	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 04. 10	企画展「紳士淑女のための鉱物展」の紹介
NHK 山口支局	NHK	2024. 04. 16	県立山口博物館のヒゲクジラ化石について
中国新聞	中国新聞	2024. 04. 17	県立山口博物館のヒゲクジラ化石について
読売新聞社	読売新聞	2024. 04. 18	企画展「紳士淑女のための鉱物展」の紹介
上毛新聞社	子ども新聞 週刊風っ子	2024. 04. 21	企画展「紳士淑女のための鉱物展」の紹介
コープぐんま	ほっと 2024年5月号	2024. 04. 22	自然史博物館の紹介
毎日新聞社	毎日新聞	2024. 04. 24	チョウ・カメムシ新種化石について
毎日新聞社	毎日新聞	2024. 04. 25	新属新種インカクジラ・フォーダイセイについて
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 04. 25	新属新種インカクジラ・フォーダイセイについて
読売新聞社	読売新聞	2024. 05. 01	山口博物館のヒゲクジラ化石について
日本博物館協会	博物館研究	2024. 05. 01	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2024. 05. 01	自然史博物館の紹介
株式会社群馬よみうり	タウンぐんま 5月第1週号	2024. 05. 03	博物館情報
上毛新聞社	子ども新聞 週刊風っ子	2024. 05. 05	新属新種インカクジラ・フォーダイセイについて
上毛新聞オピニオン	オピニオン 21	2024. 05. 06	クジラ化石（常設展）
長崎新聞	長崎新聞	2024. 05. 08	「空に挑んだ古生物」講演会
読売新聞	ぐんまの美と智	2024. 05. 10	インカクジラ・フォーダイセイの化石
長崎新聞	長崎新聞	2024. 05. 10	恐竜博物館「羽毛恐竜展」監修
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 05. 11	原三角測点
朝日新聞社	朝日新聞	2024. 05. 14	原三角測点
毎日新聞社	毎日新聞	2024. 05. 16	新属新種のイルカ化石
Yahoo! JAPAN	Yahoo! JAPAN ニュース	2024. 05. 16	新属新種のイルカ化石

上毛新聞社	上毛新聞	2024. 05. 17	新属新種のイルカ化石
読売新聞社	読売新聞	2024. 05. 17	新属新種のイルカ化石
朝日新聞社	朝日新聞	2024. 05. 17	新属新種のイルカ化石
東京新聞	東京新聞	2024. 05. 18	新属新種のイルカ化石
山口新聞	山口新聞	2024. 05. 23	ヒゲクジラ化石
下野新聞	下野新聞	2024. 05. 25	新属新種のイルカ化石
毎日新聞社	毎日小学生新聞	2024. 05. 29	新属新種のイルカ化石
読売新聞社	読売新聞	2024. 05. 29	原三角測点
ふらっとろーかる	ふらっとろーかる	2024. 05. 31	博物館情報
株式会社 KADOKAWA	ヨメルバ	2024. 06. 01	博物館情報
富岡市観光協会	富岡市観光ガイド	2024. 06. 01	博物館情報
日本博物館協会	博物館研究	2024. 06. 01	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	子ども新聞 週刊風っ子	2024. 06. 09	「化石ができるまでを調べると」中山由樹夏さんの作文
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 06. 20	原三角測点
上毛新聞社	オピニオン 21	2024. 06. 30	時超えたつながり実感
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2024. 07. 01	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
富岡行政県税事務所	かんな・かぶら∞ぐるぶらの旅スタンプラリー2024	2024. 07. 01	博物館情報
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2024. 07. 01	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2024. 07. 01	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2024. 07. 01	自然史博物館の紹介
株式会社 JTB パブリッシング	るるぶ Kids	2024. 07. 03	博物館情報
上毛新聞	上毛新聞	2024. 07. 05	博物館でのデジタルアーカイブの取り組みについて
読売新聞社	読売新聞	2024. 07. 12	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
読売新聞	ぐんまの美と智	2024. 07. 12	ホッキョクグマ

BIRDER 編集部	BIRDER 8月号	2024. 07. 16	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
GB 楽天トラベル	楽天トラベル	2024. 07. 19	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 07. 21	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
(一財) 日本鯨類 研究所	くじらタウン	2024. 07. 31	博物館情報
日本博物館協会	博物館研究	2024. 08. 01	自然史博物館の紹介
株式会社群馬よみ うり	タウンぐんま 8月第2週号	2024. 08. 09	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
上毛新聞社	オピニオン 21	2024. 08. 15	標本の意味と価値発信
富岡市観光交流課	富岡市観光交流課発行パン フレット	2024. 09. 01	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2024. 09. 01	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協 会	全科教 News	2024. 09. 01	自然史博物館の紹介
読売新聞社	ぐんまの美と智	2024. 09. 20	アンフィコティルス・マイルシ の化石
株式会社 群馬毎 日広告社	毎日新聞	2024. 09. 28	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
株式会社 元裕社	ハロートラベル群馬	2024. 09. 30	博物館情報
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・ インフォメーション	2024. 10. 01	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
株式会社中広	まま・ここっと	2024. 10. 01	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
日本博物館協会	博物館研究	2024. 10. 01	自然史博物館の紹介
学研出版	地球の歩き方 群馬 2025 ～2026	2024. 10. 03	博物館情報
株式会社群馬よみ うり	タウンぐんま 10月第1週 号	2024. 10. 04	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
朝日新聞	朝日新聞	2024. 10. 08	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 10. 14	真鍋特別館長「恐竜フェスタ」 に登壇
上毛新聞社	オピニオン 21	2024. 10. 17	「未経験」に出会い心豊か
GOODLUCKTRIP	GOOD LUCK TRIP ホームペ ージ	2024. 10. 18	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 10. 18	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」
上毛アドシステム	上毛新聞	2024. 10. 18	企画展「北極と南極～いきもの たちがめぐる海と陸～」

関東地区博物館協会	関東地区博物館協会加盟館園 MAP	2024. 10. 31	自然史博物館の紹介
富岡市観光協会	ぐんましるべ	2024. 11. 01	博物館情報
日本博物館協会	博物館研究	2024. 11. 01	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2024. 11. 01	自然史博物館の紹介
群馬県議会	群馬県議会だより第 102 号	2024. 11. 03	企画展「北極と南極～いきものたちがめぐる海と陸～」
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 11. 14	自然史博物館の収蔵庫について
読売新聞社	読売新聞	2024. 11. 15	第 68 回日本学生科学賞の県審査結果
富岡市世界遺産部観光交流課	旅めぐり	2024. 11. 20	博物館紹介
株式会社群馬よみうり	タウンぐんま	2024. 11. 22	自然史博物館の紹介
株式会社群馬よみうり	タウンぐんま 11 月第 4 週号	2024. 11. 22	博物館情報
株式会社中広	まま・ここっと	2024. 12. 01	ビデオ上映会情報照会
日本博物館協会	博物館研究	2024. 12. 01	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 12. 01	企画展「北極と南極」観覧者 10 万人達成
読売新聞	ぐんまの美と智	2024. 12. 06	古中之条湖の地層はぎとり標本
上毛新聞社	上毛新聞 JOMotto	2024. 12. 14	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	オピニオン 2 1	2024. 12. 14	支え合いの世界 理解を
読売新聞社	読売新聞	2024. 12. 15	第 68 回日本学生科学賞 審査員名前掲載
株式会社群馬よみうり	タウンぐんま	2025. 01. 01	特別展「ぐんまの自然の「いま」を伝える」
富岡市	すくすくおとみっこガイド	2025. 01. 04	博物館紹介
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2025. 01. 04	特別展
日本博物館協会	博物館研究	2025. 01. 04	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2025. 01. 04	自然史博物館の紹介
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2025. 01. 07	自然史博物館の紹介
たびらい	たびらい	2025. 01. 10	博物館紹介

昭文社	まっふる群馬 2026	2025. 01. 15	自然史博物館の紹介
株式会社群馬よみ うり	タウンぐんま 1月第3週号	2025. 01. 17	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」
読売新聞社	読売新聞	2025. 01. 30	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」
日本博物館協会	博物館研究	2025. 02. 01	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 02	インディアナポリス子ども博物館交流事業 WS「Dino Traits」
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 02	特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 02	群馬デジタルミュージアムロード
株式会社 JTB パブリッシング	るるぶこどもとあそぼ!首都圏'26	2025. 02. 06	博物館情報
上毛新聞社	オピニオン 2 1	2025. 02. 11	地球上のつながり意識
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 12	真鍋真特別館長特別講演会
読売新聞社	ぐんまの美と智	2025. 02. 14	カエンタケについて
上毛新聞社	上毛新聞 JOMotto	2025. 02. 27	哺乳類ランキングへの協力
日本博物館協会	博物館研究	2025. 03. 01	自然史博物館の紹介
全国科学博物館協会	全科教 News	2025. 03. 01	自然史博物館の紹介
じゃらん	じゃらんニュース	2025. 03. 11	自然史博物館紹介
株式会社博進堂	卒業アルバム・重大ニュース 4月の記事	2025. 03. 13	インカクジラ・フォーダイセイ
株式会社群馬よみ うり	タウンぐんま 3月第2週号	2025. 03. 14	企画展「ツツジとその仲間たちー華麗にして奇妙な一族の話ー」
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 03. 17	観覧者 500 万人達成セレモニー
読売新聞社	読売新聞	2025. 03. 18	観覧者 500 万人達成セレモニー
朝日新聞	朝日新聞	2025. 03. 25	自然史博物館紹介
ケーブルテレビ株式会社	ふらっとろーかる	2025. 03. 28	企画展「ツツジとその仲間たちー華麗にして奇妙な一族の話ー」
株式会社 KADOKAWA	ファミ通. com	2025. 03. 31	SEGA「ツーポイントミュージアム」高桑係長取材協力

③ 電波媒体による情報発信

ア 県広報等からの発信（11件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
市川光早	いせさき FM	まん中・ぐんま 元気情報	高校生学芸員オープンラボ	2024. 04. 18
市川光早	いせさき FM	まん中・ぐんま 元気情報	高校生学芸員オープンラボ	2024. 04. 18
綾小路淳裕	いせさき FM	まん中・ぐんま 元気情報	企画展「北極と南極～いきものた ちがめぐる海と陸～」	2024. 07. 18
綾小路淳裕	ラジオ高崎	群馬県からのお 知らせ	企画展「北極と南極～いきものた ちがめぐる海と陸～」	2024. 08. 14
田中佑典	いせさき FM	まん中・ぐんま 元気情報	企画展講演会・ワークショップ	2024. 08. 19
綾小路淳裕	ラジオ高崎	群馬県からのお 知らせ	企画展「北極と南極～いきものた ちがめぐる海と陸～」	2024. 10. 02
田中佑典	いせさき FM	まん中・ぐんま 元気情報	特別展	2025. 01. 30
市川光早	エフエム群馬	ぐんま情報トッ ピング	企画展「ツツジとその仲間たちー 華麗にして奇妙な一族の話ー」	2025. 03. 13
市川光早	ラジオ高崎	群馬県からのお 知らせ	企画展「ツツジとその仲間たちー 華麗にして奇妙な一族の話ー」	2025. 03. 14
市川光早	エフエム群馬	ぐんま情報トッ ピング	企画展講演会「ツツジ属の世界」	2025. 03. 18
市川光早	いせさき FM	まん中・ぐんま 元気情報	企画展「ツツジとその仲間たちー 華麗にして奇妙な一族の話ー」	2025. 03. 24

イ 上記以外からの発信（15件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
高栞祐司	ラジオ高崎	エアプレイス	化石について	2024. 04. 19
木村敏之	テレビ朝日	報道ステーショ ン	インカクジラ・フォーダイセイ化 石について	2024. 04. 26
木村敏之	NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	インカクジラ・フォーダイセイ化 石について	2024. 05. 02
木村敏之	群馬テレビ	ニュース JUST6 ・ニュース eye8	インカクジラ・フォーダイセイの 化石について	2024. 05. 02
高栞祐司	ラジオ高崎	エアプレイス	化石について	2024. 06. 28
姉崎智子	NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	企画展「北極と南極」について	2024. 07. 26
姉崎智子	群馬テレビ	ニュース JUST6 ・ニュース eye8	企画展「北極と南極」について	2024. 08. 16
高栞祐司	ラジオ高崎	エアプレイス	研究者とはどんな人なのか	2024. 08. 16
再放送	NHK	ダーウィンが来 た	博物館展示標本について	2024. 08. 18

職員	NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	タイトルコール	2024. 08. 20
高栞祐司	ラジオ高崎	エアプレイス	インディアナポリス子ども博物館 について・化石について	2024. 10. 25
大森威宏	NHK	さわやか自然百 景「尾瀬 秋」	尾瀬の植物について	2024. 12. 01
菅原久誠	読売テレビ	所さんの目がテ ン!	鉱物について	2024. 12. 08
職員	群馬テレビ	ニュース eye8	観覧者 500 万人達成セレモニー	2025. 03. 16
大森威宏	NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	企画展「ツツジとその仲間」	2024. 03. 19

④ 取材対応（36件）

出版社等 の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内 容
読売新聞社	読売新聞	2024. 04. 18	原三角測点について（4. 2）
上毛新聞社	週刊風っ子	2024. 04. 21	企画展「紳士淑女のための鉱物展」につ いて（4. 7）
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 04. 10	企画展「紳士淑女のための鉱物展」につ いて（4. 9）
中国新聞社	中国新聞	2024. 04. 14	県立山口博物館のヒゲクジラ化石につい て（4. 17）
NHK 山口支局	NHK 山口	2024. 04. 16	県立山口博物館のヒゲクジラ化石につい て（4. 16）
朝日新聞社	朝日新聞	2024. 05. 14	原三角測点について（4. 24）
テレビ朝日	報道ステーシ ョン	2024. 04. 26	インカクジラ・フォーダイセイの化石に ついて（4. 25）
NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	2024. 05. 02	インカクジラ・フォーダイセイの化石に ついて（5. 1）
群馬テレビ	ニュース JUST6 ・ニュース eye8	2024. 05. 02	インカクジラ・フォーダイセイの化石に ついて（5. 1）
栃木テレビ	栃木テレビ	確認できず	ヨウスコウカワイルカ化石について （5. 18）
山口新聞	山口新聞	2024. 05. 23	県立山口博物館のヒゲクジラ化石につい て（5. 17）
下野新聞	下野新聞	2024. 05. 26	ヨウスコウカワイルカ化石について （5. 24）
くじらタウン	くじらタウン WEB	2024. 07. 31	クジラについて（7. 4）
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 07. 05	博物館でのデジタルアーカイブの取り組 みについて（6. 5）
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 07. 21	企画展「北極と南極」について（7. 20）
NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	2024. 07. 26	企画展「北極と南極」について（7. 26）

群馬テレビ	ニュース JUST6 ・ニュース eye8	2024. 08. 16	企画展「北極と南極」について(8. 16)
読売新聞社	読売新聞社	令和 7 年度掲載	神流町「足あと」化石について(11. 7)
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 11. 14	自然史博物館の収蔵庫について(8. 26)
読売新聞社	読売新聞社	令和 7 年度掲載	神流町「足あと」化石について (2. 21)
読売テレビ	所さんの目が テン!	2024. 12. 08	鉱物について(11. 14)
上毛新聞社	上毛新聞 JOMotto	2024. 12. 24	自然史博物館について(11. 27)
上毛新聞社	上毛新聞	2024. 12. 01	企画展「北極と南極」観覧者 10 万人セ レモニー(11. 30)
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 02	特別展について(1. 18)
読売新聞社	読売新聞	2025. 01. 30	特別展について(1. 26)
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 02	インディアナポリス子ども博物館連携事 業 WS について(2. 1)
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 02. 12	真鍋真特別館長特別講演会について (2. 11)
上毛新聞社	上毛新聞 JOMotto	2025. 02. 27	哺乳類ランキングへの協力(2. 13)
上毛新聞社	上毛新聞	確認できず	企画展「ツツジとその仲間」(3. 16)
読売新聞社	読売新聞	確認できず	企画展「ツツジとその仲間」(3. 16)
上毛新聞社	上毛新聞	2025. 03. 17	観覧者 500 万人達成セレモニー(3. 16)
読売新聞社	読売新聞	2025. 03. 18	観覧者 500 万人達成セレモニー(3. 16)
群馬テレビ	ニュース eye8	確認できず	観覧者 500 万人達成セレモニー(3. 16)
NHK 前橋放送局	ほっとぐんま 630	2025. 03. 22	企画展「ツツジとその仲間」(3. 18)
ファミ通編集部	ファミ通.com	2025. 03. 30	ツーポイントミュージアム(3. 23)
上毛新聞社	上毛新聞 JOMotto	2025. 04. 03	山について(3. 30)

(4) 書籍・雑誌記事の執筆、監修

自然史科学の普及ならびに当館の広報を目的として、「群馬県立自然史博物館」名義で、2023（令和 5）年度未記載分ならびに 2024（令和 6）年度分は以下の書籍・雑誌記事の監修を実施した。

書籍・執筆

- ・本年度は該当無し。

書籍・監修

- ・「も～っと恐竜・古生物ビフォー・アフター」
著者：土屋 健
絵：ツク之助
出版社：イースト・プレス
ページ数：192 ページ
発行日：2023 年 6 月 20 日
- ・「くらべてみたらすごかった！動物の今と昔ずかん（見る知る考えるずかん）」
著者：土屋 健
イラスト：かわさき しゅんいち
出版社：ほるぷ出版
ページ数：128 ページ
発行日：2024 年 12 月 19 日

(5) tsulunos から配信した動画（2件）

公開日	タイトル	動画リンク
2024. 10. 29	生命を育み 海水を大循環させる 極地の氷（期間限定公開）	https://x.gd/kfWOr
2025. 3. 8	3分でわかる自然史博物館	https://x.gd/7dUkF

(6) HP及びSNSからの情報発信

- ①HP（開設年：1997.6）
 - ・HPアクセス数（Total Visits）：1,153,064 件（令和7年3月31日現在）
- ②Facebook（開設年：2015.4）
 - ・いいね！数：1,497（令和7年3月31日現在）
- ③X（開設年：2020.8）
 - ・フォロワー数：3,675（令和7年3月31日現在）
- ④Instagram（開設年：2021.7）
 - ・フォロワー数：1,946（令和7年3月31日現在）

(7) 雑誌（記事等）・監修

- ・本年度は該当無し

7 ボランティア等支援活動

(1) ボランティア活動

① ボランティア登録状況

活動者	休止者	新規登録者	合計	辞退者(令和6年度に対し)
73名	7名	8名	88名	10名

② ボランティア活動状況 (登録人数は重複あり)

分野	登録人数	延活動回数
イベント	43名	411
資料整理	35名	405
発送	19名	36
天文・天体	9名	27
合計	91名	879

*イベントには、高校生ボランティアの活動58回を含む。

③ ボランティア研修会

ボランティアの基礎知識向上と生涯教育の一環、ボランティアと職員との交流をねらいとして、研修会を実施した。

テーマ	講師	日時	参加者
群馬県の市町村植物相はどこまでわかったか?	大森 威宏 (生物研究係)	令和6年9月22日(日)	20
展示室から新たな発見へ： 新種になったクジラ化石	木村 敏之 (生物研究係)	令和7年1月13日 (月・祝)	22
群馬県自然史博物館から 始める最新恐竜学	真鍋 真 (特別館長)	令和7年2月11日 (火・祝)	25
長谷川善和名誉館長、化石を語る2025	長谷川善和 (名誉館長)	令和7年3月16日 (日)	21

④ ボランティア全体会

ボランティア全体会を1回実施した。内容は、次年度の博物館ボランティアの組織編成と振り返り、新規ボランティアの登録式を行った。

日時	令和7年3月16日(日) 10:30~12:00
参加人数	35
場所	博物館学習室

(2) 友の会

① 令和6年度会員数 396名

<内 訳>

個人会員	49名
家族会員	90家族
賛助会員	3

② 総会・講演会

タイトル	鎚川の石のふるさと、自然史博物館開設こぼれ話
講師	中島 啓治 (ぐんま地質・岩石研究会、元 群馬県立自然史博物館 副館長)
日時	5月3日(金・祝)
参加者	20名

③ 友の会博物館等視察研修会

場所	国立科学博物館・上野動物園
日時	11月24日(日)
参加者	38名

④ フィールド活動・体験活動

タイトル	講師	日時	参加者
鎚川で『鎚川の石の博物館』を作ろう！	中島啓治、黛 勝司(ぐんま地質・岩石研究会)	5月3日(金・祝)	14名
動物の骨を観察してみよう	姉崎智子(群馬県自然史博物館 生物研究係)	9月16日(月・祝)	27名
きのこを探して孢子を見てみよう	伊藤智史(群馬県立自然史博物館生物研究係)	10月19日(土)	12名

⑤ 友の会通信

発行号	第46号
発行日	令和7年2月1日(土)
編集委員会	令和6年10月28日(月)、令和7年1月11日(土)
場所	博物館実験室及び会議室
発行部数	1000部

(3) 標本レスキュー活動

令和6年度は応援実績なし。

Ⅲ 資料

1 職員の委員会等委員就任状況

職・氏名	名 称	依頼先	自治 体等	学会 等	博物 館等	期 間
名誉館長 長谷川善和	埼玉県立自然の博物館 資料評価委員会委員	埼玉県立自然の博物館			○	
	日本蛇族学術研究所 理事	日本蛇族学術研究所		○		
	飯田市美術博物館 顧問	長野県飯田市			○	
	日本洞窟学研究所 理事	岩手県岩泉町		○		
館長 藤巻 薫	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会	群馬県農政部	○			R4.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討 委員会	群馬県農政部	○			R4.4.1～
	群馬県ニホンザル適正管理検討会	群馬県農政部	○			R4.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討会	群馬県農政部	○			R4.4.1～
	群馬県ニホンジカ適正管理検討会	群馬県農政部	○			R4.4.1～
地学研究係長・ (学芸員) 高菜祐司	ジオパーク下仁田協議会・委員	下仁田町	○			H22.3.2～
	ジオパーク下仁田協議会・学術部会長	下仁田町	○			H27.4.1～
	自然史学会連合・博物館部会委員	自然史学会連合		○		H22.1.1～
	化石研究会・事務局長	化石研究会		○		H24.6.9～
	日本古生物学会・評議員	日本古生物学会		○		R01.6～
	桂石文化振興財団・評議員	桂石文化振興財団			○	R01.12.16 ～
	教科用図書検定調査審議会専門委員	文部科学省	○			R05.4.1～ R07.3.31
補佐(生物研究 係長)(学芸員) 木村敏之	「全国的な自然史系標本 セーフティネット構築」運営委員	国立科学博物館			○	H23.9.10～
	化石研究会・事務局	化石研究会		○		H24.6.9～
	富岡学アドバイザー	富岡学実行委員会(富 岡市)	○			R4.4～
主 幹 大森威宏	前橋市自然環境保全推進委員長	前橋市生活環境部	○			H17.4.1～
	みなかみ BR 科学委員会委員	みなかみ町	○			R1.7.2～
	群馬県尾瀬保護専門委員	群馬県知事	○			H23.4.1～
	希少野生動植物種保存推進員	環境省	○			R4.4.1～
	すげの会幹事	すげの会		○		H20.5.7～
	東北植物研究編集委員	東北植物研究会		○		H25.12～
	環境省尾瀬・日光国立公園ニホンジカ 対策広域協議会アドバイザー	環境省関東地方環境事 務所	○			H30.4.1～
	国土交通省河川環境アドバイザー	国土交通省高崎河川国 道事務所・利根川ダム 統合管理事務所	○			H29.4.1～
	群馬県自然環境行政のあり方検討ワ ーキンググループ	群馬県自然環境課長	○			R4.3～
	群馬県自然環境研究調査会 会員／報告書編集委員	群馬県環境森林部	○			H26.11.8～

主幹(学芸員) 姉崎智子	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会、 専門部会	群馬県農政部	○		H25.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討 会、専門部会	群馬県農政部	○		H25.4.1～
	群馬県ニホンザル適正管理検討会、 専門部会	群馬県農政部	○		H25.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討 会、専門部会	群馬県農政部	○		H25.4.1～
	群馬県ニホンジカ適正管理検討会、専 門部会	群馬県農政部	○		H25.4.1～
	環境省鳥獣保護管理調査コーディネ ーター	環境省自然環境局	○		H22.6.17～
	日本哺乳類学会 種名・標本委員会委 員	日本哺乳類学会		○	H23.11～
	日本哺乳類学会 イノシシ部会委員	日本哺乳類学会		○	H25.9.6～
	日本哺乳類学会 ツキノワグマ部会委 員	日本哺乳類学会		○	R3.9～
	日本哺乳類学会 カモシカ部会委員	日本哺乳類学会		○	H28.9～
	文化庁全国カモシカ調査指導委員	文化庁	○		H27.4～
	河川課審議懇談会	群馬県河川課	○		H28.4～
	藤岡市文化財審議委員	藤岡市教育委員会	○		H28.4～
	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	○		H26.4～
	全国鳥類繁殖分布調査委員	日本鳥類学会		○	H28.4～
	全国鳥類繁殖分布調査・統計処理委 員	日本鳥類学会		○	H28.4～
	群馬県自然環境調査研究会会員	群馬県環境森林部	○		H27.4.1～
	伊勢崎市史編さん	伊勢崎市	○		R5.4～
	桐生市史編さん	桐生市	○		R5.4～
	主幹(学芸員) 菅原久誠	日本地学教育学会誌「みんなの地学」 編集委員会委員	日本地学教育学会		○
日本地学教育学会常務委員		日本地学教育学会		○	R3.8.21～
日本地学教育学会評議員		日本地学教育学会		○	R6.8.17～
社会地質学会評議員		社会地質学会		○	R6.7.1～
日本ジオパーク委員会委員		日本ジオパーク委員会		○	R3.4.1～
Asia Pacific Geoparks Network Advisory Committee (アジア太平洋ジ オパークネットワーク諮問委員会)委員		Asia Pacific Geoparks Network		○	R4.9.6～
糸魚川ユネスコ世界ジオパーク アドバイザー		糸魚川市	○		R3.12.1～
日本ユネスコ国内委員会委員		文化庁	○		R6.12.1～
日本ユネスコ国内委員会科学小委員 会委員		文化庁	○		R6.12.1～
日本ユネスコ国内委員会人間と生物 圏(MAB)計画分科会委員		文化庁	○		R7.2.25～
第33期オピニオン委員		上毛新聞社			R6.9.24～

2 職員のアウトリーチ等の状況

(1) 講師派遣

名称	主催者	期日	派遣職員
春季企画展「羽毛恐竜」監修	ベネックス恐竜博物館 (長崎市恐竜博物館)	R6.3.23-5.26	高栞祐司
講演会「空にいどんだ古生物」	ベネックス恐竜博物館 (長崎市恐竜博物館)	R6.5.6	高栞祐司
大迫力のティラノサウルス・ワールド 2024 恐竜講演会 「ティラノサウルス～その進化と生活～」	さいたま市 青少年宇宙科学館	R6.6.16	高栞祐司
「バッドランドの恐竜たち～北アメリカの1億年～」ワニ類・アンフィコティルス全身骨格 ・列品等指導	福井県立恐竜博物館	R6.7.4-7.5	高栞祐司
「巨大恐竜展 2024」 恐竜アマルガサウルス全身骨格・列品等指導	福井県立恐竜博物館 (パンフィコ横浜)	R6.7.7	高栞祐司
夏の企画展「翼竜と恐竜、そして飛行機まで」 翼竜アンハンクエラ全身骨格・列品等指導	ベネックス恐竜博物館 (長崎市恐竜博物館)	R6.7.13-7.15	高栞祐司
夏期特別展「BIG s ～丹波竜と竜脚類の進化～」 恐竜カマラサウルス幼体全身骨格・列品等指導	丹波市立丹波竜化石工房	R6.7.18	高栞祐司
出前なんでも講座 「せきつい動物の進化～恐竜を中心に～」	富岡市・一ノ宮 地域づくりセンター	R6.8.23	高栞祐司
特別展「ポケモン化石博物館」関連講演会 「サメ化石研究最前線」	岐阜県博物館	R6.8.25	高栞祐司
「巨大恐竜展 2024」 恐竜アマルガサウルス全身骨格・解体等指導	福井県立恐竜博物館 (パンフィコ横浜)	R6.9.16	高栞祐司
夏期特別展「BIG s ～丹波竜と竜脚類の進化～」 恐竜カマラサウルス幼体全身骨格・解体等指導	丹波市立丹波竜化石工房	R6.9.24	高栞祐司
夏の企画展「翼竜と恐竜、そして飛行機まで」 翼竜アンハンクエラ全身骨格・解体等指導	ベネックス恐竜博物館 (長崎市恐竜博物館)	R6.9.27-9.29	高栞祐司
特別展「鳥」古生物標本・列品等指導	国立科学博物館 ・日本経済新聞社	R6.10.25	高栞祐司
「バッドランドの恐竜たち～北アメリカの1億年～」ワニ類・アンフィコティルス全身骨格 ・解体等指導	福井県立恐竜博物館	R6.11.3-11.5	高栞祐司
巡回展「ポケモン化石博物館」 恐竜アマルガサウルス全身骨格・列品等指導	福井県立恐竜博物館	R7.3.4-3.6	高栞祐司
谷川岳エコツアーリズム インタープリター養成講座	みなかみ町	R6.8.21	大森威宏
群馬県自然保護指導員講習会	群馬県自然環境課	R6.6.20	大森威宏
渋川地区自然保護指導員講習会	群馬県渋川森林事務所	R6.10.11	大森威宏
尾瀬ボランティア研修会	尾瀬保護財団	R6.6.28	大森威宏

International dendrology society エクスカーション講師 (赤城山・榛名山分)	International dendrology society	R6.10. 1-2	大森威宏
軽井沢サクラソウ会議発地地区研修会講師	軽井沢サクラソウ会議	R6.5.10, 9.13	大森威宏
出前なんでも講座 「ぐんまに海があったころ」	藤岡市立西中学校	R6.5.29	木村敏之
出前なんでも講座 「ぐんまに海があったころ」	さわやか教室 玉村町生涯学習課	R6.7.10	木村敏之
出前なんでも講座 「ぐんまに海があったころ」	前橋文京地区「生きがい塾」	R6.9.12	木村敏之
吉井町の化石について	高崎市立岩平小学校	R6.10.10	木村敏之
自然史講座「展示室から新たな発見へ～新種になったクジラ化石～」	群馬県立自然史博物館	R6.10.13	木村敏之
博物館ボランティア研修「展示室から新たな発見へ～新種になったクジラ化石～」	群馬県立自然史博物館	R7.1.13	木村敏之
令和6年度富岡学「富岡に海があった頃」講師	富岡市生涯学習センター 富岡学実行委員会	R6.1.26	木村敏之
磯観察会「磯の生き物を観察しよう」	ミュージアムパーク茨城県自然博物館、自然ラボ	R6.5.25 R6.6.8	姉崎智子
伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館歴史文化講座「動物と人間の関係史」	伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館	R6.6.30	姉崎智子
博物館実習	麻布大学	R6.8.30	姉崎智子 長屋昌恵
前橋市鳥獣被害対策実施隊員対象研修会 「クマ（又はシカ）に関する調査結果について」	鳥獣被害対策支援センター	R6.11.5	姉崎智子
谷川岳エコツアーリズム インタープリター養成講座	みなかみ町	R6.11.16	菅原久誠

(2) 論文査読

名 称	主 催 者	期 日	派遣職員
論文査読：Paleontological Research	日本古生物学会	R6.4	木村敏之
論文査読：愛媛大学理学部紀要	愛媛大学理学部	R6.4	木村敏之
論文査読：人と自然	兵庫県立人と自然の博物館	R6.4	木村敏之
論文査読：Geodivertitas	Muséum national d'Histoire naturelle	R6.5	木村敏之
論文査読：Paleontological Research	日本古生物学会	R6.5	木村敏之
論文査読：Mammal Study	日本哺乳類学会	R6.6	木村敏之
論文査読：Mammal Study	日本哺乳類学会	R6.7	木村敏之
論文査読：化石研究会会誌	化石研究会	R6.8	木村敏之
論文査読：Marine Mammal Science	Society for Marine Mammalogy	R6.10	木村敏之
論文査読：Aquatic Mammals	Aquatic Mammals	R7.1	木村敏之
論文査読：Life	MDPI	R7.2	木村敏之

(3) その他

名 称	主 催 者	期 日	派遣職員
「良好な自然環境を有する 地域学術調査研究報告書」編集	群馬県環境森林部 自然環境課	R7.1.25	高栗祐司
第4回国際シーラカンスシンポジウム 運営スタッフ	アクアマリンふくしま (ふくしま海洋科学館) (於 城西大学 紀尾井町キャンパス)	R7.1.11-12	高栗祐司
Session“Hidden Potential of Paleontology on Asia's Eastern Margin”, Co-organizer	5 th Palaeontological Virtual congress (online)	R7.3.10-3.25	高栗祐司
巡回展「ポケモン化石博物館」 制作・展示・運営協力	国立科学博物館、御船町 恐竜博物館、岐阜県博物 館、防府市青少年科学館 ソラール、福井県立恐竜 博物館	R5.12.19- R7.3.31	高栗祐司
環境省モニタリングサイト 1000 水生植物調査 (赤 城大沼サイト) 調査結果公表 (サイト責任者)	国際湿地連合	R7.3	大森威宏
鐮川土地改良区水路改修事業に伴うヒアリング調 査及び希少種保全への助言	農林水産省・請負事業者	R6.10~12	大森威宏
すげの会海外学会等参加助成金審査	すげの会	R6. 7	大森威宏

3 職員の論文発表等

(1) 自然史科学的調査研究論文等

職・氏名	論 題	発 表 誌	査 読	発 表 年
名誉館長 長谷川善和	下北半島尻屋崎地域産アカオオカミとタイリクオオカ ミ化石 (長谷川善和・木村敏之・松岡廣繁・甲能直樹 ・川谷文子)	群馬県立自然 史博物館研究 報告 (29):1-22	○	2025
地学研究係長 (学芸員) 高栗祐司	群馬県南西部に分布する安中層群板鼻層(上部中新統) から産出したカマス属化石(高栗祐司)	群馬県立自然 史博物館研究 報告 (29):23- 31	○	2025
	群馬県高崎市の安中層群原市層より新たな <i>Kentriodon nakajimai</i> 標本の産出(木村敏之・高栗祐司)	群馬県立自然 史博物館研究 報告 (29):81- 85	○	2025
補佐(生物研究 係長)(学芸員) 木村敏之	群馬県高崎市の安中層群原市層より新たな <i>Kentriodon nakajimai</i> 標本の産出(木村敏之・高栗祐司)	群馬県立自然 史博物館研究 報告 (29):81- 85	○	2025
	下北半島尻屋崎地域産アカオオカミとタイリクオオカ ミ化石 (長谷川善和・木村敏之・松岡廣繁・甲能直樹 ・川谷文子)	群馬県立自然 史博物館研究 報告 (29):1-22	○	2025

	静岡県御前崎市の中新統相良層群よりヒゲクジラ類化石の産出 (木村敏之・西岡佑一郎)	東海自然史 (18):47-53	○	2025
主幹 大森威宏	種組成のネスト構造を考慮した指標種による生物多様性評価手法 (高川晋一・角谷 拓・石井 実・石濱史子・植田睦之・大森威宏・尾崎煙雄・片山直樹・北沢宗大・中村康弘・平井規央・横川昌史)	保全生態学研究, https://doi.org/10.18960/hozen.2410	○	2025
	軽井沢町において確認された長野県新産国外外来種オオカナダオトギリ <i>Hypericum majus</i> (A.Gray) Britton (大森威宏・藤田淳一)	長野県植物研究会誌, 57: 101-102	○	2024
	尾瀬におけるニホンイノシシによる植生攪乱の現状	尾瀬の自然保護, 47: 1-4.		2025
	尾瀬地域における気候変動の影響—2023年の猛暑・晩霜がヤチヤナギに与えた影響— (大森威宏)	尾瀬の自然保護, 47: 49-54.		2025
	尾瀬の移入植物のモニタリング調査—尾瀬におけるブタナ <i>Hypochaeris radicata</i> の記録とモニタリング— (大森威宏)	尾瀬の自然保護, 47: 55-56.		2025
	尾瀬の植生と植物相 29 — 外田代とその周辺の湿原植生— (鈴木伸一, 片野光一, 吉井広始, 大森威宏)	尾瀬の自然保護, 47: 31-39.		2025
	尾瀬地域における気候変動の影響 (予報) —小至仏山東面上部における植生の観察を通して— (鈴木伸一, 片野光一, 吉井広始, 大森威宏)	尾瀬の自然保護, 47: 41-47.		2025
主幹 (学芸員) 姉崎智子	Genetic Diversity and Population Structure of the Japanese Serow (<i>Capricornis crispus</i>) in Gunma Prefecture Based on Mitochondrial DNA Control Region Sequences (Kazuaki Tanaka, Mei Nagatomo, Riki Oouchi, Masato Minami, Koh Nomura, Shingo Kaneko, Yuji Isagi, Jyun-ichi Kitamura, Hideki Noguchi, Tomoko Anezaki)	Zoological Science, 42(2): 153-164	○	2025
	ハンボソミズナギドリ <i>Ardenna tenuirostris</i> の群馬県初記録 (清水伸彦・姉崎智子・坂庭浩之)	群馬県立自然史博物館研究報告 (29): 119-121.	○	2025
	群馬県赤城山で捕獲されたニホンジカの受胎時期と出産時期について (姉崎智子)	群馬県立自然史博物館研究報告 (29): 129-131.	○	2025
	群馬県桐生市梅田地区におけるシカライトセンサス調査について (寺内 浩・姉崎智子)	群馬県立自然史博物館研究報告 (29): 133-134.	○	2025
	玉原高原 (群馬県) の好雪性変形菌 (予報) (姉崎智子・上辰俊広・剣持美穂・木暮直巳・小林 薫・古見満雄・林 徳一)	群馬県立自然史博物館研究報告 (29): 143-145.	○	2025

	第6回標本集会「博物館施設の標本製作の現状と課題」「群馬県立自然史博物館における検体収集、標本化、収蔵の現状と課題」	日本鳥学会：		2025
	シカの生息状況が哺乳類相に与える影響調査（ <u>姉崎智子</u> ）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, 50,		2024
主幹（学芸員） 菅原久誠	天丸山県自然環境保全地域 地形・地質	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, 50: 35-38.		2024

(2) 博物館学的調査研究論文等

職・氏名	論 題	発 表 誌	査 読	発表年
補佐(生物研究係長)(学芸員) 木村敏之	自然史博物館における新説と展示について —群馬県立自然史博物館における事例紹介	博物館研究 59(9):14-17		2024

(3) 学会等発表

職・氏名	発 表 題 目	学 会 名 等	分 野	発表年
地学研究係長 (学芸員) 高栗祐司	Research perspectives for the Cenozoic chondrichthyan fossils in the Western Pacific region (Yuji TAKAKUWA)	2024「臺灣古生物新展望」國際學術檢討會（於臺南市立圖書館新總館） New prospect on the Paleontological Research in Taiwan	古脊椎動物	2024.9.11
	ネオケラトプシア類の進化で起こった上顎における血管神経管形態の変化（坂根広大・賀一鳴・田上響・ <u>高栗祐司</u> ・多田誠之郎・河部壮一郎）	日本古生物学会第174回例会（於オンライン）	古脊椎動物	2025.1.25
補佐 (生物研究係長)(学芸員) 木村敏之	群馬県安中市の富岡層群原田篠層より産出したマッコウクジラ類化石(<u>木村敏之</u>)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会2024（於群馬県立自然史博物館）ポスター	古脊椎動物	2025.1
主幹 大森威宏	群馬県及び県境域に分布するスゲ属ヒメスゲ節植物（ <u>大森威宏</u> ）	すげの会第33回千葉大会（於我孫子）	維管束植物	2024.5.11
	浅間山麓のアザミ（ <u>大森威宏</u> ）	第1回地域フロラ談話会（於豊橋）	維管束植物	2024.6.2

	群馬県沼田市の溜池に野生化したアクアリウム由来と考えられる水草 (大森威宏)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 (於群馬県立自然史博物館)	維管束植物	2025.1.
主幹(学芸員) 姉崎智子	第 6 回標本集会「博物館施設の標本製作の現状と課題」(加藤ゆき・姉崎智子・秋山幸也・岩見恭子・小林さやか)	日本鳥学会 (於 東京)	鳥類	2024.9.13-16
	ニホンカモシカの新規 Y 染色体 STR マーカー開発(田中 和明, 姉崎 智子, 北村 淳一, 田村香里, 野口 英樹)	日本動物学会 (於 長崎)	陸生哺乳類	2024 9.12-14
	群馬県立自然史博物館収蔵標本から見た胃石を持つ鳥の概要とハト類の胃石(清水伸彦・姉崎智子)	日本鳥学会 (於 東京)	鳥類	2024.9.13-16
	ddRAD-seq 法を用いたハクビシン日本集団の遺伝的地域変異と分布拡大の歴史(小松奈菜, 遠藤優, 山崎晃司, 姉崎智子, 谷地森秀二, 落合啓二, 小沼仁美, 鈴木和男, 白石俊明, 金子弥生, 永野惇, 西田義憲, 増田隆一)	日本哺乳類学会 (於 兵庫)	陸生哺乳類	2024.9.6-9
	「群馬県と関東山地におけるニホンカモシカの遺伝的特徴」田中和明・炭山大輔・高田隼人・野口英樹・鈴木聡・中村圭太・姉崎智子	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 (於群馬県立自然史博物館)	陸生哺乳類	2025.1.18
	森の博物館『玉原』の変形菌:顕微鏡で子実体をみると(アカオオウツボホコリ、ムレウツボホコリ、キララホコリ) Myxomist チームとみなか (姉崎智子、剣持美穂、木暮直巳、小林 薫)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 (於群馬県立自然史博物館)	変形菌	2025.1.18
主幹 伊藤智史	高山村における大型菌類の調査(伊藤智史)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 (於:群馬県立自然史博物館)	菌類	2025.1.18
主幹(学芸員) 菅原久誠	美術作家と連携したオリジナル鉱石製作ワークショップにより付加されるレプリカの価値 (菅原久誠・田中佑典・Clem Chen・根岸桃子・綾小路淳裕)	日本地学教育学会 第 78 回全国大会 (大分大会) (於: J:COM ホルトホール大分)	博物館・鉱物・美術	2024.8.18-19
	多様性を意識したエコツーリズムの重要性 (菅原久誠)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 口頭発表及びポスター発表 (於:群馬県立自然史博物館)	ツーリズム・学際	2025.1.18

	アートツーリズムとして榛名湖周辺の水の美しさを伝える (菅原久誠)	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2024 ポスター発表 (於:群馬県立自然史博物館)	ツーリズム・美術・地質・環境・学際	2025.1.18
	群馬県南西部白髪岩の原三角測点標石の文化地質学的価値 (菅原久誠・野口陽子・青木清二・和田晴美・岩崎正春・高橋真理子)	文化地質研究会第8回学術大会 (於:豊岡稽古堂)	文化財・地質・岩石	2025.3.8-9
主幹 綾小路淳裕	美術作家と連携したオリジナル鉱石製作ワークショップにより付加されるレプリカの価値 (菅原久誠・田中佑典・Clem Chen・根岸桃子・綾小路淳裕)	日本地学教育学会第78回全国大会 (大分大会) (於:J:COM ホルトホール大分)	博物館・鉱物・美術	2024.8.18-19
主任 田中佑典	美術作家と連携したオリジナル鉱石製作ワークショップにより付加されるレプリカの価値 (菅原久誠・田中佑典・Clem Chen・根岸桃子・綾小路淳裕)	日本地学教育学会第78回全国大会 (大分大会) (於:J:COM ホルトホール大分)	博物館・鉱物・美術	2024.8.18-19

(4) その他 (自然史に関する解説や意見のマスコミ等への発表・表彰など)

職・氏名	論 題	発表誌/発行所	発表年	備考
地学研究係長 (学芸員) 高栗祐司	「化石」について	ラジオ高崎「Air Place」内「大人の学校」	2024.4.19	出演
	「化石」について	ラジオ高崎「Air Place」内「大人の学校」	2024.6.28	出演
	「研究者とはどんな人なのか」について	ラジオ高崎「Air Place」内「大人の学校」	2024.8.16	出演
	「インディアナポリス子ども博物館」・「化石」について	ラジオ高崎「Air Place」内「大人の学校」	2024.10.25	出演
	「鳥と恐竜の関係」について	ラジオ高崎「Air Place」内「大人の学校」	2025.2.21	出演
補佐 (生物研究係長) (学芸員) 木村敏之	生命の系譜学び未来へ	上毛新聞「視点」オピニオン21	2024.5.6	
	時超えたつながり実感	上毛新聞「視点」オピニオン21	2024.6.30	
	標本の意味と価値発信	上毛新聞「視点」オピニオン21	2024.8.15	
	「未経験」に出会い心豊か	上毛新聞「視点」オピニオン21	2024.10.7	
	自然史博物館所蔵のクジラ・イルカ化石を新種と解明	群馬県業績職員等表彰(知事表彰)	2025.3.18	

主幹 大森威宏	谷川岳の植物・地形についての制作協力	NHK「さわやか自然百景」	2024.8	
	榛名山の植物についてのナレーション台本チェック	NHK「さわやか自然百景」	2024.10	
	植物についての映像カット確認	NHK「さわやか自然百景」	2025.2	
主幹（学芸員） 姉崎智子	R6年度ツキノワグマ分析結果	群馬県特定鳥獣適正管理検討委員会・クマ	2024.11	
	R6年度生物多様性モニタリング調査・哺乳類	群馬県自然環境調査研究会	2025.3	
	鳥獣保護管理員資料	群馬県自然環境課	2025.3	
主幹（学芸員） 菅原久誠	支えあいの世界 理解を	上毛新聞「視点」オピニオン21	2024.12.14	
	地球上のつながり意識	上毛新聞「視点」オピニオン21	2025.2.11	

4 職員の視察・研修会等への参加

*該当なし

5 職員研修

館職員を対象に次の日程・内容で実施した。

- ① 令和6年6月11日(火) 場所:Yokowo 富岡市民体育館会議室
10:00~11:00 ワーキンググループ1 「『ぐんま』らしさについて」
11:00~12:00 講義「博物館としての『いごこち』について」
講師:真鍋特別館長
13:00~15:00 ワーキンググループ2「博物館としての『いごこち』について」
- ② 令和6年12月17日(火) 場所:自然史博物館学習室
11:00~12:00 講話 「インクルーシブな博物館」
講師:真鍋特別館長
13:30~14:45 救命講習
講師:富岡甘楽広域消防本部消防職員
場所:Yokowo 富岡市民体育館柔道場

6 視察受入

受入日	団体名	人数
4月11日	板橋区立特別支援学級連合移動教室	16
4月12日	板橋区教育委員会事務局指導室	64
4月16日	練馬区立練馬中学校	4
4月18日	東久留米市立第一小学校	16
4月20日	杉並区教育委員会事務局	10
4月25日	練馬区教育委員会事務局	95
4月25日	小平市公立小学校長会	30
5月10日	清瀬市立柴山小学校	11
5月10日	中野区立教育委員会学務課	31
5月15日	葛飾区立上平井中学校 葛飾区7校代表	8
5月15日	文京区教育委員会	16
5月17日	杉並区教育委員会事務局	10
6月20日	小平市公立小学校長会	11
8月22日	千代田区教育委員会事務局	15
合計人数		321

7 教育普及事業利用者数実績一覧

事業名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
企画展記念講演・関連行事等	開催回数(回)	2	2	0	3	0	3	1	2	1	2	1	1	18
	参加者数(人)	57	23	0	199	0	164	22	114	95	177	27	50	928
ファミリー自然観察会	開催回数(回)	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	参加者数(人)	0	31	0	0	0	12	0	0	0	0	0	15	58
天体観望会	開催回数(回)	0	2	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0	7
	参加者数(人)	0	48	0	0	15	0	0	12	13	0	33	0	121
自然史講座	開催回数(回)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	43	24	0	0	0	0	0	67
移動博物館	開催回数(回)	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	5
	参加者数(人)	0	0	423	0	0	0	686	0	127	0	0	0	1236
ミュージアムスクール	開催回数(回)	1	1	1	2	0	0	2	1	1	1	0	0	10
	参加者数(人)	3	2	5	7	0	0	9	3	3	4	0	0	36
サイエンス・サタデー	開催回数(回)	4	4	4	4	4	4	4	5	2	3	3	5	46
	参加者数(人)	155	209	339	144	262	94	90	174	97	99	155	159	1977
館内授業	開催回数(回)	0	1	3	2	0	3	4	1	0	0	0	0	14
	参加者数(人)	0	37	110	64	0	129	145	43	0	0	0	0	528
定時解説	開催回数(回)	78	109	37	57	123	85	57	84	33	63	44	58	828
	参加者数(人)	199	378	113	286	473	241	150	247	151	200	161	148	2747
随時解説	開催回数(回)	942	1201	742	1089	1477	983	1381	853	345	506	641	973	11133
	参加者数(人)	2325	2912	1703	2630	3622	2331	3398	2098	840	1220	1713	2718	27510
紙芝居	開催回数(回)	4	3	4	3	3	2	3	2	2	3	4	2	35
	参加者数(人)	55	27	48	48	46	37	26	29	19	76	56	26	493
スポット解説	開催回数(回)	0	3	6	2	0	24	32	10	0	0	0	0	77
	参加者数(人)	0	159	255	112	0	1099	1462	417	0	0	0	0	3504
ビデオ上映会	開催回数(回)	14	18	12	13	54	15	14	15	4	15	14	15	203
	参加者数(人)	175	109	164	250	1238	814	120	246	22	196	122	51	3507
ミュージアムナイトツアー	開催回数(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	参加者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	51	0	96
バックヤードツアー	開催回数(回)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	参加者数(人)	17	16	16	11	14	15	16	14	16	16	8	15	174
高校生学芸員	開催回数(回)	1	1	2	8	12	3	5	4	8	8	10	1	63
	参加者数(人)	11	5	2	8	12	3	5	4	8	8	10	22	98
出前授業	開催回数(回)	0	0	0	1	1	0	1	4	4	3	3	0	17
	参加者数(人)	0	0	0	68	74	0	24	117	125	93	60	0	561
教職員実技研修会	開催回数(回)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	参加者数(人)	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	48
職場体験学習	開催回数(回)	0	0	0	0	3	3	5	9	0	0	0	1	21
	参加者数(人)	0	0	0	0	12	6	13	40	0	0	0	3	74
博物館の日	開催回数(回)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	参加者数(人)	0	480	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	480
大人の自然史倶楽部	開催回数(回)	0	0	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	6
	参加者数(人)	0	0	6	6	0	0	13	5	0	0	0	0	30
ホリデー・サイエンス	開催回数(回)	0	6	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	15
	参加者数(人)	0	288	17	0	46	0	13	10	12	21	20	23	450
その他	開催回数(回)	3	2	7	6	10	7	2	4	1	3	3	1	49
	参加者数(人)	69	47	468	1060	296	169	497	201	35	54	134	62	3092
合計	開催回数(回)	1050	1357	822	1193	1691	1135	1519	998	406	610	728	1060	12,569
	参加者数(人)	3066	4771	3669	4941	6110	5157	6713	3774	1563	2209	2550	3292	47,815

8 来館者アンケート集計結果

回答数： 583名

住 所		
県 内		52%
県 外	埼玉県	48%
	東京都	
	神奈川県	
	長野県	
	栃木県	
	千葉県	
	その他	
不 明		0%

年 齢	
10代未満	3%
10代	4%
20代	17%
30代	40%
40代	26%
50代	4%
60代以上	6%
不 明	0%

どんな目的で	
常設展	20%
企画展	69%
悪天候	3%
何となく	4%
その他	4%
不 明	0%

博物館について

何で知ったか			
新聞記事	2%	インターネット	46%
新聞広告	1%	ポスター・チラシ	33%
テレビ	2%	口コミ	10%
ラジオ	1%	特になし	2%
観光情報誌	1%	その他（不明）	2%

来館数	
初めて	35%
2～4回	34%
5回以上	31%
不明	0%

当館の展示		館の施設		職員の対応	
よい	97%	よい	93%	よい	95%
ややよい	3%	ややよい	7%	ややよい	5%
ややよくない	0%	ややよくない	0%	ややよくない	0%
よくない	0%	よくない	0%	よくない	0%

9 来館者学校アンケート集計結果

アンケート提出校数 ～ 153校

学校の所在		
県内		84
県外	東京都	69
	埼玉県	
	長野県	
	他	

来館した学年					
小1	6	中1	7	不明	0
小2	7	中2	3		
小3	12	中3	4		
小4	61	高1	3		
小5	41	高2	3		
小6	26	高3	2		

学校としての来館数	
初めて	27
来館したことがある	126

来館の観点	
当館のみ	13
他にも目的場所がある	140

「初めて来館」した学校の情報源	
前の学校で来館	3
ほかの先生から聞いた	8
個人的に来館	5
ホームページ	1
旅行会社から聞いた	9
その他	1

他にも目的がある学校の目的場所	
	富岡製糸場 59
	群馬サファリパーク 13
	こんにゃくパーク 2
	榛名山 10
	県庁 7
	グリーン牧場 2
	栃木県 3
	長野県 27

来館の観点	
展示の内容（学習効果等）	75
コースの設定（学校からの距離、旅行目的地の途上にある等）	78

今後の当館利用希望			
あり	153	なし	0

令和6年度集計

年 月	開館 日数	観覧者数 観覧者計	有料観覧者数										無料観覧者数																												
			有料計		個人計		一般		大・高		小中		団体計		一般		大・高		小中		無料計		個人計		幼児		小中		65歳		身障者		その他		招待券		団体計		学 校		社会教育
H8年度	132	120,712	72,274	67,465	50,455	1,626	15,384					4,809	3,692	760	357							48,439	39,841				3,932	11,864	1,232	22,813			8,598	6,478	2,120			0			
H9年度	301	207,688	120,399	108,699	76,721	2,828	29,150					11,700	6,449	2,200	3,051							86,119	59,045				4,316	14,454	4,092	36,183			27,074	22,806	4,268			1,170			
H10年度	304	165,071	87,078	75,535	53,940	1,891	19,704					11,543	4,872	2,112	4,559							77,993	55,216				3,380	12,856	3,445	35,535			22,777	20,533	2,244			0			
H11年度	303	150,211	76,710	65,686	45,978	1,715	17,993					11,024	3,459	3,001	4,564							73,501	54,248				3,209	11,391	2,737	36,911			19,253	18,059	1,194			0			
H12年度	301	156,633	51,108	46,126	44,700	1,426						4,982	2,862	2,120								104,028	77,600	23,335	24,971	10,280	1,935	13,038	4,041		26,428	25,831	597			1,497					
H13年度	303	159,416	56,190	50,893	49,392	1,501						5,297	3,389	1,908								102,897	78,551	24,738	27,022	5,569	866	16,533	3,823	24,346	24,346						329				
H14年度計	301	166,989	63,759	58,504	56,701	1,632						171	0	5,255	3,209	2,046						103,034	77,599	26,014	32,025		1,314	14,647	3,599	25,435	24,346						196				
H15年度計	298	171,697	61,013	55,518	53,806	1,493						219	0	5,495	4,428	1,067						110,405	81,682	27,054	33,487		1,446	15,765	3,930	28,723	28,723						279				
H16年度計	292	160,456	57,588	52,009	50,340	1,468						201	0	5,579	4,333	1,246						102,581	76,587	26,392	30,807		1,613	13,820	3,955	25,994	25,994						287				
H17年度計	292	153,613	56,936	51,960	50,165	1,630						165	0	4,976	3,589	1,387						96,506	71,646	24,784	28,155		1,714	12,656	4,337	24,860	24,860						171				
H18年度計	293	166,629	62,612	56,048	54,364	1,531						153	0	6,564	4,852	1,712						103,843	74,550	29,129	29,692		1,671	11,038	3,020	29,293	29,293						174				
H19年度計	292	161,626	60,907	54,693	52,893	1,630						170	0	6,214	5,561	653						100,590	72,899	28,633	27,860		1,798	11,470	3,138	27,691	27,691						129				
H20年度計	291	146,170	52,475	47,588	45,761	1,610						212	5	4,887	4,572	315						93,578	64,706	24,564	25,162		1,693	10,501	2,786	28,872	28,872						117				
H21年度計	290	162,760	62,780	58,346	55,752	2,295						297	2	4,434	3,413	1,021						99,858	71,946	25,663	30,545		1,749	10,544	3,445	27,912	27,912						122				
H22年度計	288	148,697	57,050	51,172	48,807	2,043						320	2	5,878	4,685	1,193						91,499	64,193	22,853	25,993		1,867	10,654	2,826	27,306	27,306						148				
H23年度計	291	177,698	68,720	61,269	58,508	2,483						275	3	7,451	6,183	1,268						108,815	81,997	28,783	33,614		2,765	11,497	5,338	26,818	26,818						163				
H24年度計	290	182,038	73,849	67,598	64,107	3,059						431	1	6,251	4,676	1,575						107,984	80,489	27,846	33,372		2,733	11,621	4,917	27,495	27,495						205				
H25年度計	288	166,533	65,505	60,853	57,910	2,632						307	4	4,652	3,148	1,504						100,873	74,294	28,497	28,571		2,419	11,074	3,733	26,579	26,579						155				
H26年度計	289	167,549	66,363	61,604	58,271	2,921						405	7	4,759	3,033	1,726						101,027	73,742	28,006	27,286		2,730	10,591	5,129	27,285	27,285						159				
H27年度計	290	188,680	77,413	71,165	67,290	3,428						434	13	6,248	4,537	1,711						111,060	81,219	33,343	28,636		3,387	11,226	4,627	29,841	29,841						207				
H28年度計	289	212,022	89,279	84,464	80,378	3,539						546	1	4,815	3,285	1,530						122,471	96,308	39,895	35,050		3,684	12,826	4,853	26,163	26,163						272				
H29年度計	287	209,136	89,520	83,465	79,674	3,359						429	3	6,053	4,323	1,730						122,351	94,087	38,297	32,874		3,729	12,124	4,070	28,264	28,264						258				
H30年度計	290	220,039	96,347	91,228	87,028	3,711						488	1	5,119	3,989	1,130						123,360	98,639	41,899	33,508		3,921	14,721	4,590	24,721	24,721						332				
R1年度計	263	204,654	88,925	82,455	78,889	3,051						514	1	6,470	4,914	1,556						115,416	91,099	37,470	32,365		3,561	13,878	3,825	24,317	24,317						313				
R2年度計	234	84,797	40,349	39,378	37,663	1,621						94	0	971	909	62						44,359	35,757	19,982	10,925		914	3,269	667	8,602	8,602						89				
R3年度計	261	129,301	58,379	57,475	54,688	2,620						167	0	904	664	240						70,665	53,933	26,627	18,553		1,518	5,475	1,760	16,732	16,732						257				
R4年度計	285	178,995	81,521	80,527	76,828	3,332						363	4	994	609	385						97,062	75,041	34,019	27,461		2,661	8,049	2,851	22,021	22,021						412				
R5年度計	285	291,128	140,239	138,956	132,581	5,808						551	16	1,283	1,103	180						150,560	128,022	57,335	49,211		4,745	11,864	4,867	22,538	22,538						329				
R6年4月	25	16,111	8,426	7,800	7,485	307						8	0	626	183	443						7,662	7,662	3,053	2,946		343	694	626	15	15					23					
5月	27	22,672	11,043	10,540	10,071	457						12	0	503	476	27						11,606	11,606	4,173	2,848		380	3,439	766	2,540	2,540						23				
6月	19	13,204	5,651	5,523	5,335	164						23	1	128	23	105						7,537	7,537	2,337	1,481		227	3,470	22	2,786	2,786						16				
7月	26	19,716	8,561	8,347	8,024	271						52	0	214	173	41						11,130	11,130	3,625	2,550		404	4,379	172	3,209	3,209						25				
8月	31	34,283	17,698	17,294	16,173	1,064						56	1	404	373	31						16,538	16,538	6,752	6,851		871	1,392	672	278	278						47				
9月	25	20,760	9,008	8,859	8,399	379						79	2	149	149	0						11,723	11,723	4,109	2,302		391	4,540	381	3,671	3,671						29				
10月	27	21,809	5,355	5,056	4,802	197						57	0	299	250	49						16,435	16,435	2,967	1,387		273	11,624	184	7,680	7,680						19				
11月	26	15,158	5,984	5,717	5,418	247						52	0	267	179	88						9,147	9,147	2,739	1,753		397	4,007	251	3,264	3,264						27				
12月	13	4,743	2,340	2,247	2,113	97						36	1	93	66	27						2,388	2,388	1,114	573		109	369	223	189	189						15				
R7年1月	22																																								

観覧者数一覧(4月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
4/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	火	696	303	285	263	22	0	0	18	18	0	391	391	115	189	30	44	13	15	15	2	2
3	水	736	337	316	296	20	0	0	21	21	0	397	397	122	227	17	21	10	0	0	2	2
4	木	496	227	209	175	34	0	0	18	18	0	269	269	72	151	18	17	11	0	0	0	0
5	金	482	217	213	206	7	0	0	4	4	0	265	265	98	137	11	12	7	0	0	0	0
6	土	997	565	479	466	13	0	0	86	0	86	431	431	195	154	11	38	33	0	0	1	1
7	日	799	398	398	382	16	0	0	0	0	0	398	398	158	156	15	24	45	0	0	3	3
8	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	火	182	88	88	82	6	0	0	0	0	0	94	94	38	5	28	16	7	0	0	0	0
10	水	97	73	59	57	2	0	0	14	14	0	24	24	9	2	1	4	8	0	0	0	0
11	木	115	70	54	52	2	0	0	16	16	0	45	45	9	0	5	20	11	0	0	0	0
12	金	192	72	59	56	2	1	0	13	13	0	120	120	10	1	21	75	13	0	0	0	0
13	土	896	457	457	442	15	0	0	0	0	0	438	438	201	162	19	23	33	0	0	1	1
14	日	1,214	609	609	585	22	2	0	0	0	0	602	602	271	224	21	31	55	0	0	3	3
15	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	火	138	57	52	52	0	0	0	5	5	0	80	80	44	8	4	16	8	0	0	1	1
17	水	474	427	62	61	1	0	0	365	8	357	47	47	16	1	5	19	6	0	0	0	0
18	木	120	83	76	75	1	0	0	7	7	0	37	37	8	0	1	15	13	0	0	0	0
19	金	94	65	57	56	1	0	0	8	8	0	29	29	12	1	4	8	4	0	0	0	0
20	土	952	477	477	463	14	0	0	0	0	0	475	475	235	166	14	22	38	0	0	0	0
21	日	1,386	738	738	706	32	0	0	0	0	0	644	644	276	261	22	29	56	0	0	4	4
22	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	火	183	93	80	80	0	0	0	13	13	0	90	90	52	3	6	19	10	0	0	0	0
24	水	160	117	96	91	5	0	0	21	21	0	42	42	13	1	11	8	9	0	0	1	1
25	木	265	94	83	82	1	0	0	11	11	0	171	171	24	3	3	124	17	0	0	0	0
26	金	116	82	76	72	3	1	0	6	6	0	34	34	19	6	2	2	5	0	0	0	0
27	土	1,198	626	626	600	24	2	0	0	0	0	570	570	227	248	17	29	49	0	0	2	2
28	日	2,248	1,247	1,247	1,213	32	2	0	0	0	0	1,001	1,001	446	414	26	39	76	0	0	0	0
祝29	月	1,875	904	904	872	32	0	0	0	0	0	968	968	383	426	31	39	89	0	0	3	3
30	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		16,111	8,426	7,800	7,485	307	8	0	626	183	443	7,662	7,662	3,053	2,946	343	694	626	15	15	23	23

-105-

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	16	4,546	2,405	1,865	1,756	107	2	0	540	183	357	2,135	2,135	661	735	167	420	152	15	15	6	6
土日祝	9	11,565	6,021	5,935	5,729	200	6	0	86	0	86	5,527	5,527	2,392	2,211	176	274	474	0	0	17	17
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	25	16,111	8,426	7,800	7,485	307	8	0	626	183	443	7,662	7,662	3,053	2,946	343	694	626	15	15	23	23
年間TOTAL(令和6年度)																						
平日	16	4,546	2,405	1,865	1,756	107	2	0	540	183	357	2,135	2,135	661	735	167	420	152	15	15	6	6
土日祝	9	11,565	6,021	5,935	5,729	200	6	0	86	0	86	5,527	5,527	2,392	2,211	176	274	474	0	0	17	17
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	25	16,111	8,426	7,800	7,485	307	8	0	626	183	443	7,662	7,662	3,053	2,946	343	694	626	15	15	23	23

開館以来の累計(開館日数 7,948日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,827,049	2,043,714	1,888,479	155,233	2,778,536	2,092,598	685,953	7,793
平均	607	257	238	20	350	263	86	

観覧者数一覧(5月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
5/1	水	563	369	358	343	15	0	0	11	11	0	194	194	116	36	11	11	20	0	0	0	0
2	木	561	371	349	333	16	0	0	22	22	0	189	189	133	20	8	8	20	0	0	1	1
祝3	金	2,411	1,384	1,384	1,310	74	0	0	0	0	0	1,026	1,026	456	432	29	33	76	0	0	1	1
祝4	土	3,395	1,976	1,976	1,896	80	0	0	0	0	0	1,418	1,418	662	566	62	65	63	0	0	1	1
祝5	日	2,917	1,623	1,623	1,541	79	3	0	0	0	0	1,292	1,292	553	585	34	38	82	0	0	2	2
6	月	1,666	852	852	816	36	0	0	0	0	0	812	812	326	315	26	31	114	0	0	2	2
7	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	水	148	95	79	79	0	0	0	16	16	0	50	50	6	4	3	3	34	0	0	3	3
9	木	311	95	83	81	2	0	0	12	12	0	214	214	84	2	24	74	30	0	0	2	2
10	金	420	147	97	96	1	0	0	50	50	0	271	271	174	1	4	70	22	0	0	2	2
11	土	1,162	587	565	541	24	0	0	22	22	0	575	575	222	161	29	36	127	0	0	0	0
12	日	1,301	629	629	590	39	0	0	0	0	0	669	669	225	223	27	27	167	0	0	3	3
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	142	90	79	73	6	0	0	11	11	0	52	52	21	0	5	26	0	14	14	0	0
15	水	553	70	51	51	0	0	0	19	19	0	483	483	5	2	6	467	3	394	394	0	0
16	木	180	68	57	54	3	0	0	11	11	0	112	112	9	3	3	97	0	87	87	0	0
17	金	520	119	73	70	2	1	0	46	46	0	400	400	105	2	0	293	0	240	240	1	1
18	土	885	499	384	373	9	2	0	115	115	0	386	386	229	109	13	33	2	0	0	0	0
19	日	814	467	467	442	23	2	0	0	0	0	344	344	181	124	20	19	0	0	0	3	3
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	205	88	81	76	5	0	0	7	7	0	116	116	14	1	5	96	0	81	81	1	1
22	水	646	70	68	68	0	0	0	2	2	0	576	576	62	7	22	485	0	442	442	0	0
23	木	176	69	49	48	1	0	0	20	20	0	107	107	25	0	8	72	2	55	55	0	0
24	金	255	80	68	65	2	1	0	12	12	0	175	175	16	2	4	153	0	126	126	0	0
25	土	735	426	426	412	14	0	0	0	0	0	309	309	167	103	13	26	0	0	0	0	0
26	日	836	482	456	432	24	0	0	26	26	0	354	354	183	144	13	14	0	0	0	0	0
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	456	93	93	93	0	0	0	0	0	0	363	363	39	1	1	320	2	285	285	0	0
29	水	560	62	61	59	1	1	0	1	1	0	497	497	13	3	7	474	0	427	427	1	1
30	木	320	95	51	50	1	0	0	44	44	0	225	225	55	1	2	165	2	143	143	0	0
31	金	534	137	81	79	0	2	0	56	29	27	397	397	92	1	1	303	0	246	246	0	0
計		22,672	11,043	10,540	10,071	457	12	0	503	476	27	11,606	11,606	4,173	2,848	380	3,439	766	2,540	2,540	23	23

-106-

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	18	8,216	2,970	2,630	2,534	91	5	0	340	313	27	5,233	5,233	1,295	401	140	3,148	249	2,540	2,540	13	13
土日祝	9	14,456	8,073	7,910	7,537	366	7	0	163	163	0	6,373	6,373	2,878	2,447	240	291	517	0	0	10	10
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	22,672	11,043	10,540	10,071	457	12	0	503	476	27	11,606	11,606	4,173	2,848	380	3,439	766	2,540	2,540	23	23

年間TOTAL(令和6年度)

平日	34	12,762	5,375	4,495	4,290	198	7	0	880	496	384	7,368	7,368	1,956	1,136	307	3,568	401	2,555	2,555	19	19
土日祝	18	26,021	14,094	13,845	13,266	566	13	0	249	163	86	11,900	11,900	5,270	4,658	416	565	991	0	0	27	27
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	52	38,783	19,469	18,340	17,556	764	20	0	1,129	659	470	19,268	19,268	7,226	5,794	723	4,133	1,392	2,555	2,555	46	46

開館以来の累計(開館日数 7,975日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,849,721	2,054,757	1,899,019	155,736	2,790,142	2,104,204	688,493	7,816
平均	608	258	238	20	350	264	86	

観覧者数一覧(6月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
6/1	土	783	411	411	389	19	3	0	0	0	0	370	370	217	103	23	24	3	0	0	2	2
2	日	1,399	834	792	760	31	1	0	42	0	42	562	562	286	200	27	49	0	0	0	3	3
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	110	53	53	52	1	0	0	0	0	0	57	57	15	17	1	24	0	18	18	0	0
5	水	654	46	45	45	0	0	0	1	1	0	608	608	0	7	0	599	2	546	546	0	0
6	木	433	47	47	47	0	0	0	0	0	0	386	386	6	7	44	328	1	274	274	0	0
7	金	391	70	66	64	1	1	0	4	4	0	321	321	52	0	1	268	0	236	236	0	0
8	土	885	490	461	441	14	5	1	29	0	29	395	395	186	156	18	28	7	0	0	0	0
9	日	983	561	527	504	21	2	0	34	0	34	422	422	242	149	14	17	0	0	0	0	0
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	565	77	74	73	1	0	0	3	3	0	487	487	41	5	3	437	1	370	370	1	1
20	木	260	53	51	51	0	0	0	2	2	0	207	207	13	2	5	186	1	126	126	0	0
21	金	681	98	92	91	1	0	0	6	6	0	583	583	86	1	3	491	2	419	419	0	0
22	土	992	553	553	532	18	3	0	0	0	0	439	439	255	137	19	26	2	0	0	0	0
23	日	1,677	897	897	871	21	5	0	0	0	0	777	777	423	308	20	26	0	0	0	3	3
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	108	71	71	70	1	0	0	0	0	0	36	36	29	1	2	4	0	0	0	1	1
26	水	576	85	82	77	5	0	0	3	3	0	491	491	31	1	3	455	1	404	404	0	0
27	木	255	77	73	70	3	0	0	4	4	0	178	178	19	5	7	147	0	109	109	0	0
28	金	463	108	108	108	0	0	0	0	0	0	354	354	13	12	4	325	0	284	284	1	1
29	土	910	506	506	499	5	2	0	0	0	0	400	400	226	137	16	19	2	0	0	4	4
30	日	1,079	614	614	591	22	1	0	0	0	0	464	464	197	233	17	17	0	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		13,204	5,651	5,523	5,335	164	23	1	128	23	105	7,537	7,537	2,337	1,481	227	3,470	22	2,786	2,786	16	16

-107-

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	11	4,496	785	762	748	13	1	0	23	23	0	3,708	3,708	305	58	73	3,264	8	2,786	2,786	3	3
土日祝	8	8,708	4,866	4,761	4,587	151	22	1	105	0	105	3,829	3,829	2,032	1,423	154	206	14	0	0	13	13
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	13,204	5,651	5,523	5,335	164	23	1	128	23	105	7,537	7,537	2,337	1,481	227	3,470	22	2,786	2,786	16	16
年間TOTAL(令和6年度)																						
平日	45	17,258	6,160	5,257	5,038	211	8	0	903	519	384	11,076	11,076	2,261	1,194	380	6,832	409	5,341	5,341	22	22
土日祝	26	34,729	18,960	18,606	17,853	717	35	1	354	163	191	15,729	15,729	7,302	6,081	570	771	1,005	0	0	40	40
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	51,987	25,120	23,863	22,891	928	43	1	1,257	682	575	26,805	26,805	9,563	7,275	950	7,603	1,414	5,341	5,341	62	62

開館以来の累計(開館日数 7,994日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,862,925	2,060,408	1,904,542	155,864	2,797,679	2,111,741	691,279	7,832
平均	608	258	238	19	350	264	86	

観覧者数一覧(7月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
7/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	火	79	60	59	58	1	0	0	1	1	0	19	19	16	1	1	1	0	0	0	0	0
3	水	711	86	85	79	5	1	0	1	1	0	625	625	24	1	2	598	0	529	529	0	0
4	木	306	80	57	57	0	0	0	23	23	0	226	226	17	0	3	206	0	163	163	0	0
5	金	339	68	67	62	5	0	0	1	1	0	270	270	36	2	3	229	0	190	190	1	1
6	土	711	386	386	376	7	3	0	0	0	0	325	325	179	103	22	21	0	0	0	0	0
7	日	962	537	537	516	21	0	0	0	0	0	424	424	192	200	15	13	4	0	0	1	1
8	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	火	194	62	59	56	3	0	0	3	3	0	132	132	15	11	25	81	0	63	63	0	0
10	水	668	80	78	75	1	2	0	2	2	0	587	587	43	3	1	540	0	473	473	1	1
11	木	252	95	93	89	4	0	0	2	2	0	157	157	29	7	2	119	0	85	85	0	0
12	金	493	113	111	109	1	1	0	2	2	0	380	380	70	5	4	301	0	267	267	0	0
13	土	905	502	472	457	11	4	0	30	30	0	401	401	240	122	22	17	0	0	0	2	2
14	日	2,644	1,525	1,525	1,485	37	3	0	0	0	0	1,115	1,115	627	398	41	45	4	0	0	4	4
祝15	月	1,895	1,023	1,023	985	30	8	0	0	0	0	871	871	472	296	46	55	2	11	11	1	1
16	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	水	240	106	86	81	5	0	0	20	0	20	134	134	32	2	0	100	0	72	72	0	0
18	木	288	50	44	41	2	1	0	6	6	0	238	238	16	6	4	212	0	174	174	0	0
19	金	296	78	74	69	4	1	0	4	4	0	218	218	136	29	17	36	0	0	0	0	0
20	土	767	399	399	373	20	6	0	0	0	0	361	361	160	92	12	81	16	23	23	7	7
21	日	1,252	599	599	571	18	10	0	0	0	0	653	653	254	165	17	191	26	157	157	0	0
22	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	火	456	201	191	183	8	0	0	10	10	0	254	254	67	92	13	74	8	41	41	1	1
24	水	668	152	142	137	5	0	0	10	10	0	514	514	76	46	30	358	4	301	301	2	2
25	木	601	144	136	133	3	0	0	8	8	0	456	456	54	83	17	293	9	228	228	1	1
26	金	941	231	223	214	7	2	0	8	8	0	710	710	90	81	7	521	11	432	432	0	0
27	土	1,013	564	564	538	20	6	0	0	0	0	448	448	228	157	16	22	25	0	0	1	1
28	日	1,591	794	769	743	22	4	0	25	4	21	795	795	321	342	31	52	49	0	0	2	2
29	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	火	883	377	336	314	22	0	0	41	41	0	505	505	120	182	29	167	7	0	0	1	1
31	水	561	249	232	223	9	0	0	17	17	0	312	312	111	124	24	46	7	0	0	0	0
計		19,716	8,561	8,347	8,024	271	52	0	214	173	41	11,130	11,130	3,625	2,550	404	4,379	172	3,209	3,209	25	25

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	17	7,976	2,232	2,073	1,980	85	8	0	159	139	20	5,737	5,737	952	675	182	3,882	46	3,018	3,018	7	7
土日祝	9	11,740	6,329	6,274	6,044	186	44	0	55	34	21	5,393	5,393	2,673	1,875	222	497	126	191	191	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	19,716	8,561	8,347	8,024	271	52	0	214	173	41	11,130	11,130	3,625	2,550	404	4,379	172	3,209	3,209	25	25

年間TOTAL(令和6年度)																						
平日	62	25,234	8,392	7,330	7,018	296	16	0	1,062	658	404	16,813	16,813	3,213	1,869	562	10,714	455	8,359	8,359	29	29
土日祝	35	46,469	25,289	24,880	23,897	903	79	1	409	197	212	21,122	21,122	9,975	7,956	792	1,268	1,131	191	191	58	58
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	97	71,703	33,681	32,210	30,915	1,199	95	1	1,471	855	616	37,935	37,935	13,188	9,825	1,354	11,982	1,586	8,550	8,550	87	87

開館以来の累計(開館日数 8,020日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,882,641	2,068,969	1,912,889	156,078	2,808,809	2,122,871	694,488	7,857
平均	609	258	239	19	350	265	87	

観覧者数一覧(8月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
8/1	木	585	234	224	206	17	1	0	10	10	0	351	351	82	150	23	93	3	9	9	0	0
2	金	657	229	212	199	12	1	0	17	17	0	426	426	113	88	35	173	17	102	102	2	2
3	土	862	474	474	456	17	1	0	0	0	0	387	387	194	151	17	16	9	0	0	1	1
4	日	1,333	733	733	701	30	2	0	0	0	0	594	594	288	233	23	25	25	0	0	6	6
5	月	508	270	249	241	6	2	0	21	21	0	238	238	95	104	8	21	10	0	0	0	0
6	火	619	272	264	232	28	4	0	8	8	0	346	346	139	132	22	40	13	0	0	1	1
7	水	766	313	298	266	32	0	0	15	15	0	452	452	125	233	38	46	10	0	0	1	1
8	木	613	309	284	258	25	1	0	25	25	0	303	303	146	128	9	11	9	0	0	1	1
9	金	846	361	343	320	23	0	0	18	18	0	483	483	175	173	66	55	14	0	0	2	2
10	土	1,325	728	728	679	43	6	0	0	0	0	594	594	253	253	34	32	22	0	0	3	3
祝11	日	2,313	1,322	1,322	1,249	68	5	0	0	0	0	990	990	470	409	33	34	44	0	0	1	1
12	月	2,560	1,475	1,455	1,368	86	1	0	20	20	0	1,083	1,083	483	481	36	38	45	0	0	2	2
13	火	2,195	1,256	1,231	1,140	89	2	0	25	25	0	935	935	453	386	32	34	30	0	0	4	4
14	水	2,478	1,327	1,322	1,254	67	1	0	5	5	0	1,150	1,150	535	464	53	52	46	0	0	1	1
15	木	1,977	1,051	1,029	976	51	2	0	22	22	0	925	925	390	417	36	32	50	0	0	1	1
16	金	1,486	825	792	743	49	0	0	33	33	0	661	661	304	281	25	28	23	0	0	0	0
17	土	1,790	1,003	1,003	957	39	7	0	0	0	0	783	783	377	337	21	15	33	0	0	4	4
18	日	1,551	846	846	794	50	2	0	0	0	0	705	705	334	235	44	38	54	0	0	0	0
19	月	668	311	300	284	16	0	0	11	11	0	356	356	122	185	13	22	14	0	0	1	1
20	火	600	277	260	232	27	0	1	17	17	0	323	323	86	138	41	42	16	0	0	0	0
21	水	924	315	298	276	20	2	0	17	17	0	608	608	116	325	54	90	23	0	0	1	1
22	木	656	290	277	254	23	0	0	13	13	0	366	366	126	165	29	41	5	0	0	0	0
23	金	734	319	295	272	23	0	0	24	24	0	414	414	170	143	17	71	13	19	19	1	1
24	土	1,098	568	544	513	30	1	0	24	24	0	529	529	196	245	25	32	31	0	0	1	1
25	日	1,522	845	845	815	28	2	0	0	0	0	676	676	372	223	22	21	38	0	0	1	1
26	月	624	290	270	244	26	0	0	20	20	0	334	334	98	153	41	29	13	0	0	0	0
27	火	472	242	240	210	28	2	0	2	2	0	227	227	81	94	16	27	9	0	0	3	3
28	水	702	265	256	215	40	1	0	9	9	0	436	436	73	169	19	166	9	124	124	1	1
29	木	343	181	170	141	29	0	0	11	11	0	160	160	61	58	17	15	9	0	0	2	2
30	金	427	215	178	158	19	1	0	37	6	31	211	211	54	107	4	41	5	24	24	1	1
31	土	1,049	552	552	520	23	9	0	0	0	0	492	492	241	191	18	12	30	0	0	5	5
計		34,283	17,698	17,294	16,173	1,064	56	1	404	373	31	16,538	16,538	6,752	6,851	871	1,392	672	278	278	47	47

-109-

月日	日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																							
平日	22	21,440	10,627	10,247	9,489	736	21	1	380	349	31	10,788	10,788	4,027	4,574	634	1,167	386	278	278	25	25	
土日祝	9	12,843	7,071	7,047	6,684	328	35	0	24	24	0	5,750	5,750	2,725	2,277	237	225	286	0	0	22	22	
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	31	34,283	17,698	17,294	16,173	1,064	56	1	404	373	31	16,538	16,538	6,752	6,851	871	1,392	672	278	278	47	47	

年間TOTAL(令和6年度)

平日	84	46,674	19,019	17,577	16,507	1,032	37	1	1,442	1,007	435	27,601	27,601	7,240	6,443	1,196	11,881	841	8,637	8,637	54	54
土日祝	44	59,312	32,360	31,927	30,581	1,231	114	1	433	221	212	26,872	26,872	12,700	10,233	1,029	1,493	1,417	191	191	80	80
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	128	105,986	51,379	49,504	47,088	2,263	151	2	1,875	1,228	647	54,473	54,473	19,940	16,676	2,225	13,374	2,258	8,828	8,828	134	134

開館以来の累計(開館日数 8,051日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,916,924	2,086,667	1,930,183	156,482	2,825,347	2,139,409	694,766	7,904
平均	611	259	240	19	351	266	86	

観覧者数一覧(9月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
9/1	日	1,249	666	666	624	35	7	0	0	0	0	580	580	318	175	28	31	28	0	0	3	3
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	火	112	73	72	61	11	0	0	1	1	0	37	37	23	3	2	2	7	0	0	2	2
4	水	306	129	107	91	13	3	0	22	22	0	175	175	32	3	13	125	2	99	99	2	2
5	木	253	73	71	54	17	0	0	2	2	0	180	180	48	2	34	90	6	51	51	0	0
6	金	359	93	87	77	7	3	0	6	6	0	266	266	18	6	9	228	5	193	193	0	0
7	土	944	537	537	500	29	8	0	0	0	0	404	404	222	110	23	24	25	0	0	3	3
8	日	1,351	696	696	657	25	14	0	0	0	0	654	654	361	187	22	28	56	0	0	1	1
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	165	97	89	78	11	0	0	8	8	0	68	68	18	3	5	42	0	32	32	0	0
11	水	533	95	94	75	19	0	0	1	1	0	436	436	20	7	2	407	0	365	365	2	2
12	木	260	79	77	60	17	0	0	2	2	0	181	181	23	3	1	154	0	126	126	0	0
13	金	862	96	96	86	10	0	0	0	0	0	766	766	147	2	13	602	2	518	518	0	0
14	土	928	524	524	509	15	0	0	0	0	0	404	404	210	134	19	23	18	0	0	0	0
15	日	2,094	1,137	1,137	1,093	40	4	0	0	0	0	957	957	496	334	40	38	49	0	0	0	0
祝16	月	1,564	818	818	780	26	10	2	0	0	0	746	746	367	276	37	38	28	0	0	0	0
17	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	水	402	89	83	79	1	3	0	6	6	0	313	313	91	1	10	208	3	167	167	0	0
19	木	400	60	60	57	2	1	0	0	0	0	340	340	11	1	12	311	5	270	270	0	0
20	金	540	62	59	53	6	0	0	3	3	0	478	478	44	0	3	430	1	374	374	0	0
21	土	871	477	477	463	13	1	0	0	0	0	393	393	221	127	13	14	18	0	0	1	1
祝22	日	2,596	1,454	1,454	1,409	37	8	0	0	0	0	1,137	1,137	603	424	35	34	41	0	0	5	5
23	月	1,325	632	632	615	13	4	0	0	0	0	691	691	304	255	15	72	45	48	48	2	2
24	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	水	587	122	82	78	2	2	0	40	40	0	465	465	14	5	11	434	1	394	394	0	0
26	木	543	47	46	41	4	1	0	1	1	0	496	496	7	1	1	484	3	442	442	0	0
27	金	944	115	86	80	6	0	0	29	29	0	829	829	146	4	4	671	4	592	592	0	0
28	土	640	337	309	295	7	7	0	28	28	0	302	302	126	124	16	29	7	0	0	1	1
29	日	932	500	500	484	13	3	0	0	0	0	425	425	239	115	23	21	27	0	0	7	7
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		20,760	9,008	8,859	8,399	379	79	2	149	149	0	11,723	11,723	4,109	2,302	391	4,540	381	3,671	3,671	29	29

-110-

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	15	7,591	1,870	1,741	1,585	139	17	0	121	121	0	5,721	5,721	946	296	135	4,260	84	3,671	3,671	8	8
土日祝	10	13,169	7,167	7,118	6,814	240	62	2	28	28	0	6,002	6,002	3,163	2,006	256	280	297	0	0	21	21
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	25	20,760	9,037	8,859	8,399	379	79	2	149	149	0	11,723	11,723	4,109	2,302	391	4,540	381	3,671	3,671	29	29
年間TOTAL(令和6年度)																						
平日	99	54,265	20,943	19,318	18,092	1,171	54	1	1,563	1,128	435	33,322	33,322	8,186	6,739	1,331	16,141	925	12,308	12,308	62	62
土日祝	54	72,481	39,607	39,045	37,395	1,471	176	3	461	249	212	32,874	32,874	15,863	12,239	1,285	1,773	1,714	191	191	101	101
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	153	126,746	60,550	58,363	55,487	2,642	230	4	2,024	1,377	647	66,196	66,196	24,049	18,978	2,616	17,914	2,639	12,499	12,499	163	163

開館以来の累計(開館日数 8,076日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,937,684	2,095,675	1,939,042	156,631	2,837,070	2,151,132	698,437	7,933
平均	611	259	240	19	351	266	86	

観覧者数一覧(10月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
10/1	火	380	64	63	59	4	0	0	1	1	0	315	315	72	9	16	215	3	165	165	1	1
2	水	335	56	53	51	2	0	0	3	3	0	279	279	18	5	7	246	3	216	216	0	0
3	木	640	39	38	38	0	0	0	1	1	0	601	601	59	1	0	537	4	477	477	0	0
4	金	877	90	88	85	3	0	0	2	2	0	787	787	26	49	2	709	1	631	631	0	0
5	土	904	475	475	457	14	4	0	0	0	0	425	425	247	121	25	19	13	0	0	4	4
6	日	831	416	416	392	20	4	0	0	0	0	415	415	184	151	32	36	12	0	0	0	0
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	685	101	98	95	2	1	0	3	3	0	584	584	69	2	4	500	9	452	452	0	0
9	水	1,047	95	90	81	8	1	0	5	5	0	952	952	73	3	24	846	6	744	744	0	0
10	木	678	79	54	47	5	2	0	25	25	0	599	599	32	5	1	557	4	507	507	0	0
11	金	663	109	58	52	6	0	0	51	2	49	554	554	39	5	0	508	2	441	441	0	0
12	土	800	373	373	363	9	1	0	0	0	0	427	427	156	130	22	103	16	77	77	0	0
13	日	1,328	744	744	714	26	4	0	0	0	0	580	580	296	217	21	21	25	0	0	4	4
祝14	月	1,064	550	550	527	22	1	0	0	0	0	509	509	249	206	21	23	10	0	0	5	5
15	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	水	1,121	81	78	74	1	3	0	3	3	0	1,039	1,039	22	65	2	944	6	866	866	1	1
17	木	576	55	51	49	2	0	0	4	4	0	521	521	32	2	2	480	5	411	411	0	0
18	金	944	219	107	102	4	1	0	112	112	0	725	725	239	7	3	472	4	391	391	0	0
19	土	487	280	280	256	19	5	0	0	0	0	206	206	106	64	15	21	0	0	0	1	1
20	日	805	446	409	386	11	12	0	37	37	0	358	358	173	134	11	27	13	0	0	1	1
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	819	100	59	55	2	2	0	41	41	0	719	719	206	4	15	487	7	398	398	0	0
23	水	647	85	82	77	4	1	0	3	3	0	562	562	60	0	7	494	1	434	434	0	0
24	木	234	49	47	43	2	2	0	2	2	0	185	185	7	3	2	171	2	145	145	0	0
25	金	612	42	40	38	0	2	0	2	2	0	570	570	32	3	3	528	4	469	469	0	0
26	土	495	278	278	257	14	7	0	0	0	0	217	217	104	85	11	11	6	0	0	0	0
27	日	749	398	398	388	9	1	0	0	0	0	349	349	203	107	13	12	14	0	0	2	2
28	月	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
29	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	水	799	94	92	81	8	3	0	2	2	0	705	705	137	8	11	541	8	408	408	0	0
31	木	682	37	35	35	0	0	0	2	2	0	645	645	126	1	3	509	6	448	448	0	0
計		21,809	5,355	5,056	4,802	197	57	0	299	250	49	16,435	16,435	2,967	1,387	273	11,624	184	7,680	7,680	19	19

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	17	11,739	1,395	1,133	1,062	53	18	0	262	213	49	10,342	10,342	1,249	172	102	8,744	75	7,603	7,603	2	2
土日祝	9	7,463	3,960	3,923	3,740	144	39	0	37	37	0	3,486	3,486	1,718	1,215	171	273	109	77	77	17	17
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
合計	27	21,809	5,355	5,056	4,802	197	57	0	299	250	49	16,435	16,435	2,967	1,387	273	11,624	184	7,680	7,680	19	19

年間TOTAL(令和6年度)

平日	116	66,004	22,276	20,451	19,154	1,224	72	1	1,825	1,341	484	43,664	43,664	9,435	6,911	1,433	24,885	1,000	19,911	19,911	64	64
土日祝	63	79,944	43,466	42,968	41,135	1,615	215	3	498	286	212	36,360	36,360	17,581	13,454	1,456	2,046	1,823	268	268	118	118
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
合計	180	148,555	65,742	63,419	60,289	2,839	287	4	2,323	1,627	696	82,631	82,631	27,016	20,365	2,889	29,538	2,823	20,179	20,179	182	182

開館以来の累計(開館日数 8,103日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,959,493	2,101,030	1,944,098	156,930	2,853,505	2,167,567	706,117	7,952
平均	612	259	240	19	352	268	87	

観覧者数一覧(11月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
11/1	金	1,088	59	58	52	5	1	0	1	1	0	1,028	1,028	20	6	9	993	0	900	900	1	1
2	土	1,138	638	638	618	17	3	0	0	0	0	499	499	221	211	38	19	10	0	0	1	1
祝3	日	1,337	721	721	688	28	5	0	0	0	0	614	614	324	219	27	24	20	0	0	2	2
4	月	1,007	558	527	495	28	4	0	31	0	31	448	448	250	139	16	19	24	0	0	1	1
5	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	水	534	74	69	63	6	0	0	5	5	0	460	460	41	5	9	398	7	360	360	0	0
7	木	497	78	78	76	2	0	0	0	0	0	419	419	59	3	51	304	2	253	253	0	0
8	金	203	46	42	42	0	0	0	4	4	0	157	157	6	0	1	150	0	134	134	0	0
9	土	433	246	246	241	4	1	0	0	0	0	186	186	115	50	6	7	8	0	0	1	1
10	日	838	440	440	406	33	1	0	0	0	0	396	396	174	153	18	25	26	0	0	2	2
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	487	54	52	46	5	1	0	2	2	0	433	433	88	2	2	334	7	288	288	0	0
13	水	378	77	75	71	1	3	0	2	2	0	301	301	15	2	1	279	4	261	261	0	0
14	木	580	190	188	177	10	1	0	2	2	0	388	388	64	283	5	36	0	0	0	2	2
15	金	811	232	110	91	19	0	0	122	122	0	579	579	200	30	25	324	0	260	260	0	0
16	土	530	293	272	257	11	4	0	21	21	0	236	236	112	88	8	12	16	3	3	1	1
17	日	883	447	447	428	11	8	0	0	0	0	432	432	208	124	48	26	26	0	0	4	4
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	202	62	62	62	0	0	0	0	0	0	137	137	92	7	2	34	2	0	0	3	3
20	水	265	112	81	80	1	0	0	31	4	27	152	152	21	8	16	105	2	83	83	1	1
21	木	93	57	55	51	1	3	0	2	2	0	36	36	13	5	12	5	1	0	0	0	0
22	金	304	55	54	51	3	0	0	1	1	0	249	249	18	7	42	180	2	137	137	0	0
祝23	土	941	486	486	457	27	2	0	0	0	0	453	453	229	145	33	29	17	0	0	2	2
24	日	794	426	426	412	10	4	0	0	0	0	365	365	182	133	9	12	29	0	0	3	3
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	119	65	60	56	2	2	0	5	5	0	52	52	26	2	0	18	6	15	15	2	2
27	水	476	110	79	72	6	1	0	31	1	30	366	366	19	1	6	339	1	294	294	0	0
28	木	81	49	42	39	3	0	0	7	7	0	32	32	7	5	4	7	9	0	0	0	0
29	金	418	35	35	32	2	1	0	0	0	0	383	383	61	1	2	318	1	276	276	0	0
30	土	721	374	374	355	12	7	0	0	0	0	346	346	174	124	7	10	31	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		15,158	5,984	5,717	5,418	247	52	0	267	179	88	9,147	9,147	2,739	1,753	397	4,007	251	3,264	3,264	27	27

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	17	7,543	1,913	1,667	1,556	94	17	0	246	158	88	5,620	5,620	1,000	506	203	3,843	68	3,261	3,261	10	10
土日祝	9	7,615	4,071	4,050	3,862	153	35	0	21	21	0	3,527	3,527	1,739	1,247	194	164	183	3	3	17	17
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	15,158	5,984	5,717	5,418	247	52	0	267	179	88	9,147	9,147	2,739	1,753	397	4,007	251	3,264	3,264	27	27

年間TOTAL(令和6年度)

平日	133	73,547	24,189	22,118	20,710	1,318	89	1	2,071	1,499	572	49,284	49,284	10,435	7,417	1,636	28,728	1,068	23,172	23,172	74	74
土日祝	72	87,559	47,537	47,018	44,997	1,768	250	3	519	307	212	39,887	39,887	19,320	14,701	1,650	2,210	2,006	271	271	135	135
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
合計	206	163,713	71,726	69,136	65,707	3,086	339	4	2,590	1,806	784	91,778	91,778	29,755	22,118	3,286	33,545	3,074	23,443	23,443	209	209

開館以来の累計(開館日数 8,129日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,974,651	2,107,014	1,949,815	157,197	2,862,652	2,176,714	709,381	7,979
平均	612	259	240	19	352	268	87	

観覧者数一覧(12月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
12/1	日	837	420	420	398	14	8	0	0	0	0	414	414	207	131	13	12	51	0	0	3	3
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	火	237	99	48	48	0	0	0	51	51	0	138	138	50	1	0	81	6	69	69	0	0
4	水	113	62	29	28	1	0	0	33	6	27	50	50	14	1	4	27	4	0	0	1	1
5	木	103	34	32	30	1	1	0	2	2	0	69	69	7	2	1	56	3	39	39	0	0
6	金	173	63	61	59	2	0	0	2	2	0	107	107	30	3	16	53	5	35	35	3	3
7	土	639	316	316	307	8	1	0	0	0	0	323	323	146	75	10	36	56	18	18	0	0
8	日	982	421	421	400	9	11	1	0	0	0	555	555	220	193	20	25	97	0	0	6	6
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	62	49	46	45	1	0	0	3	3	0	13	13	4	9	0	0	0	0	0	0	0
11	水	111	57	57	54	3	0	0	0	0	0	54	54	47	0	1	6	0	0	0	0	0
12	木	83	48	46	42	3	1	0	2	2	0	35	35	21	1	2	11	0	8	8	0	0
13	金	146	47	47	46	1	0	0	0	0	0	98	98	64	2	2	30	0	20	20	1	1
14	土	592	339	339	307	18	14	0	0	0	0	252	252	144	55	32	20	1	0	0	1	1
15	日	665	385	385	349	36	0	0	0	0	0	280	280	160	100	8	12	0	0	0	0	0
16	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		4,743	2,340	2,247	2,113	97	36	1	93	66	27	2,388	2,388	1,114	573	109	369	223	189	189	15	15

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	8	1,028	464	366	352	12	2	0	93	66	27	564	564	237	19	26	264	18	171	171	5	5
土日祝	5	3,715	1,891	1,881	1,761	85	34	1	0	0	0	1,824	1,824	877	554	83	105	205	18	18	10	10
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	4,743	2,355	2,247	2,113	97	36	1	93	66	27	2,388	2,388	1,114	573	109	369	223	189	189	15	15

年間TOTAL(令和6年度)

平日	141	74,575	24,727	22,484	21,062	1,330	91	1	2,164	1,565	599	49,848	49,848	10,672	7,436	1,662	28,992	1,086	23,343	23,343	79	79
土日祝	77	91,274	49,563	48,899	46,758	1,853	284	4	519	307	212	41,711	41,711	20,197	15,255	1,733	2,315	2,211	289	289	145	145
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
合計	219	168,456	74,290	71,383	67,820	3,183	375	5	2,683	1,872	811	94,166	94,166	30,869	22,691	3,395	33,914	3,297	23,632	23,632	224	224

開館以来の累計(開館日数 8,142日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,979,394	2,109,354	1,952,062	157,290	2,865,040	2,179,102	709,570	7,994
平均	612	259	240	19	352	268	87	

観覧者数一覧(1月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
1/1	祝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	木	921	541	533	506	23	4	0	8	8	0	375	375	218	136	11	10	0	0	0	5	5
3	金	1,098	671	661	619	41	1	0	10	10	0	425	425	248	147	15	15	0	0	0	2	2
4	土	902	543	543	508	25	10	0	0	0	0	359	359	204	131	11	13	0	0	0	0	0
5	日	555	323	323	308	13	2	0	0	0	0	230	230	131	73	13	13	0	0	0	2	2
6	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	土	456	240	240	232	4	4	0	0	0	0	216	216	138	56	8	12	2	0	0	0	0
12	日	1,008	589	589	572	9	8	0	0	0	0	418	418	266	111	18	21	2	0	0	1	1
祝13	月	965	517	517	494	20	3	0	0	0	0	448	448	265	138	16	29	0	0	0	0	0
14	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	水	82	54	54	48	4	2	0	0	0	0	27	27	18	5	1	3	0	0	0	1	1
16	木	64	44	38	37	0	1	0	6	6	0	19	19	15	1	1	2	0	0	0	1	1
17	金	93	55	53	44	9	0	0	2	2	0	38	38	24	5	3	6	0	0	0	0	0
18	土	707	311	311	296	13	2	0	0	0	0	394	394	151	59	15	167	2	0	0	2	2
19	日	707	398	398	375	18	5	0	0	0	0	308	308	128	155	13	12	0	0	0	1	1
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	94	60	56	54	1	1	0	4	4	0	34	34	23	5	2	2	2	0	0	0	0
22	水	86	72	60	59	1	0	0	12	12	0	13	13	13	0	0	0	0	0	0	1	1
23	木	63	37	37	33	2	2	0	0	0	0	25	25	9	2	10	4	0	0	0	1	1
24	金	92	61	59	55	3	1	0	2	2	0	31	31	21	4	4	2	0	0	0	0	0
25	土	785	390	365	348	8	9	0	25	25	0	394	394	176	128	46	44	0	0	0	1	1
26	日	925	478	478	456	17	4	1	0	0	0	444	444	240	122	27	55	0	0	0	3	3
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	84	58	53	49	4	0	0	5	5	0	26	26	12	3	1	0	10	0	0	0	0
29	水	103	72	66	66	0	0	0	6	6	0	29	29	24	3	0	2	0	0	0	2	2
30	木	70	50	47	42	4	1	0	3	3	0	18	18	16	2	0	0	0	0	0	2	2
31	金	81	59	55	49	3	3	0	4	4	0	21	21	19	1	0	1	0	0	0	1	1
計		9,941	5,623	5,536	5,250	222	63	1	87	87	0	4,292	4,292	2,359	1,287	215	413	18	0	0	26	26

-114-

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	13	2,931	1,834	1,772	1,661	95	16	0	62	62	0	1,081	1,081	660	314	48	47	12	0	0	16	16
土日祝	9	7,010	3,789	3,764	3,589	127	47	1	25	25	0	3,211	3,211	1,699	973	167	366	6	0	0	10	10
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	22	9,941	5,623	5,536	5,250	222	63	1	87	87	0	4,292	4,292	2,359	1,287	215	413	18	0	0	26	26

年間TOTAL(令和6年度)																						
平日	154	77,506	26,482	24,256	22,723	1,425	107	1	2,226	1,627	599	50,929	50,929	11,332	7,750	1,710	29,039	1,098	23,343	23,343	95	95
土日祝	86	98,284	53,207	52,663	50,347	1,980	331	5	544	332	212	44,922	44,922	21,896	16,228	1,900	2,681	2,217	289	289	155	155
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
合計	241	178,397	79,689	76,919	73,070	3,405	438	6	2,770	1,959	811	98,458	98,458	33,228	23,978	3,610	34,327	3,315	23,632	23,632	250	250

開館以来の累計(開館日数 8,164日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	4,989,335	2,114,977	1,957,598	157,377	2,869,332	2,183,394	709,570	8,020
平均	611	259	240	19	351	267	87	

観覧者数一覧(2月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
2/1	土	631	347	347	326	17	4	0	0	0	0	280	280	163	71	24	20	2	0	0	4	4
2	日	689	392	392	369	13	10	0	0	0	0	296	296	173	108	6	8	1	0	0	1	1
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	239	50	47	46	1	0	0	3	3	0	189	189	13	1	0	175	0	165	165	0	0
5	水	81	58	54	45	8	1	0	4	4	0	23	23	18	0	2	3	0	0	0	0	0
6	木	57	39	37	35	2	0	0	2	2	0	18	18	10	5	2	1	0	0	0	0	0
7	金	134	65	62	49	13	0	0	3	3	0	69	69	36	3	6	24	0	0	0	0	0
8	土	628	351	351	331	15	5	0	0	0	0	275	275	160	73	23	18	1	0	0	2	2
9	日	1,017	571	571	549	14	8	0	0	0	0	438	438	287	119	14	15	3	0	0	8	8
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	1,192	638	638	618	14	6	0	0	0	0	550	550	339	169	21	20	1	0	0	4	4
12	水	93	66	66	64	2	0	0	0	0	0	27	27	16	3	4	4	0	0	0	0	0
13	木	139	59	59	53	5	1	0	0	0	0	80	80	66	3	1	10	0	0	0	0	0
14	金	281	60	60	45	15	0	0	0	0	0	221	221	24	2	5	188	2	169	169	0	0
15	土	604	352	352	336	12	4	0	0	0	0	251	251	151	74	13	12	1	0	0	1	1
16	日	859	504	479	464	13	2	0	25	25	0	354	354	212	122	9	10	1	0	0	1	1
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	土	1,102	586	586	560	21	5	0	0	0	0	515	515	271	161	47	34	2	0	0	1	1
祝23	日	1,851	1,037	1,037	1,003	30	4	0	0	0	0	811	811	478	282	22	27	2	0	0	3	3
24	月	1,340	701	701	663	31	7	0	0	0	0	637	637	324	242	35	34	2	0	0	2	2
25	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	水	235	99	97	84	13	0	0	2	2	0	136	136	55	0	1	80	0	67	67	0	0
27	木	117	54	53	44	8	1	0	1	1	0	63	63	34	2	5	22	0	9	9	0	0
28	金	357	60	58	51	7	0	0	2	2	0	295	295	72	2	3	217	1	181	181	2	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		11,646	6,089	6,047	5,735	254	58	0	42	42	0	5,528	5,528	2,902	1,442	243	922	19	591	591	29	29

-115-

月TOTAL	日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
平日	12	4,265	1,949	1,932	1,797	119	16	0	17	17	0	2,308	2,308	1,007	432	85	778	6	591	591	8	8	
土日祝	8	7,381	4,140	4,115	3,938	135	42	0	25	25	0	3,220	3,220	1,895	1,010	158	144	13	0	0	21	21	
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	20	11,646	6,089	6,047	5,735	254	58	0	42	42	0	5,528	5,528	2,902	1,442	243	922	19	591	591	29	29	
年間TOTAL(令和6年度)																							
平日	166	81,771	28,431	26,188	24,520	1,544	123	1	2,243	1,644	599	53,237	53,237	12,339	8,182	1,795	29,817	1,104	23,934	23,934	103	103	
土日祝	94	105,665	57,347	56,778	54,285	2,115	373	5	569	357	212	48,142	48,142	23,791	17,238	2,058	2,825	2,230	289	289	176	176	
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0	
合計	261	190,043	85,778	82,966	78,805	3,659	496	6	2,812	2,001	811	103,986	103,986	36,130	25,420	3,853	35,249	3,334	24,223	24,223	279	279	

開館以来の累計(開館日数 8,184日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	5,000,981	2,121,066	1,963,645	157,419	2,874,860	2,188,922	710,161	8,049
平均	611	259	240	19	351	267	87	

観覧者数一覧(3月)

月日	曜	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス
3/1	土	684	353	353	337	12	2	2	0	0	0	330	330	155	146	11	18	0	0	0	1	1
2	日	1,333	572	545	530	12	3	0	27	27	0	757	757	502	213	22	20	0	0	0	4	4
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	77	43	40	30	10	0	0	3	3	0	34	34	29	2	0	3	0	0	0	0	0
5	水	203	26	26	26	0	0	0	0	0	0	177	177	150	2	0	24	1	0	0	0	0
6	木	216	58	56	45	9	2	0	2	2	0	158	158	136	1	1	20	0	0	0	0	0
7	金	569	90	48	43	5	0	0	42	42	0	479	479	385	0	22	72	0	0	0	0	0
8	土	563	314	314	293	19	2	0	0	0	0	247	247	151	68	15	13	0	0	0	2	2
9	日	847	456	456	434	22	0	0	0	0	0	390	390	240	117	19	14	0	0	0	1	1
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	146	76	74	64	10	0	0	2	2	0	70	70	55	1	3	11	0	0	0	0	0
12	水	99	64	60	50	10	0	0	4	4	0	35	35	13	2	11	9	0	0	0	0	0
13	木	80	53	52	48	4	0	0	1	1	0	27	27	17	1	5	4	0	0	0	0	0
14	金	296	77	75	54	19	2	0	2	2	0	219	219	187	0	2	26	4	0	0	0	0
15	土	766	382	382	369	6	7	0	0	0	0	384	384	170	145	15	23	31	0	0	0	0
16	日	1,325	761	761	719	30	12	0	0	0	0	560	560	304	187	23	25	21	0	0	4	4
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	243	117	112	97	12	3	0	5	5	0	125	125	92	7	5	13	8	0	0	1	1
19	水	308	120	112	94	18	0	0	8	8	0	188	188	155	5	3	25	0	0	0	0	0
祝20	木	847	433	433	410	16	7	0	0	0	0	414	414	219	125	23	20	27	0	0	0	0
21	金	191	112	110	103	4	3	0	2	2	0	79	79	47	18	7	7	0	0	0	0	0
22	土	842	467	467	435	25	7	0	0	0	0	375	375	195	132	16	19	13	0	0	0	0
23	日	1,030	571	571	533	33	5	0	0	0	0	455	455	234	164	10	22	25	0	0	4	4
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	357	175	167	142	23	2	0	8	8	0	181	181	121	31	4	16	9	0	0	1	1
26	水	435	198	193	176	17	0	0	5	5	0	232	232	134	80	1	12	5	13	13	5	5
27	木	477	243	223	192	28	3	0	20	20	0	231	231	114	85	7	22	3	0	0	3	3
28	金	780	298	290	263	27	0	0	8	8	0	482	482	111	139	17	211	4	0	0	0	0
29	土	1,455	769	769	731	33	5	0	0	0	0	682	682	343	257	35	32	15	0	0	4	4
30	日	1,149	641	641	607	33	1	0	0	0	0	504	504	267	199	15	15	8	0	0	4	4
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		15,318	7,469	7,330	6,825	437	66	2	139	139	0	7,815	7,815	4,526	2,127	292	696	174	13	13	34	34

-116-

日数	観覧合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通バス	
月TOTAL																						
平日	15	4,477	1,750	1,638	1,427	196	15	0	112	112	0	2,717	2,717	1,746	374	88	475	34	13	13	10	10
土日祝	11	10,841	5,719	5,692	5,398	241	51	2	27	27	0	5,098	5,098	2,780	1,753	204	221	140	0	0	24	24
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	15,318	7,469	7,330	6,825	437	66	2	139	139	0	7,815	7,815	4,526	2,127	292	696	174	13	13	34	34

年間TOTAL(令和6年度)

平日	181	86,248	30,181	27,826	25,947	1,740	138	1	2,355	1,756	599	55,954	55,954	14,085	8,556	1,883	30,292	1,138	23,947	23,947	113	113
土日祝	105	116,506	63,066	62,470	59,683	2,356	424	7	596	384	212	53,240	53,240	26,571	18,991	2,262	3,046	2,370	289	289	200	200
無料日	1	2,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,607	2,607	0	0	0	2,607	0	0	0	0	0
合計	287	205,361	93,247	90,296	85,630	4,096	562	8	2,951	2,140	811	111,801	111,801	40,656	27,547	4,145	35,945	3,508	24,236	24,236	313	313

開館以来の累計(開館日数 8,210日)

	観覧合計	有料計	個人計	団体計	無料計	個人計	団体計	特別券計
累計	5,016,299	2,128,535	1,970,975	157,558	2,882,675	2,196,737	710,174	8,083
平均	611	259	240	19	351	268	87	

1 1 職員名簿

職 名		氏 名	当館における履歴
名 誉 館 長		長 谷 川 善 和	H7. 4～H8. 3 建設準備室参与 H8. 4～H22. 3 館長 H22. 4～ 名誉館長
特 別 館 長		真 鍋 真	R2. 4～
館 長		藤 卷 薫	R4. 4～
次 長 (総務係長)		飯 田 雅 人	R6. 4～
次 長		静 野 聡	H6. 4～H7. 3 建設準備室 (嘱託) H27. 4～H28. 3 学芸係主幹 H28. 4～R2. 3 教育普及係主幹 R2. 4～R4. 3 教育普及係長 R6. 4～
総 務 係	補 佐	宮 川 豊	H30. 4～R2. 3 館長 R6. 4～R7. 3
	主 幹	島 崎 希 美 子	H10. 4～H13. 3 R3. 4～
	会 年 職 員	阪 美 希 十	R4. 1～
教育普及係	教育普及係長	月 田 典 寿	H11. 4～H12. 3 資料整理員 (嘱託) H27. 4～R4. 3 教育普及係主幹 R4. 4～R7. 3 教育普及係長
	主 幹	綾 小 路 淳 裕	R4. 4～
	主 任	田 中 佑 典	R5. 4～
	主 幹 専 門 員	市 川 光 早	H25. 4～H27. 3 教育普及係主幹 H27. 4～H28. 3 教育普及係長 R6. 4～
地学研究係	地 学 研 究 係 長 (学 芸 員)	高 栞 祐 司	H5. 4～H8. 3 建設準備室 H8. 4～R4. 3 学芸係、地学研究係 R4. 4～
	主 幹 (学芸員)	菅 原 久 誠	H25. 4～
	主 幹	藤 卷 裕 和	R5. 4～
生物研究係	補佐(生物研究係長) (学 芸 員)	木 村 敏 之	H14. 4～H15. 3 教育普及係 H15. 4～H31. 3 学芸係 H31. 4～
	補 佐	長 屋 昌 恵	R6. 4～R7. 3
	主 幹	大 森 威 宏	H10. 4～
	主 幹 (学芸員)	姉 崎 智 子	H17. 4～
	主 幹	伊 藤 智 史	H29. 4～
展示解説員 (会年職員)	高橋 弘美 外所 宏美 佐々木 尚子 松本 恵利那 林 夏希 坂田 由佳 北詰 千紘 福島 紗羽		